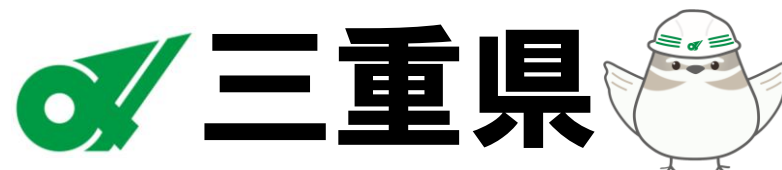


**令和7年度  
第6回 三重県河川整備計画  
流域委員会**

**二級河川 三渡川水系  
(第4回流域委員会)**

**令和8年3月17日**





# 目次

1. **これまでの経緯** [一部更新]
2. **前回流域委員会での意見・回答** [新規]
3. **第2回住民アンケート調査結果** [新規]
4. **河川整備計画（原案）の概要** [新規]
  - 4.1 **流域及び河川の概要** [変更なし]
  - 4.2 **現状と課題（治水・利水・環境）** [変更なし]
  - 4.3 **河川整備計画の目標に関する事項** [新規]
  - 4.4 **河川整備計画の実施に関する事項** [新規]
5. **今後の進め方** [一部更新]

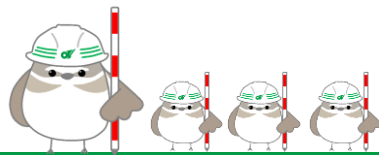


# 目次



1. **これまでの経緯 [一部更新]**
2. 前回流域委員会での意見・回答 [新規]
3. 第2回住民アンケート調査結果 [新規]
4. 河川整備計画（原案）の概要 [新規]
  - 4.1 流域及び河川の概要 [変更なし]
  - 4.2 現状と課題（治水・利水・環境） [変更なし]
  - 4.3 河川整備計画の目標に関する事項 [新規]
  - 4.4 河川整備計画の実施に関する事項 [新規]
5. 今後の進め方 [一部更新]

# ■これまでの経緯



## 第1回 流域委員会（令和7年2月7日）

- ✓流域の概要、現地視察
- ✓治水、利水、環境の現状と課題

## 第1回アンケート （令和7年4月1日～30日）

- ✓関係住民の意見聴取  
（流域の概要、治水、利水、環境の  
現状と課題）

## 第2回 流域委員会（令和7年6月6日）

- ✓気候変動を踏まえた高水計画の検討と課題
- ✓治水計画における見直しの方向性(案)

## 第3回 流域委員会（令和7年12月25日）

- ✓河川整備計画(原案)(案)

## 第2回アンケート （令和8年1月20日～2月6日）

- ✓関係住民の意見聴取  
（河川整備計画(原案)(案)）

## 第4回 流域委員会（令和8年3月17日）

- ✓河川整備計画(原案)

今回



関係機関協議・パブコメ・関係市町長意見聴取

河川整備計画策定(令和8年度中)



# 目次



1. これまでの経緯 [一部更新]
- 2. 前回流域委員会での意見・回答 [新規]**
3. 第2回住民アンケート調査結果 [新規]
4. 河川整備計画（原案）の概要 [新規]
  - 4.1 流域及び河川の概要 [変更なし]
  - 4.2 現状と課題（治水・利水・環境） [変更なし]
  - 4.3 河川整備計画の目標に関する事項 [新規]
  - 4.4 河川整備計画の実施に関する事項 [新規]
5. 今後の進め方 [一部更新]



□令和7年12月25日に第3回流域委員会を開催

Q1: **三渡川**の氾濫解析に用いている計画降雨の確率規模は1/4なのか。この理由は？

A1: 氾濫解析で用いる計画高水流量を170m<sup>3</sup>/s(年超過確率1/4相当)と設定しました。その理由は次のとおりです。

まず、気候変動による降雨量の増加を考慮すると、現行計画の目標規模(年超過確率1/5)を達成するためには190m<sup>3</sup>/sの流量に対応する必要があります。しかし、この流量を安全に流下させるには近鉄橋の架け替えが必須であり、今後30年間での実施は困難な状況です。

そこで本計画では、早期に治水安全度を高めることを優先し、現行計画と同じ170m<sup>3</sup>/sに対応する計画規模(年超過確率1/4相当)を当面の目標として採用しました。

一方で、三渡川流域の上流域には広い水田、多くのため池が存在し、高い貯留ポテンシャルを有しています。このため、河道改修を進めるとともに、上流域に広がる水田の貯留機能を活用する流域治水(田んぼダムの普及・ため池の低水位管理等)の推進に取り組みます。



□令和7年12月25日に第3回流域委員会を開催

Q2: ヤリタナゴがいるということはイシガイ科の二枚貝もいる。河道掘削時にはイシガイ科の二枚貝への配慮が必要。

A2: 河道掘削時に留意します。

河道掘削時に留意するため、河川整備計画本文に以下のような文言を書き加えました。

⇒本文(p.21)河川環境の整備と保全に関する目標に、「河川内の堆積土砂撤去の際には、現在の水際環境を維持するよう配慮するなど、魚類や底生生物等の生息環境の保全・創出に努める。」と記載させていただきました。



# 目次



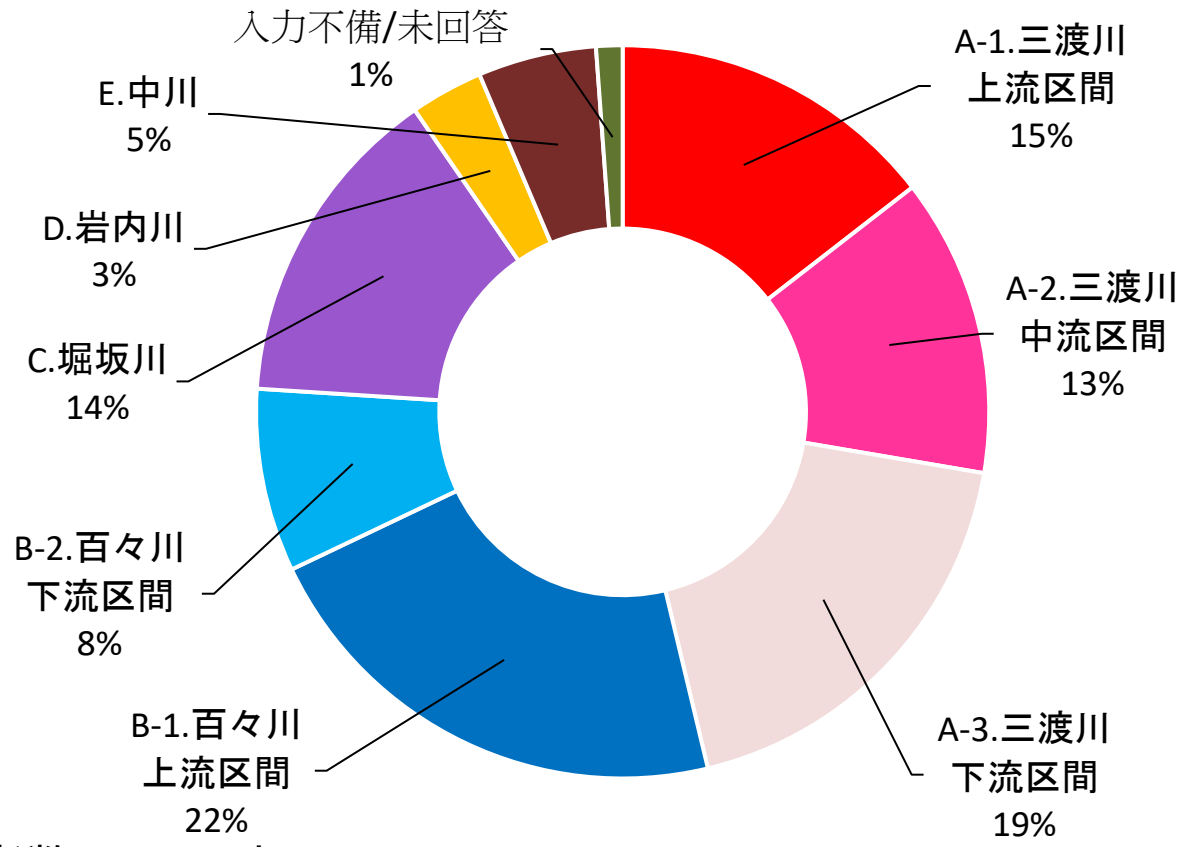
1. これまでの経緯 [一部更新]
2. 前回流域委員会での意見・回答 [新規]
- 3. 第2回住民アンケート調査結果 [新規]**
4. 河川整備計画（原案）の概要 [新規]
  - 4.1 流域及び河川の概要 [変更なし]
  - 4.2 現状と課題（治水・利水・環境） [変更なし]
  - 4.3 河川整備計画の目標に関する事項 [新規]
  - 4.4 河川整備計画の実施に関する事項 [新規]
5. 今後の進め方 [一部更新]

# 第2回アンケート調査概要



- 調査対象者  
三渡川流域の住民(三渡川、百々川、堀坂川、岩内川、中川)
- 調査期間  
令和8年1月21日～令和8年2月6日  
※天候不順による郵便延着のため2月3日から延長した
- 回答方法  
WEBサイトでの回答(QRコードを利用) or 返信用封筒による回答
- 回答件数  
5,073件(前回: 4,803件 [+270件])(回収率:24.0%)
- 集計方法

三渡川水系の流域に含まれる三渡川の上・中・下流域、百々川の上・下流域、堀坂川、岩内川、中川、のうち身近な川を選択してもらったうえで回答を依頼、その結果をもとに回答を集計



合計回答者数5,073人

三渡川水系に対する回答数(身近に感じる川)

令和8年1月

## 三渡川水系の河川整備計画に関する 第2回アンケート調査にご協力をお願い致します

三渡川流域及びその周辺にお住まいの皆様へ



三重県 松阪建設事務所

日頃から、三重県の河川行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。  
三重県では、今後の河川整備や河川維持管理を計画的に行っていくため、三渡川水系の川づくり(河川整備計画の策定)に向けて検討しているところです。令和7年4月の第1回アンケートで皆様からいただいたご意見をもとに、二級河川三渡川水系河川整備計画(原案)(案)を作成いたしました。

このアンケート調査は、三渡川水系の川づくりをよりよい計画とするため、流域にお住まいの皆様のお考えや、ご意見をいただくことを目的としております。

この封筒に入っている「パンフレット」をご覧ください、「WEB」での回答をご希望の方は、裏面を参照のうえ、ご回答をお願い致します。「アンケート調査票」での回答をご希望の方は、同封の「アンケート調査票」にご記入のうえ、アンケート調査票を「返信用封筒」に入れて、令和8年2月3日(火)までにご投函ください。(切手不要)

よりよい河川整備計画の作成には、幅広い世代からのお考えやご意見を得ることが重要となります。ご家族の皆様からのご回答をお願い致します。

### ●河川整備計画とは

流域の皆様にとって、水害に対して安全で、人々の憩いの場となる川づくりを目指すため、治水(洪水、高潮、津波)、利水(水利用)、環境(自然、水質、景観等)の現況及び課題等を踏まえた目標を示し、今後概ね30年間における具体的な整備の内容を示した「二級河川三渡川水系河川整備計画」を策定します。

今後、河川整備計画の策定に向けて、河川管理者である三重県は、本アンケートを通じて地域住民の皆様のご意見を伺うとともに、関係自治体の長(松阪市長)、学識者(流域委員会)のご意見を伺いながら、検討を進めてまいります。



裏面へつづく

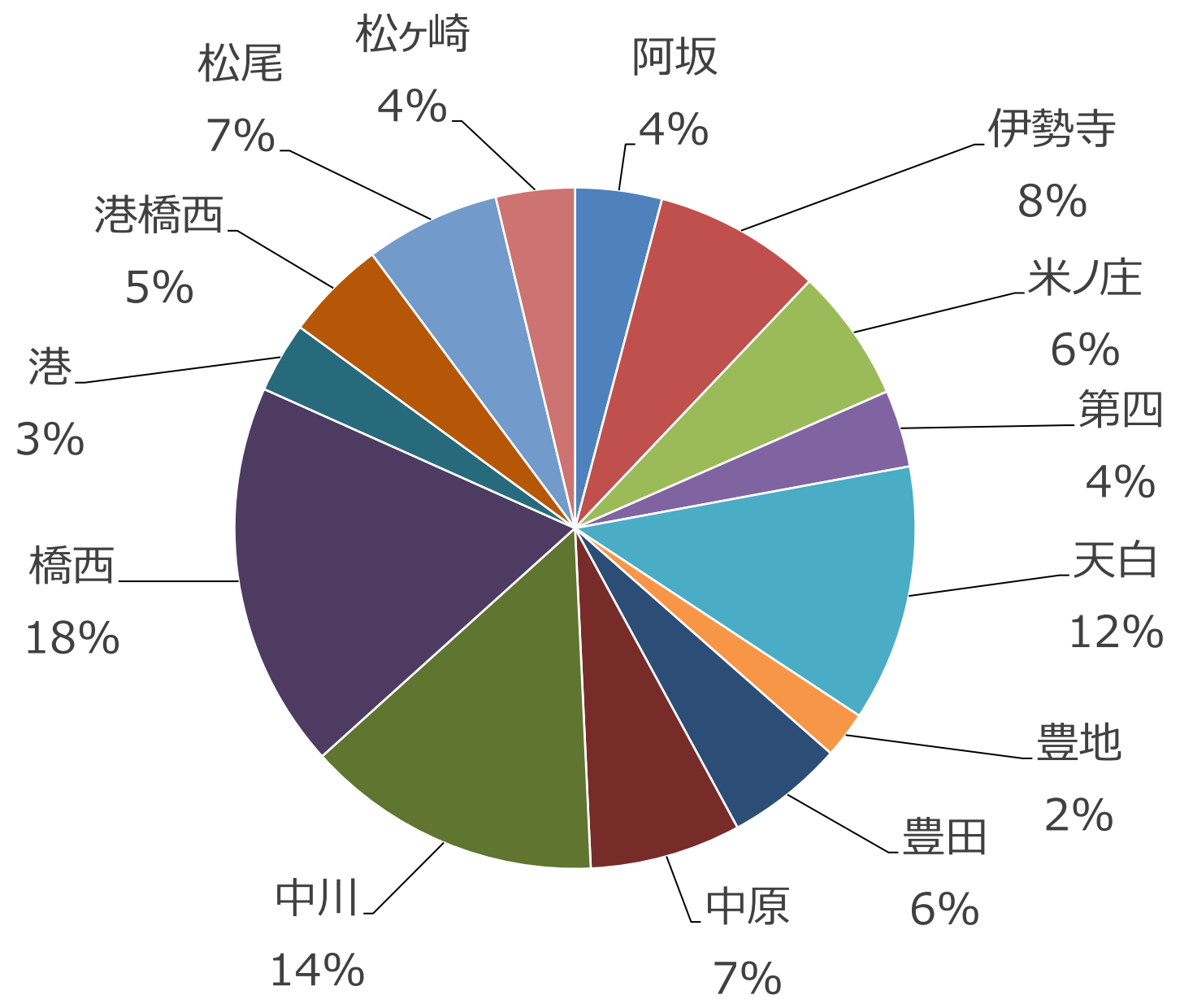
# ■第2回アンケート調査結果(回答者の居住地)



- ・三渡川水系の流域に含まれるすべての地区からの回答が得られた。
- ・最も回答者が多かったのは橋西地区(百々川上流・堀坂川・中川)、次いで中川地区・天白地区(三渡川上下流)の順だった。

お住いの地区をお答えください(有効回答:5,014件※)。

※入力不備・未回答を除く件数



参考:各地区と最も近い河川(流域)の関係

地区名	流域
阿坂	三渡川[上],岩内川
伊勢寺	百々川[上],堀坂川,岩内川
橋西	百々川[上],堀坂川,中川
港	百々川[上],百々川[下]
港橋西	百々川[上]
松ヶ崎	百々川[下],三渡川[下],中川
松尾	百々川[上]
第四	百々川[上]
中原	三渡川[上],三渡川[中]
中川	三渡川[上]
天白	三渡川[下]
米ノ庄	三渡川[上],三渡川[下],中川
豊地	三渡川[上]
豊田	三渡川[上],三渡川[中],三渡川[下]

# ■第2回アンケート調査結果(身近な河川別の居住地)



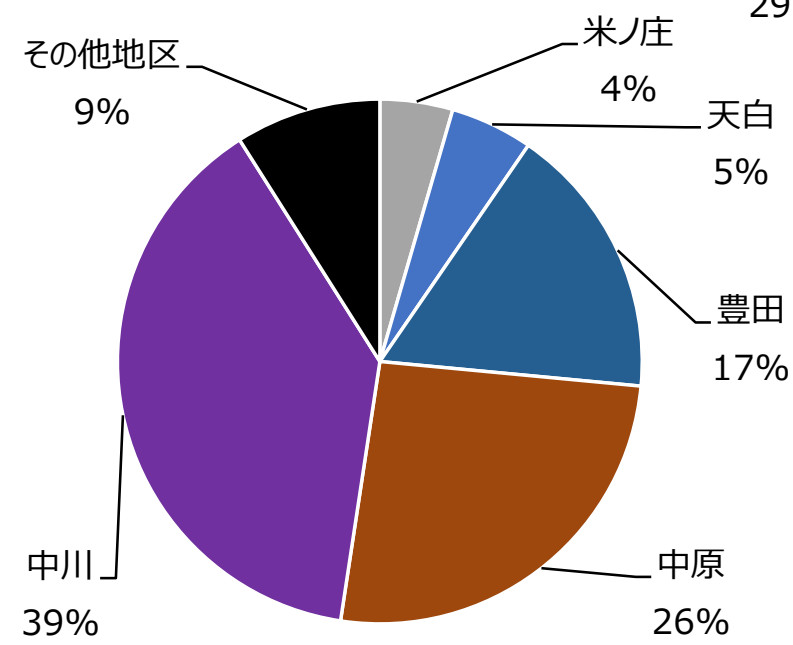
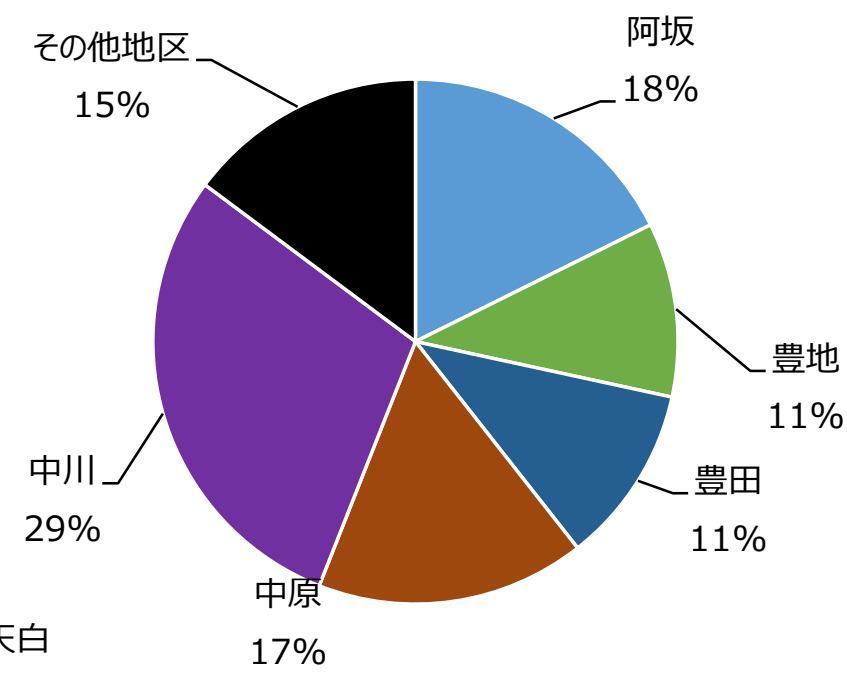
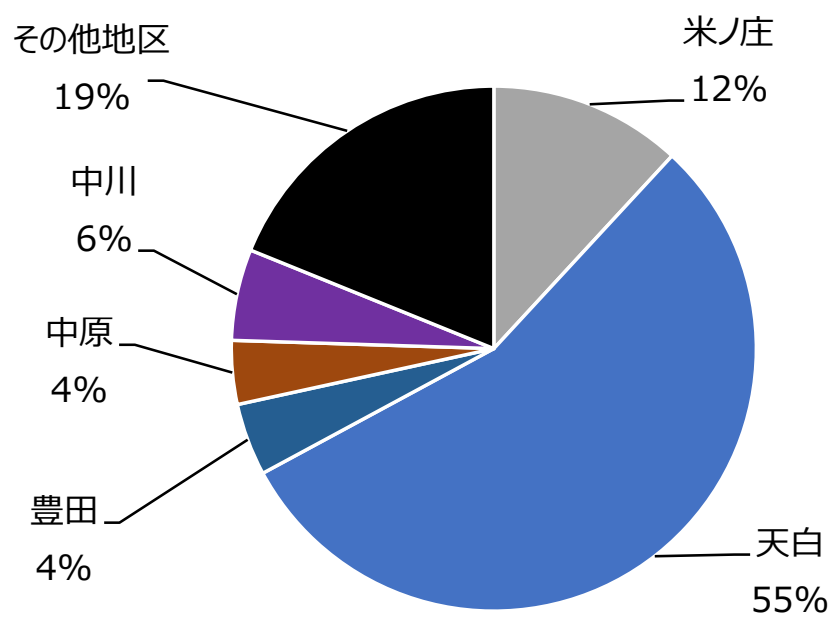
- ・身近な河川が三渡川流域との回答は、2,347件であった。
- ・三渡川の上流・中流・下流区間全体的に回答をいただいた。
- ・下流区間の住民の回答が多く、河川を身近に感じる傾向が強いことが示唆される。

お住いの地区をお答えください(上位5地区までを集計)。

**三渡川下流区間** 回答者数943人

**三渡川上流区間** 回答者数736人

**三渡川中流区間** 回答者数668人



# ■第2回アンケート調査結果(身近な河川別の居住地)

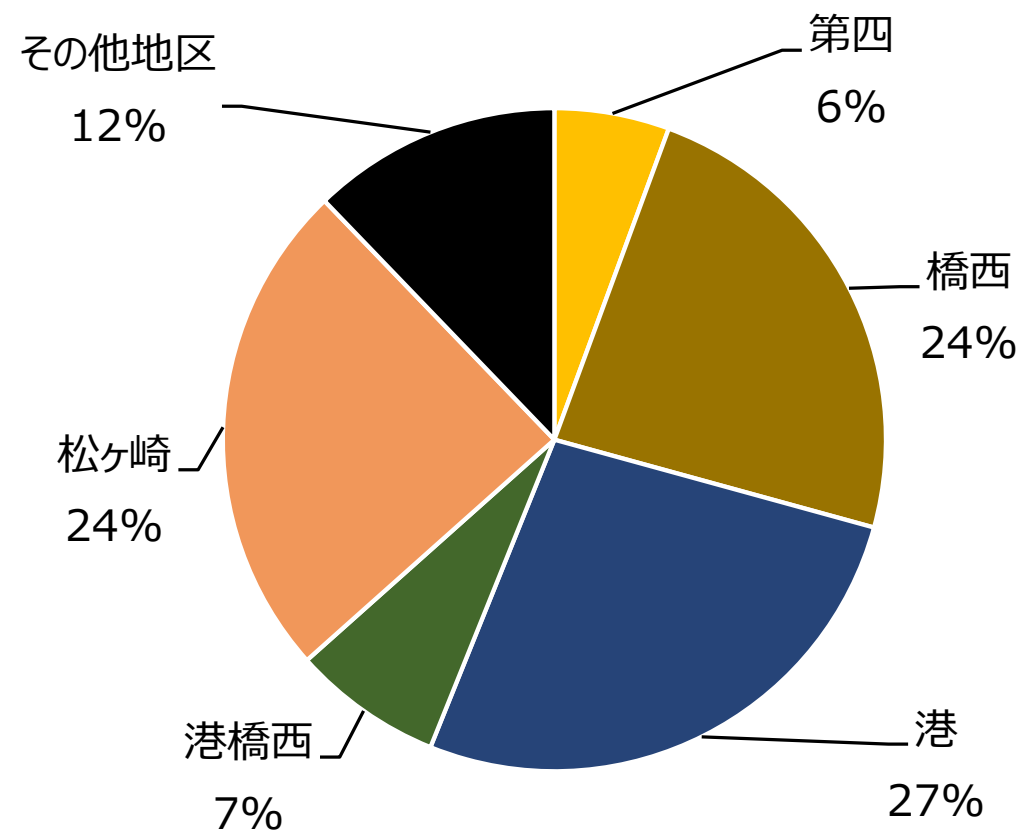
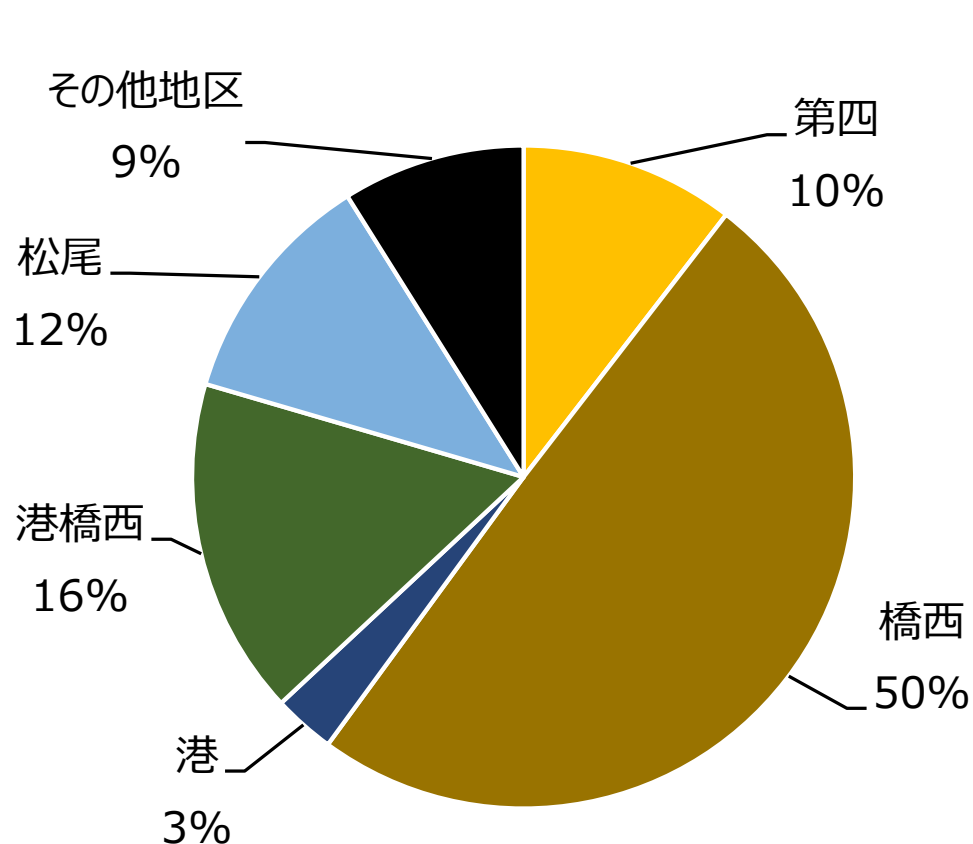


- ・身近な河川が百々川流域との回答は、1,509件であった。
- ・百々川上流区間の方が多く回答をいただいた。
- ・近年都市化が進展する上流区間からの意見が多数寄せられた。

お住いの地区をお答えください(上位5地区までを集計)。

百々川上流 回答者数1,099人

百々川下流 回答者数410人



# ■第2回アンケート調査結果(身近な河川別の居住地)

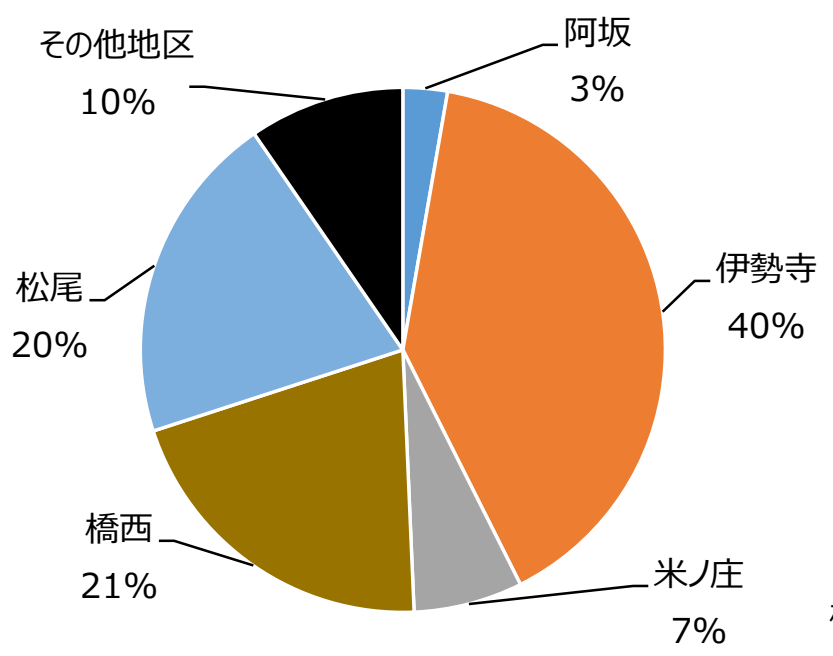


- ・身近な河川が堀坂川・岩内川・中川との回答は、1,158人であった。
- ・3川の中で、堀坂川が730件と最も多く回答をいただいた。
- ・昨年度の台風10号による大雨で、堀坂川の堤防が洗掘されたことが要因と考えられる。

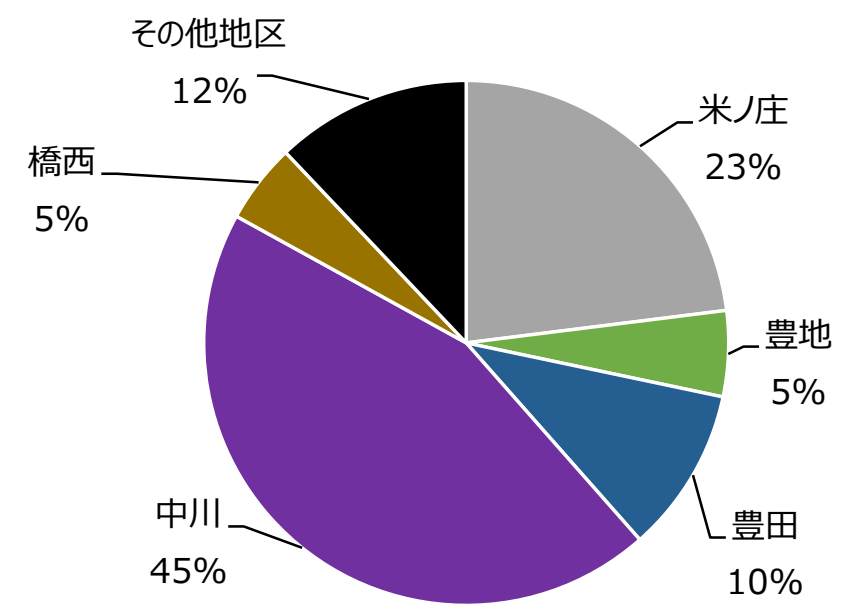
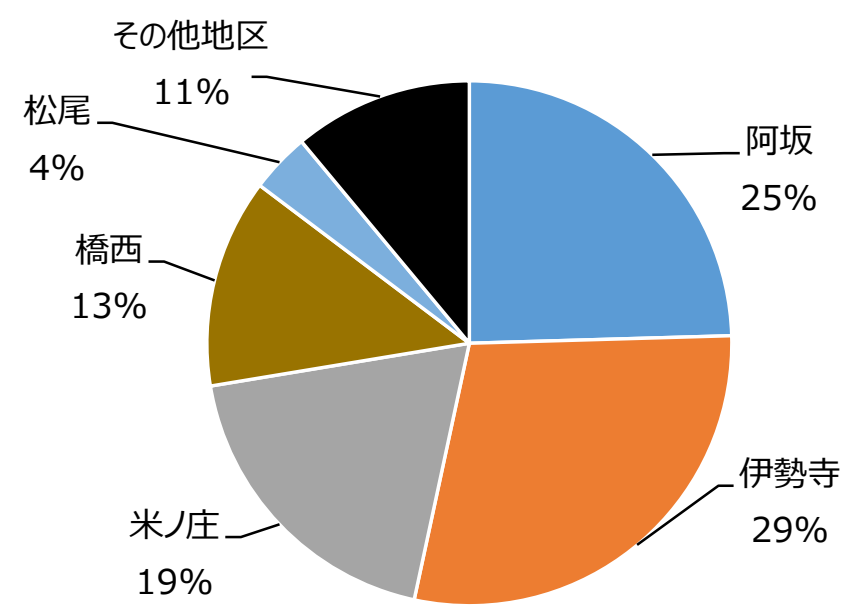
お住いの地区をお答えください(上位5地区までを集計)。

**堀坂川** 回答者数730人

**中川** 回答者数265人



**岩内川** 回答者数163人

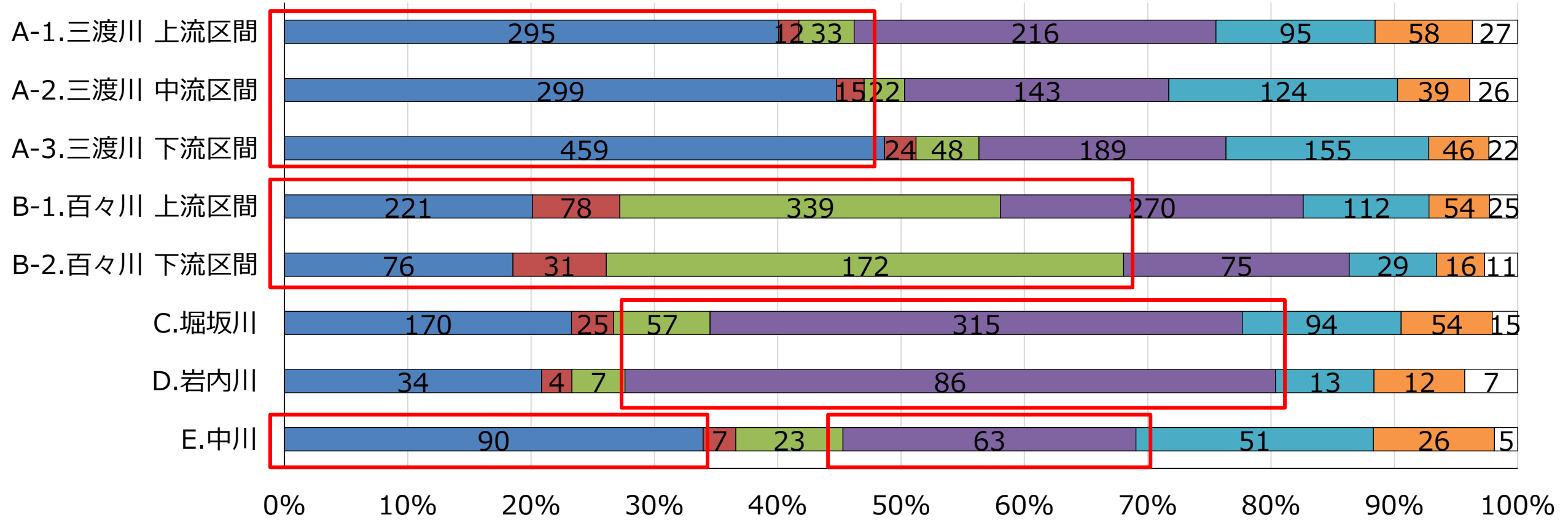


# 第2回アンケート調査結果(治水対策)



- ・三渡川流域と中川流域では、河川改修による治水対策を求める声が多かった。
- ・百々川流域では、上・下流区間ともに、河川改修・排水機場の増強を求める声が多かった。
- ・堀坂川流域・岩内川流域では、維持管理の継続実施を求める声が多かった。

三渡川水系の河川整備計画(原案)の治水対策について、あなたの意見に最も近いものをお答えください。(1つ選択)



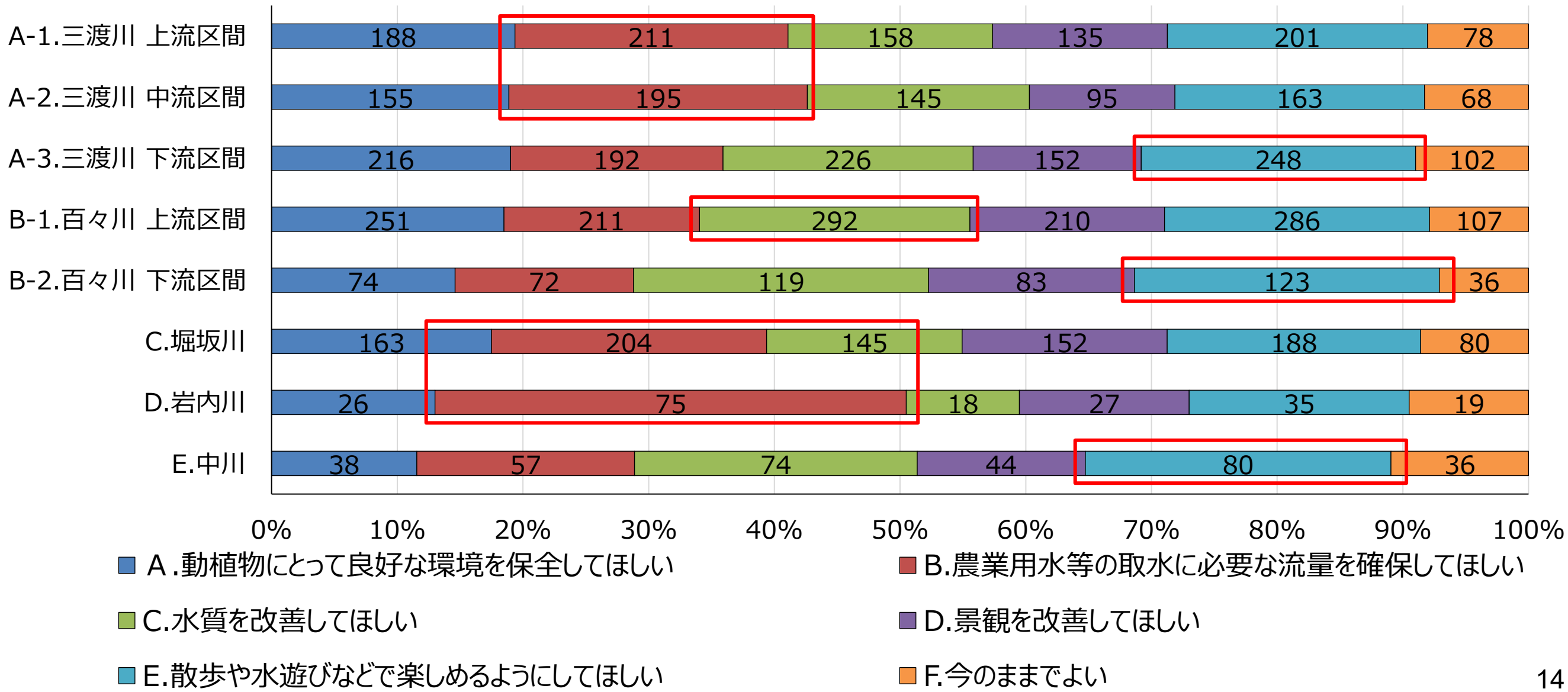
- A.河川改修(河道掘削・築堤・引堤防等)を優先的に進めてほしい
- B.百々川排水機場の耐震対策を優先的に進めてほしい
- C.百々川排水機場の排水能力の増強を優先的に進めてほしい
- D.堆積土砂除去等の維持管理を継続的に実施してほしい
- E.計画を上回る洪水や整備途上段階の洪水による被害を最小限に抑えるよう、ソフト対策を充実してほしい
- F.今のままで十分なので、これ以上の整備は必要ない
- 入力不備/未回答

# 第2回アンケート調査結果(利水・環境)



- ・三渡川流域では、農業用水の確保や、散歩や水遊びなど河川利用の整備を求める声が多かった。
- ・百々川流域では、水質の改善や、散歩や水遊びなど河川利用の整備を求める声が多かった。
- ・岩内川流域と堀坂川流域では、農業用水の確保を求める声が多かった。
- ・中川流域では、散歩や水遊びなど河川利用の整備を求める声が多かった。

三渡川水系の河川整備計画(原案)の利水・環境について、あなたの意見に最も近いものをお答えください。(複数選択可)





## ● 治水対策に関してのご意見(抜粋)

三渡川	百々川
<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>気候変動により洪水等の不安が高まりましたので、計画等を早めに実施してほしいと思います。</u></li> <li>• <u>三渡川は特に川底が浅い。南海トラフの際、津波が逆流したり大雨の際洪水の危険あり。川底をもっと深くするか、堤防をもっと高くしてほしい。</u></li> <li>• <u>現状を維持していくためにソフト面(教育やPR)の充実に取り組んでいただきたい</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>百々川の下流域は長年上流よりも川幅が狭い為浸水被害が発生すると思っています。川幅を広げることが根本的対策と考えます。</u></li> <li>• <u>百々川の上流部分は下流域の排水能力が低いためか少しの大雨で道路冠水することがあります。</u></li> <li>• <u>家屋の浸水被害を最小限にする取組みが第一優先とは思いますが、松ヶ島地区の孤立化を防ぐためにも、百々川排水場の耐震化・排水能力の増強を進めてほしい</u></li> </ul>

### 堀坂川・岩内川・中川

- 堀坂川の上中流域の堤防が老朽化している。土砂浚渫のほかにも護岸の点検、護岸整備をしてほしい。
- 堀坂川、岩内川共に、堤防の雑木などが長く延びて川幅がせまくなっており、水の流れているところが狭く、台風などの流量にたえられない状況になっていることが心配
- 中川の川床に堆積した土砂や、堤防に生えた草木を定期的に除去することで、維持管理して欲しい



## • 利水・環境に関してのご意見(抜粋)

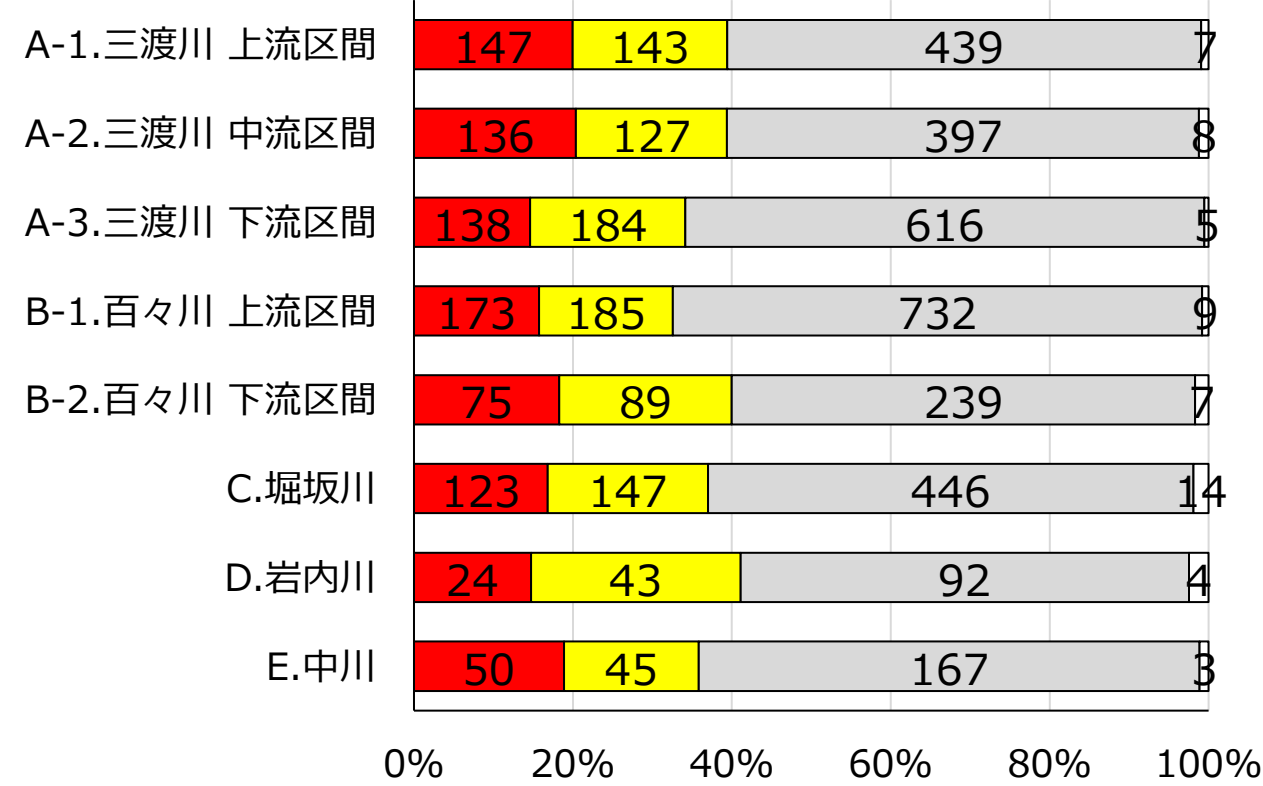
三渡川	百々川
<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>田んぼによる治水機能を活かすよう周辺住民や農家としっかり協議してほしい</u></li> <li>• 当該川に至るまでの用水路等の改修および整備にも取り組んでもらいたい。<u>大雨ですぐに溢れる水路の箇所がある</u></li> <li>• <u>人にとっても動植物にとっても住みやすい環境にして欲しい。水害への対策だけでなく、普段の生活でも河川の自然環境を楽しめるような整備計画にして欲しい</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>これ以上の田圃の埋め立ては制限されることが望ましいのではないか。百々川でほたるが飛ばなくなって残念に思う</u></li> <li>• 百々川上流域の水質はかなり改善され、オイカワ等も沢山生息しています。最近ではキツネを見かける事もある。ただ、<u>雑木等でかなり荒れてるので不安</u></li> <li>• <u>小学生が野生の鳥を観察しています。これからも続けられる環境を保ってほしい</u></li> </ul>
堀坂川・岩内川・中川	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 堀坂川は、50年前の環境(自然の川岸植物)は残っていないが、<u>これ以上の自然破壊は不必要で現状維持を望む</u></li> <li>• 岩内川は流木の詰まりによる<u>土砂の堆積が多く、農業用水の取水に障害になるものが多い</u></li> <li>• 中川は、<u>散歩コースやジョギングコースなど人々が楽しめる場所、環境の整備を希望します</u></li> </ul>	

# 第2回アンケート調査結果(流域治水)



三渡川水系の河川整備計画に関する項目の他、流域治水の取組に関するアンケート項目を設定した。  
 ・アンケートの実施にあたって、配布したパンフレット内で三重県における流域治水の取組を紹介した。  
 ・流域治水の取組について、「『流域治水』という言葉は聞いたことがなかった。(パンフレットを見て初めて知った)」と回答した人が全体の半分以上を占めた。

## ⑨ 「流域治水」という言葉やその意味を知っていましたか？(1つ選択)



- A.「流域治水」という言葉とその意味を知っていた。
- B.「流域治水」という言葉は聞いたことがあったが、その意味は知らなかった。
- C.「流域治水」という言葉は聞いたことがなかった(パンフレットを見て初めて知った)。
- 入力不備

### 流域治水の取組を進めています。

三渡川水系では、気候変動による水害リスクの増大を踏まえ、河川整備計画に基づく河川改修を進めるとともに、流域に関わるあらゆる関係者が協力して、流域全体で水害を軽減させるための治水対策である「松阪圏域二級水系流域治水プロジェクト」が進められています。

このプロジェクトでは、①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策に取り組んでいます。

#### ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河川改修・堆積土砂の撤去・ダム建設などの治水対策、田んぼダムや農業用ため池を活用した雨水貯留対策、森林整備による保水力の向上などを推進しています。

- 農業用ため池の活用
  - 大雨が予測される際あらかじめ水位を下げることで大雨を一時的に溜めて、一度に川へ流れ込む水の量を抑えます。
- 田んぼダムの普及・啓発
  - 田んぼの排水口に堰板などを設置し、雨水が川や排水路へ、すぐに流れ込むことを抑制します。

#### ② 被害対象を減少させるための対策

浸水想定区域など水災リスクを把握し、よりリスクの低い地域への居住を促すなど、まちづくりや住まいの工夫を行っています。

- 立地適正化計画に基づく防災指針の作成
  - 市町が立地適正化計画に基づく「防災指針」を策定し、水災リスク等を踏まえた住居や都市機能の安全な場所への計画的な誘導を進めています。

#### ③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

ハザードマップの作成・公表や、インターネット・SNSによる河川水位情報・降雨情報の発信などを推進しています。

- 防災情報の提供
  - (ハザードマップ、簡易型河川監視カメラ、危機管理型水位計等)
  - 頻発する豪雨災害への備えとして、「危機管理型水位計」、「簡易型河川監視カメラ」を設置し、水災害の早期把握に資する情報提供を行います。

### 防災情報を活用しましょう

#### 水災害リスクを知る

下記のウェブサイトなどを活用して、危険性を知ることから始めましょう。

- 松阪市/洪水・津波ハザードマップ
  - 松阪市のホームページで、津波・洪水・土砂災害・ため池・高潮・内水・重ねの各種ハザードマップが公開されています。

#### 水災害から身を守る行動をする

最新情報を入力し、適切なタイミングで安全に避難しましょう。

- 川の防災情報
  - 豪雨などの際に、川の水位情報や河川ライブカメラの画像をリアルタイムで入手できます。
- キキクル(危険度分布)
  - 大雨による土砂災害・浸水・洪水・洪水災害の危険度の高まりを、地図上で確認できるシステムです。災害の危険度を5段階で色分けしてリアルタイムに表示します。
- 防災みえ.jp
  - 気象・台風・地震に関する情報、防災情報などを配信している総合防災サイトです。

#### 防災アプリで災害に備える

三重県公式防災アプリ「みえ防災ナビ」で災害に備えよう!

- みえ防災ナビ
  - 県では、今後予想される、南海トラフ地震などの災害発生に備え、県民の皆さんや県内に旅行に来られる方の避難を支援するための各種防災情報を提供する三重県公式防災アプリ「みえ防災ナビ」を運用しています。
- 三重県公式防災アプリ
  - 地震・気象情報 避難場所等
  - ハザードマップ

配布したパンフレット(抜粋)



災害について	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ <u>三渡川</u>では、<u>河道掘削や築堤、引堤防等の河川改修による治水対策を求める意見が最も多い</u> ⇒引き続き河床掘削、築堤、護岸整備などにより河積の拡大を実施する。</li><li>◆ <u>百々川</u>では、<u>約4割が排水機場の能力増強を求めているほか、百々川排水場の耐震化・排水能力の増強を求める意見があった</u> ⇒地震後の洪水・高潮による被害を軽減するため百々川排水機場の耐震性能を確保するとともに、<u>ポンプ増設を整備目標として設定した。</u></li><li>◆ <u>気候変動による洪水等の不安が高まっているので整備計画の早急な実施を求める意見があった。</u> ⇒整備計画では、<u>将来の気候変動による影響を考慮した計画規模による洪水に対して被害を防ぐこと</u>を整備目標として設定した。</li><li>◆ <u>河道の整備だけでなく、山の管理や田んぼダムの活用等、流域治水の推進に関する意見もあった。</u> ⇒流域のあらゆる関係者の協働による<u>総合的かつ多層的な治水対策(流域治水)</u>について、関係機関と連携して推進する。</li></ul>
環境・生物について	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ <u>水害への対策だけでなく、人にとっても動植物にとっても住みやすい環境を確保できる整備計画を求める意見があった</u> ⇒水生生物等の生息場となる<u>瀬や淵、水際植生等の保全や復元を目指すとともに、鳥類等の生息場としての機能に配慮して可能な限り河畔林およびヨシ原の保全・創出を図る。</u></li></ul>
利水・風景について	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ <u>散歩コースやジョギングコースなど、人々が楽しめる場所、環境の整備を希望する意見があった。</u> ⇒流域の豊かな自然環境や地域の風土・歴史・文化を踏まえ、<u>治水機能や自然・景観との調和に配慮しつつ、人々のやすらぎの空間となるよう活用、保全に努める。</u></li></ul>

# 目次

1. これまでの経緯 [一部更新]
2. 前回流域委員会での意見・回答 [新規]
3. 第2回住民アンケート調査結果 [新規]
- 4. 河川整備計画(原案)の概要 [新規]**
  - 4.1 流域及び河川の概要 [変更なし]**
  - 4.2 現状と課題(治水・利水・環境) [変更なし]
  - 4.3 河川整備計画の目標に関する事項 [新規]
  - 4.4 河川整備計画の実施に関する事項 [新規]
5. 今後の進め方 [一部更新]



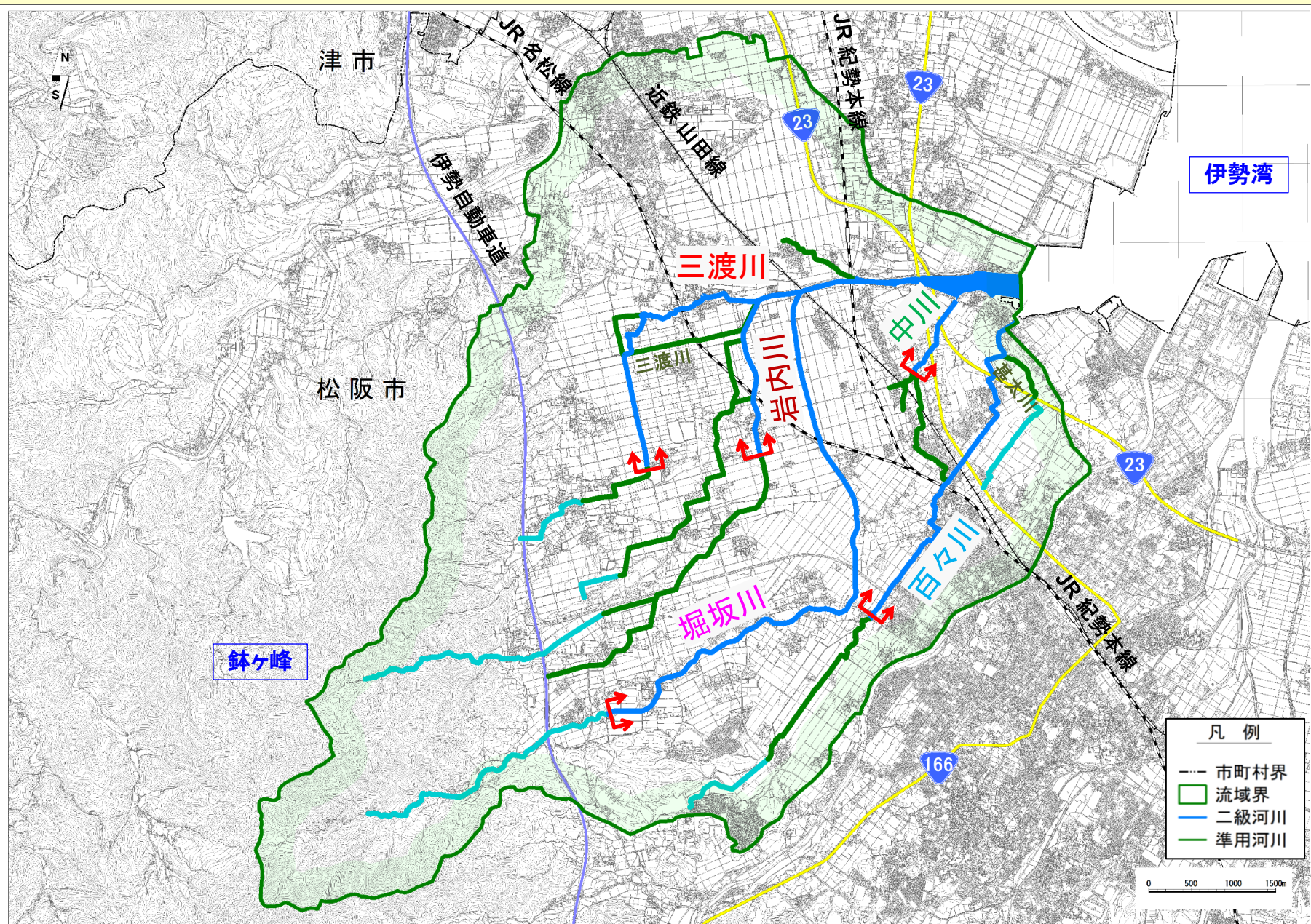
# 流域及び河川の概要（流域の概要）



- **三渡川**（みわたりがわ）は、松阪市を流域とする、総管理延長約20.3kmの二級河川である。**鉢ヶ峰**（はちがみね）を発し、東流後支川と合流し**伊勢湾**に至る。
- 河床勾配は1/120～1/25,000で、中上流から下流域は水田地帯である。

□関係市町：松阪市  
 □支川：**百々川**（どどがわ）、**堀坂川**（ほっさかがわ）、**岩内川**（ようちがわ）、**中川**（なかがわ）  
 準用河川**甚太川**（じんたがわ）、準用河川**三渡川**

- 流域面積：約54.31km<sup>2</sup>  
 管理延長：合計約20.3km
- 三渡川**：約6.8km
  - 百々川**：約4.4km
  - 堀坂川**：約6.5km
  - 岩内川**：約1.5km
  - 中川**：約1.1km



**三渡川** 三渡大橋下流 (下流部)



**三渡川** 岩内川合流点下流 (中流部)

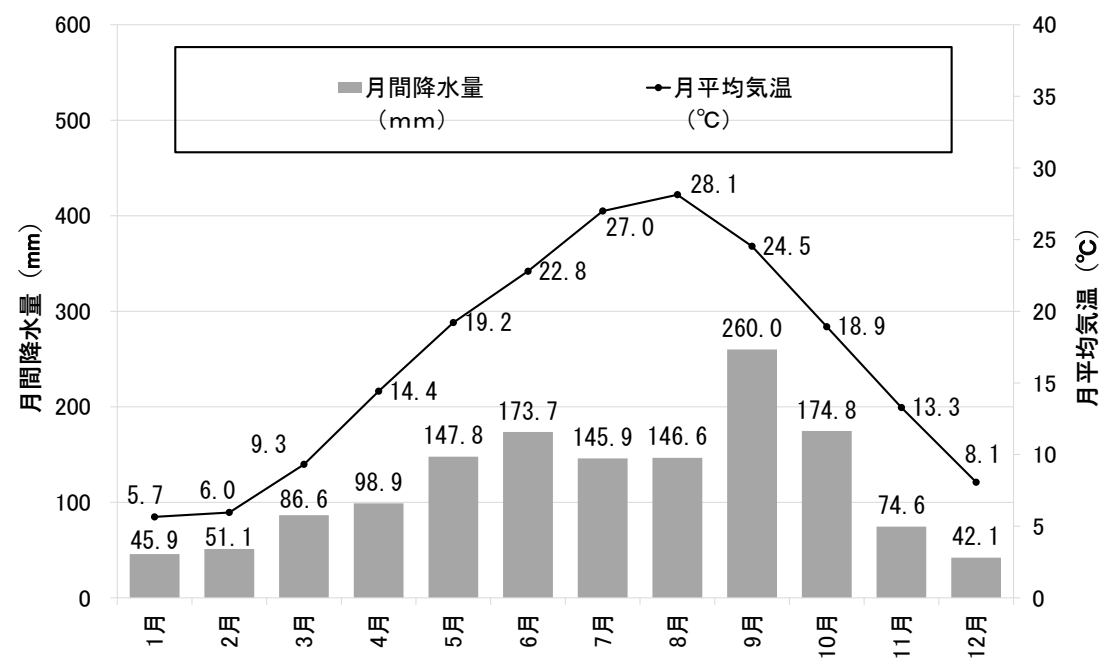


**三渡川** 三蔵橋下流 (上流部)

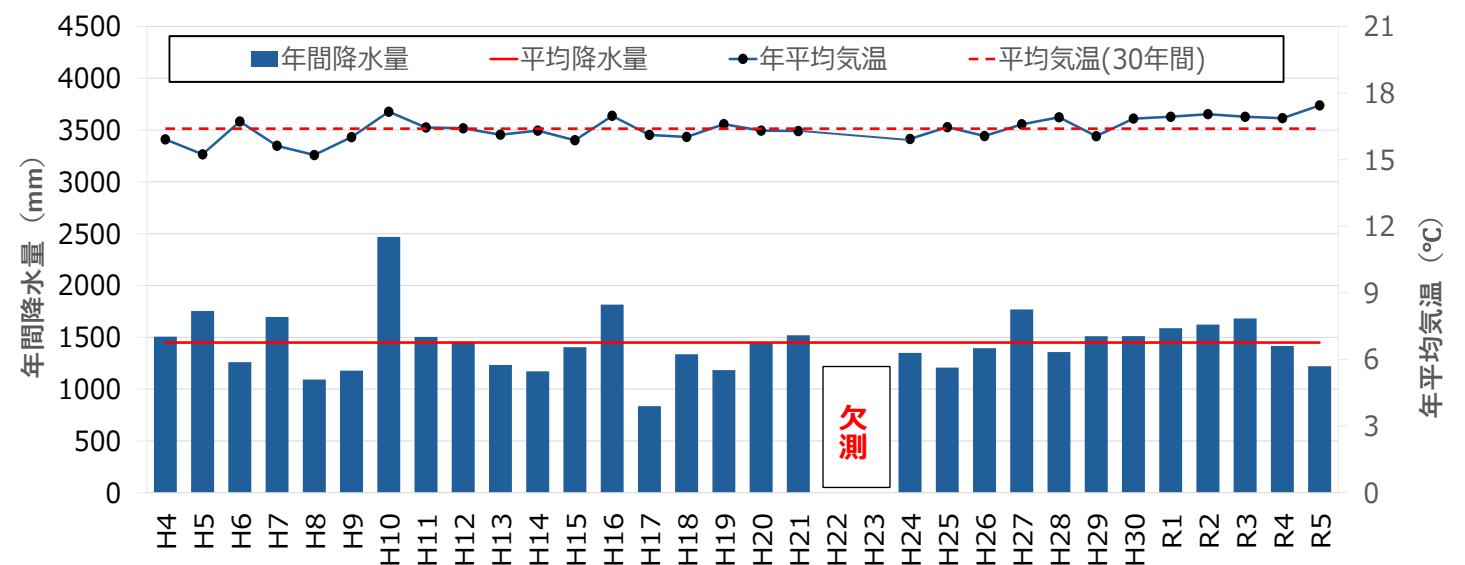
# 流域及び河川の概要（気候、気象）



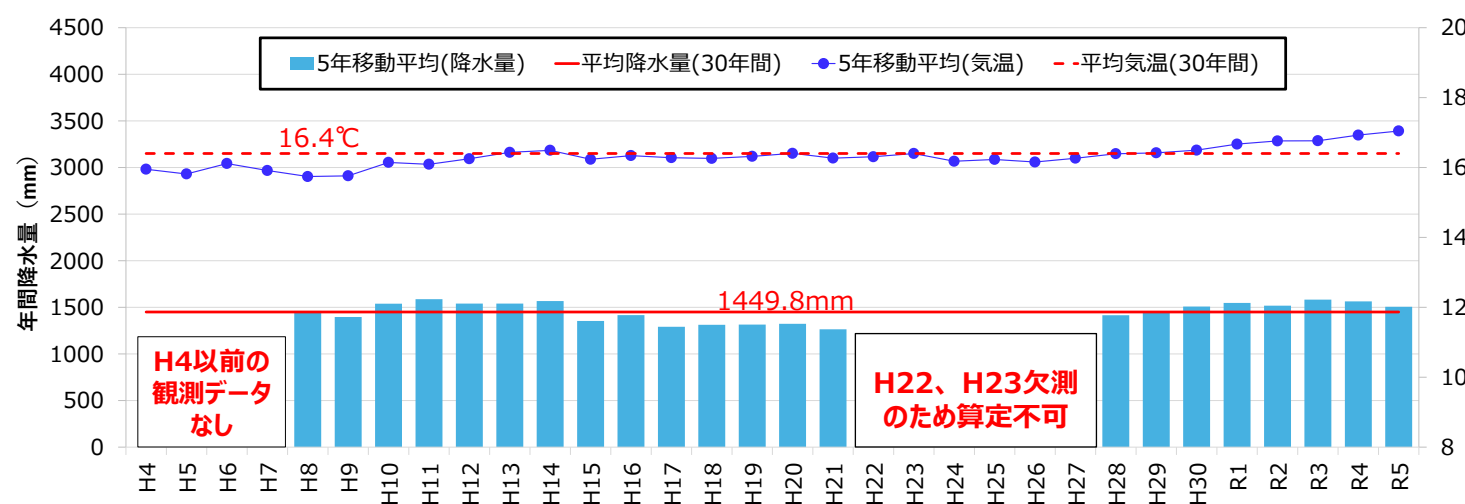
- 松阪市における年間気温・降水量の30年平均値(1994～2023年)は16.4℃、及び1449.8mmで、全国平均の14.5℃、1,606.7mmと比べると、気温は高く、降水量は少ない。
- 経年的な推移を5年移動平均で見ると、近年は気温、降水量ともやや増加傾向である。



松阪市における月別平均気温、降水量 (1992(H4)～2023(R5)年(H22,H23を除く)の平均)



松阪市における年平均気温・降水量の変化



5年移動平均気温、5年移動平均降水量の変化

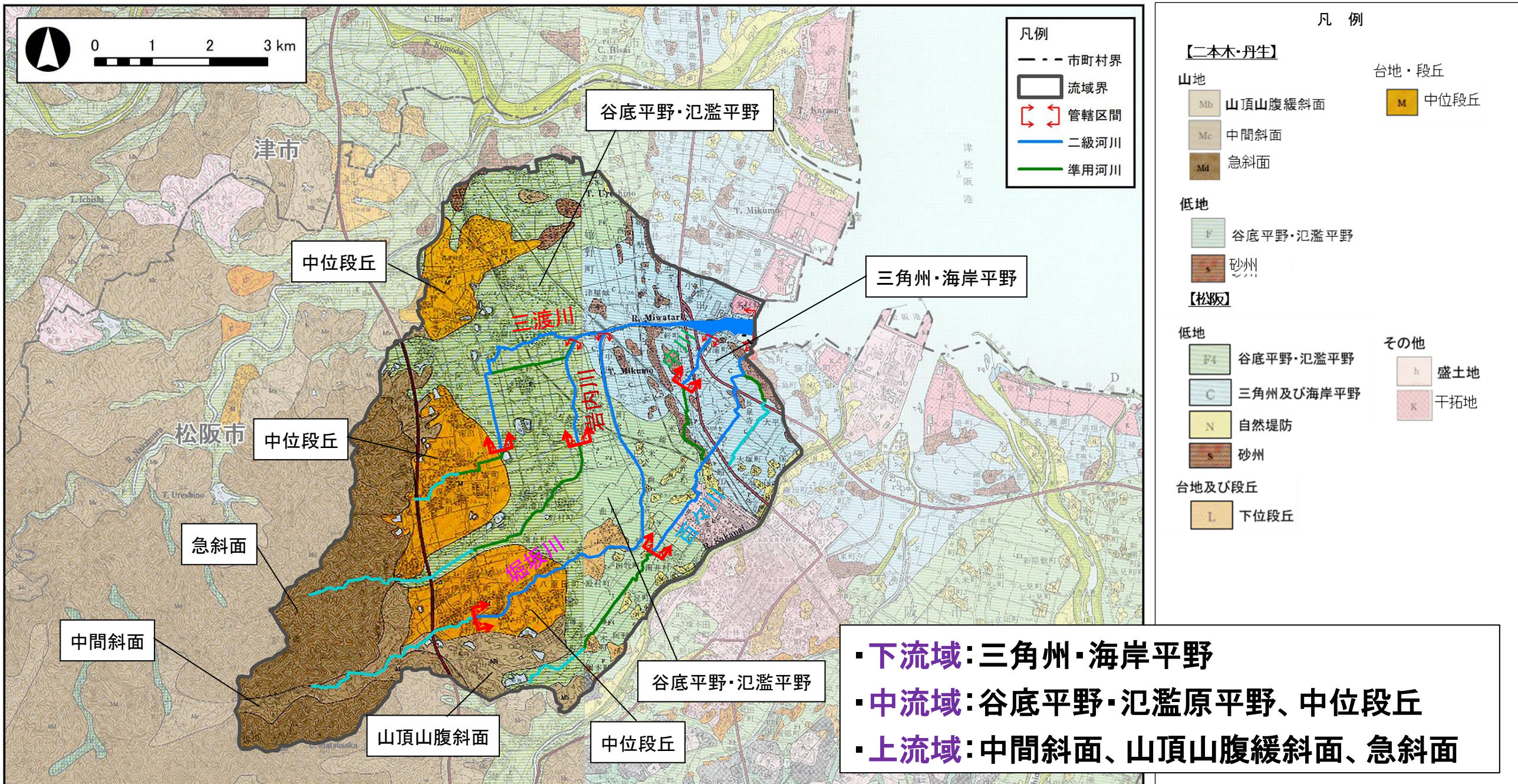
※平均気温、平均降水量は、1992(H4)～2023(R5)年 (H22,H23を除く)の30年平均

出典：津観測所地点気温、降水量：松阪建設事務所 松ヶ崎観測地点

# 流域及び河川の概要（地形）



- 下流域は三角州及び海岸平野、中流域は谷底平野・氾濫平野で主に形成され、流域の大半を低地が占めている。
- 中流域から上流域にかけては、中位段丘、中間斜面、山頂山腹緩斜面といった比較的緩やかで低い山地で形成され、上流域は急斜面といった急峻な山地で形成されている。

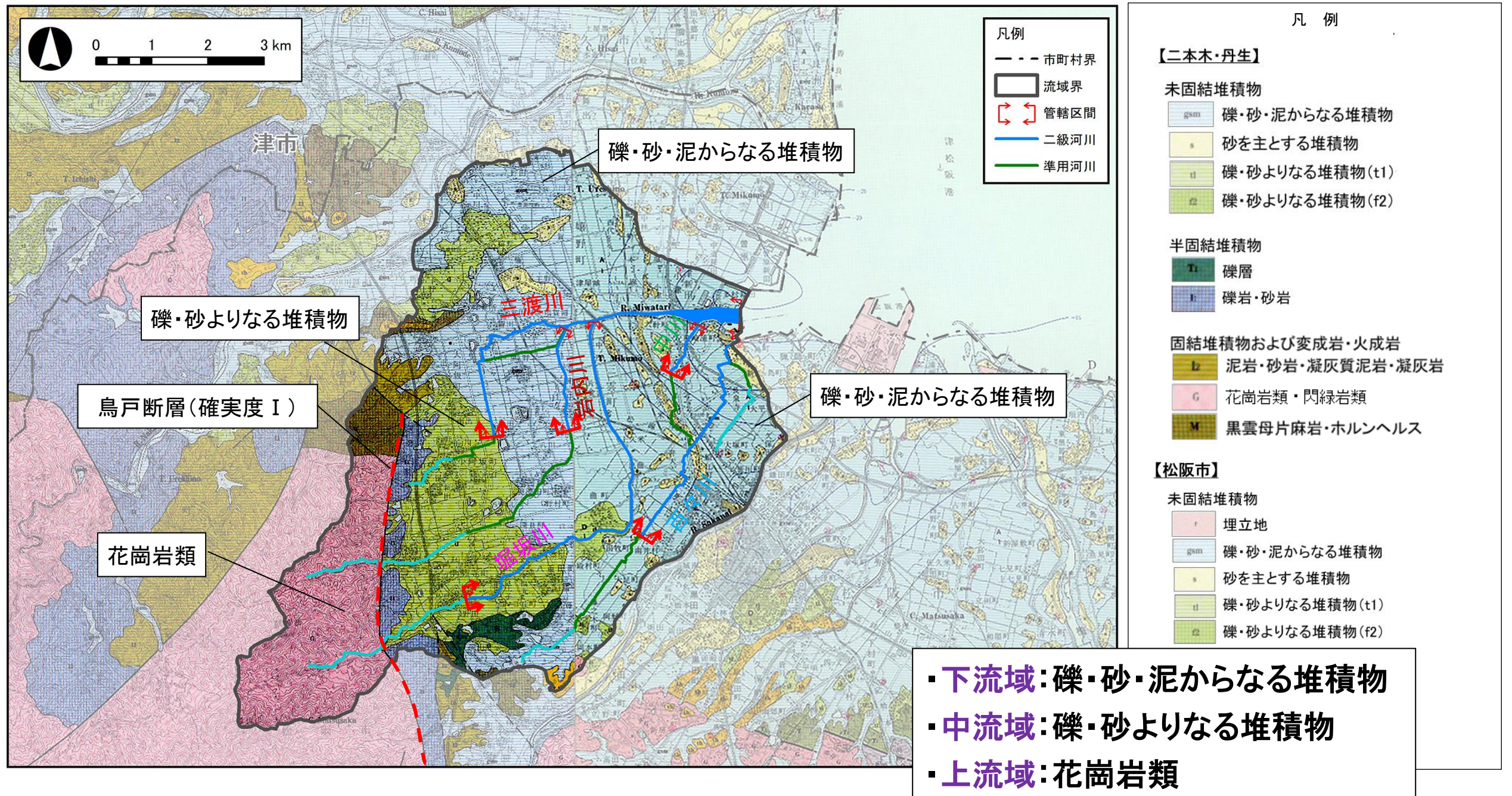


出典：「5万分の1都道府県土地分類基本調査(地形分類図)「二本木・丹生(平成10年)」「松阪」(昭和63年)

# 流域及び河川の概要（地質）



- 流域の表層地質を大別すると、**中下流域**を占める低地部は礫・砂・泥からなる堆積物、**中流から上流**にかけて形成される丘陵地では、礫・砂よりなる堆積物、**山地部**は花崗岩類からなる深成岩で構成されている。
- 山地と段丘の境に「**鳥戸断層**（确实度 I : 活断層であることが确实なもの）」が南北に走る。

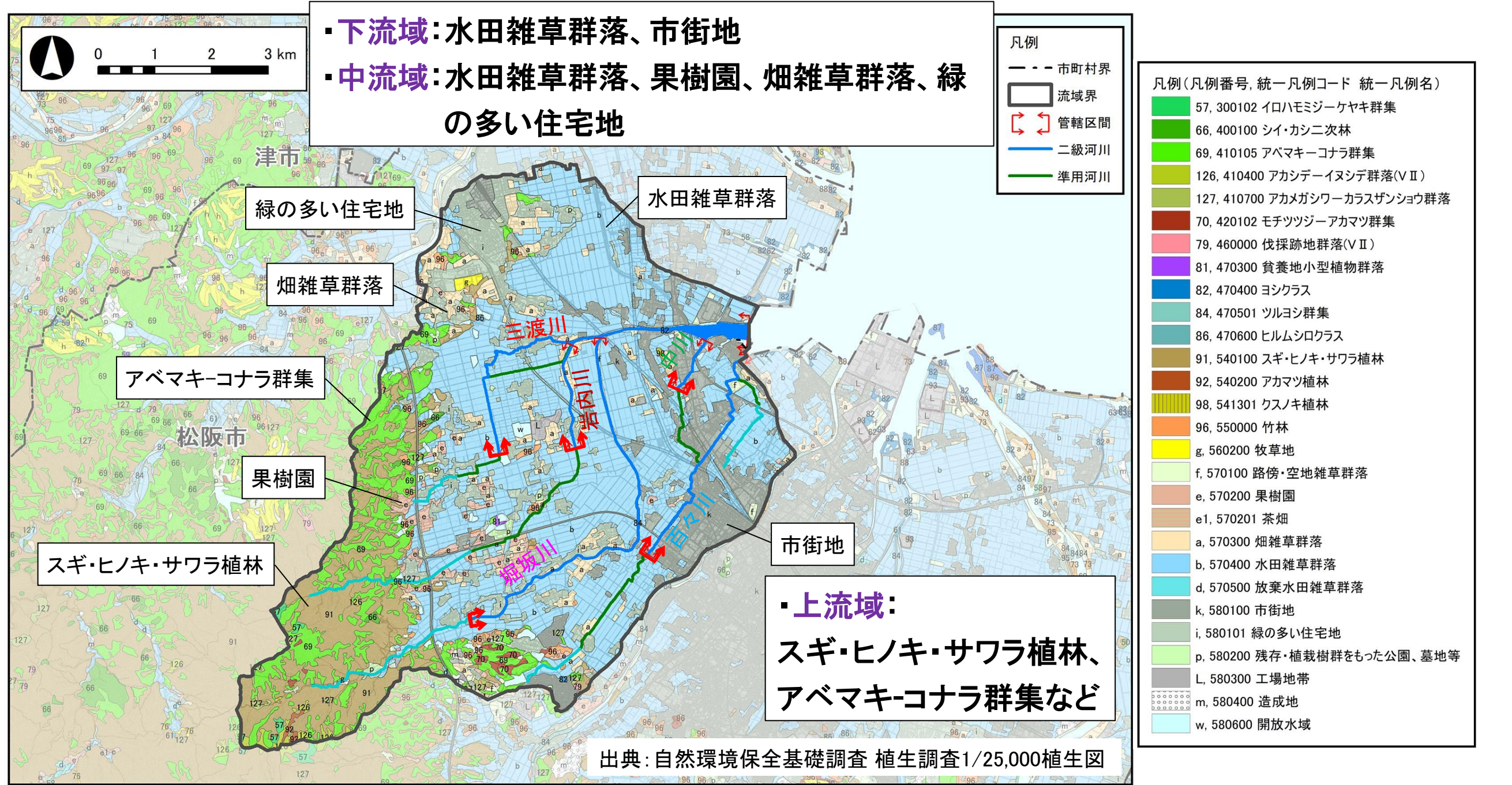


出典:「5万分の1都道府県土地分類基本調査(表層地質図)」「二本木・丹生」(平成10年)、「松阪」(昭和63年)

# 流域及び河川の概要（植生）



- 流域内の植生について、**中下流域**の低地部は殆どが水田雑草群落、市街地となっている。
- 中上流域**の丘陵地には、果樹園、畑雑草群落、緑の多い住宅地がみられる。
- 山地部**では主にスギ・ヒノキ・サワラ植林、アベマキ・コナラ群集などがみられる。

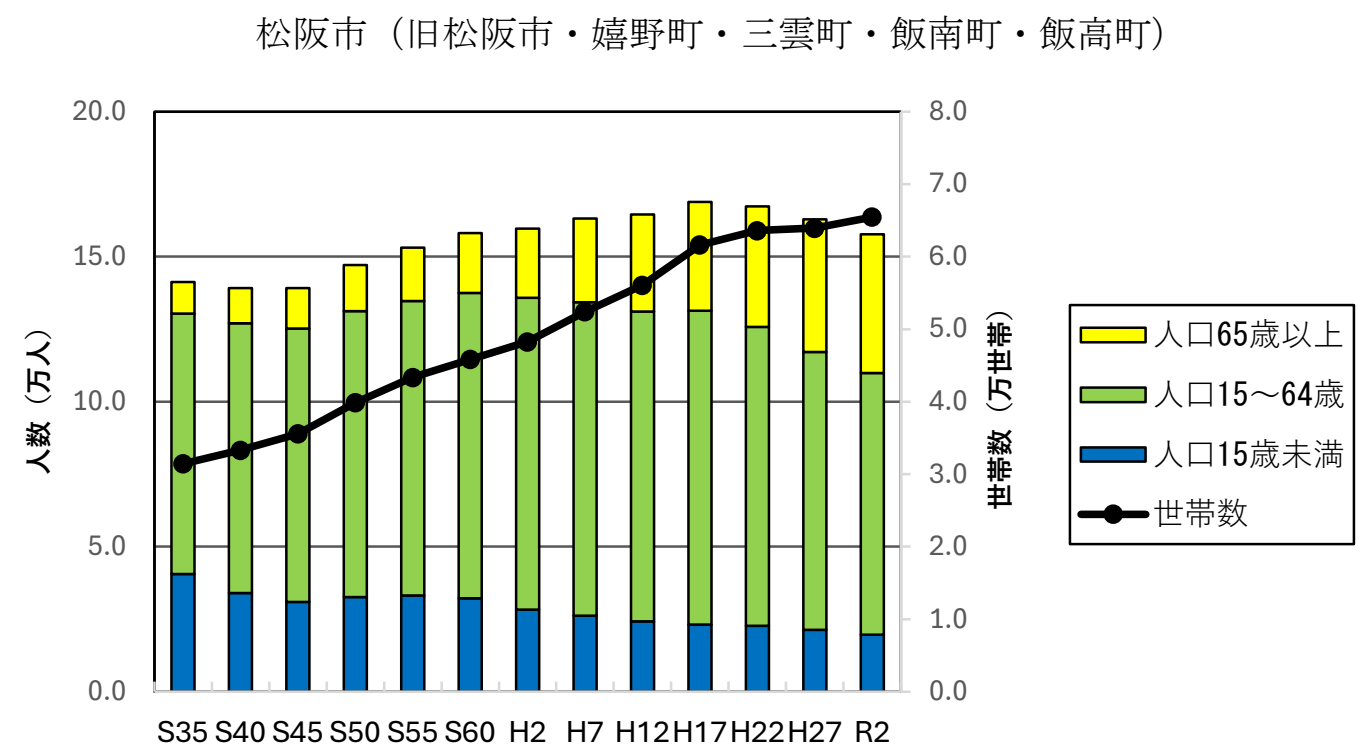


# 流域及び河川の概要（人口・世帯数）



- 松阪市の人口・世帯数は、昭和35年度以降から平成17年度まで増加傾向が続いていたが、人口は平成17年度をピークに減少傾向、世帯数は微増傾向がみられる。
- 流域内人口は令和2年度に3万7千人で、平成22年度まで増加傾向がみられたが、その後減少傾向である。世帯数は、令和2年度で約1万5千世帯で、増加傾向である。

【人口・世帯数】

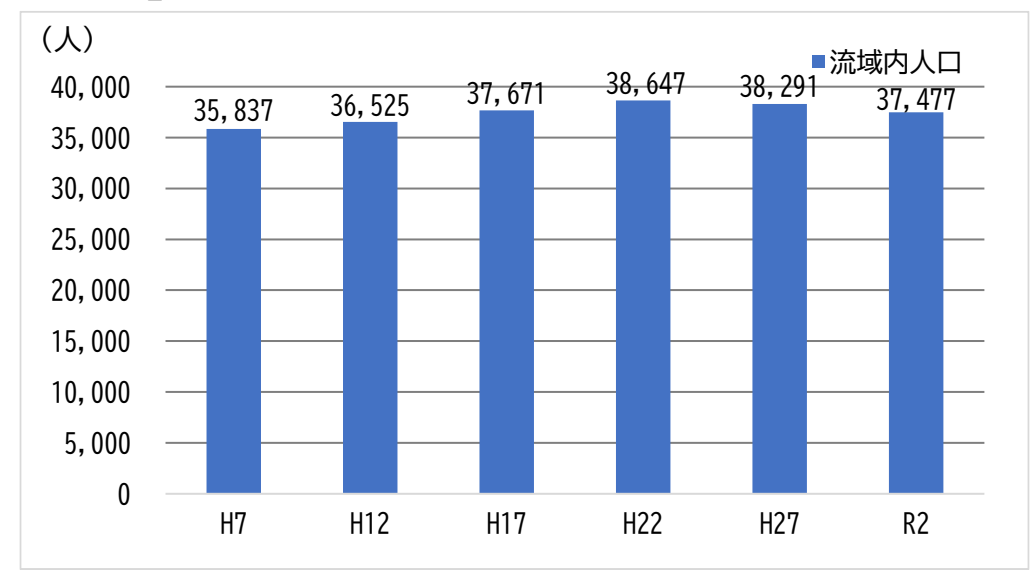


※S35～H12は旧松阪市、嬉野町、三雲町、飯高町、飯南町の合計値を示す。

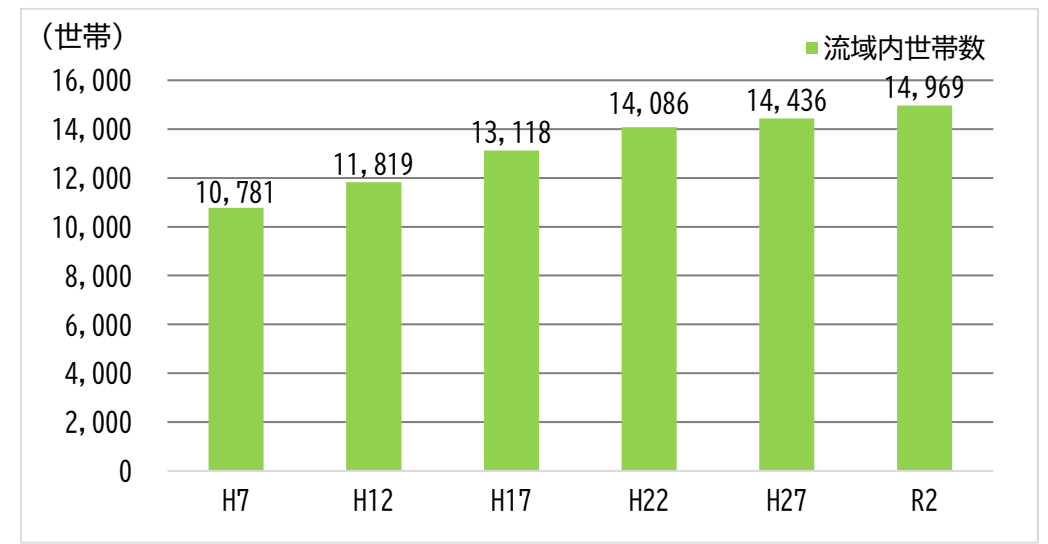
出典：三重県Webサイト みえDataBoX

流域関連市町の人口・世帯数（S35～R2）

【流域内人口】



【流域内世帯数】



出典：e-start統計で見る日本 4次メッシュデータ

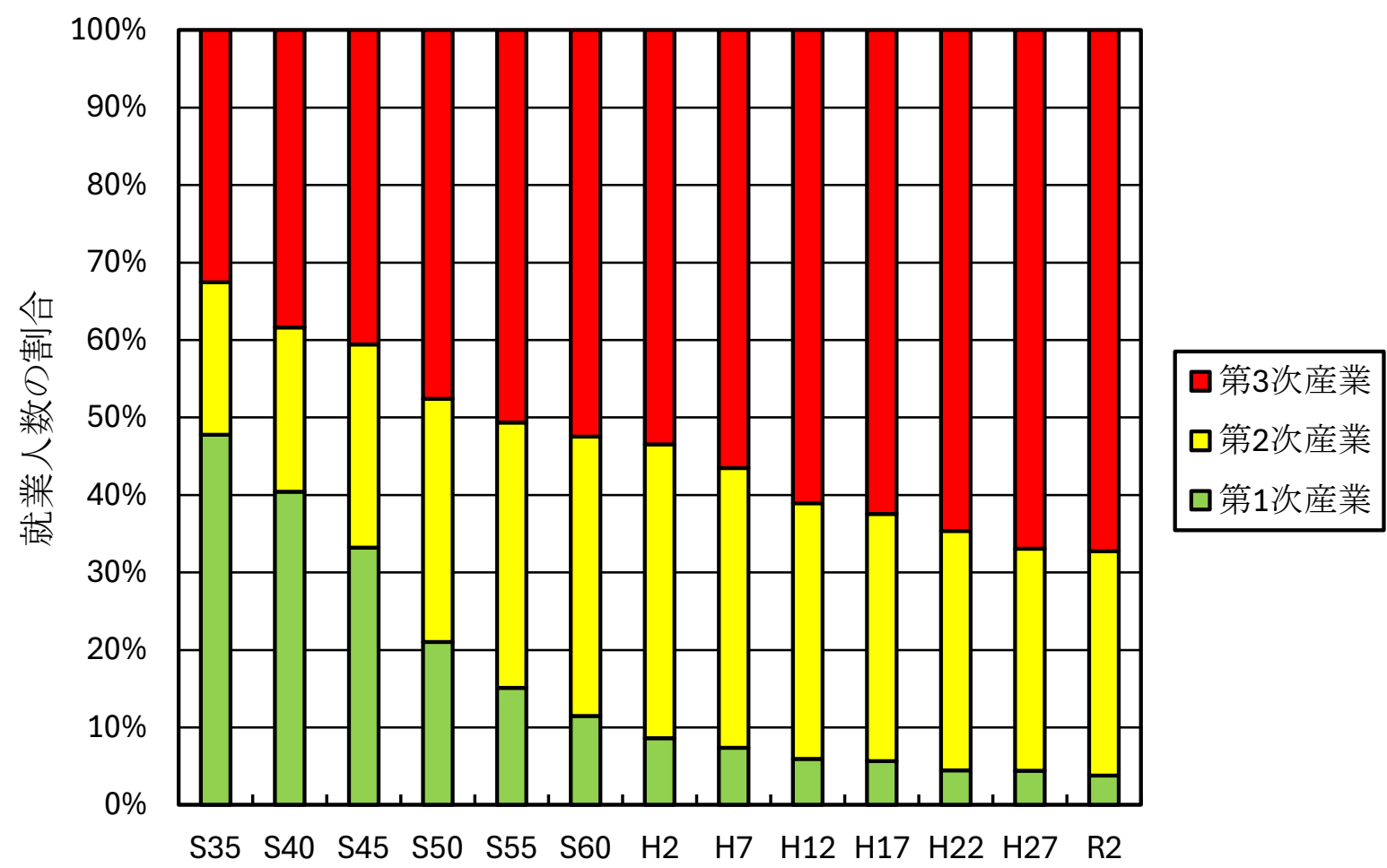
流域内人口・世帯数（H7～R2）

# 流域及び河川の概要（産業）



- 第1次産業から第2次産業・第3次産業（サービス業）への移行がみられる。
- 昭和35年に20%であった第2次産業従事者割合は、令和2年で29%、昭和35年に33%であった第3次産業従事者割合は、令和2年で67%まで増加している。

松阪市（旧松阪市・嬉野町・三雲町・飯南町・飯高町）



※S35～H12は旧松阪市、嬉野町、三雲町、飯高町、飯南町の合計値を示す。

流域関連市町の産業別就業者数の割合（S35～R2）

資料：三重県WEBサイト みえDataBoX

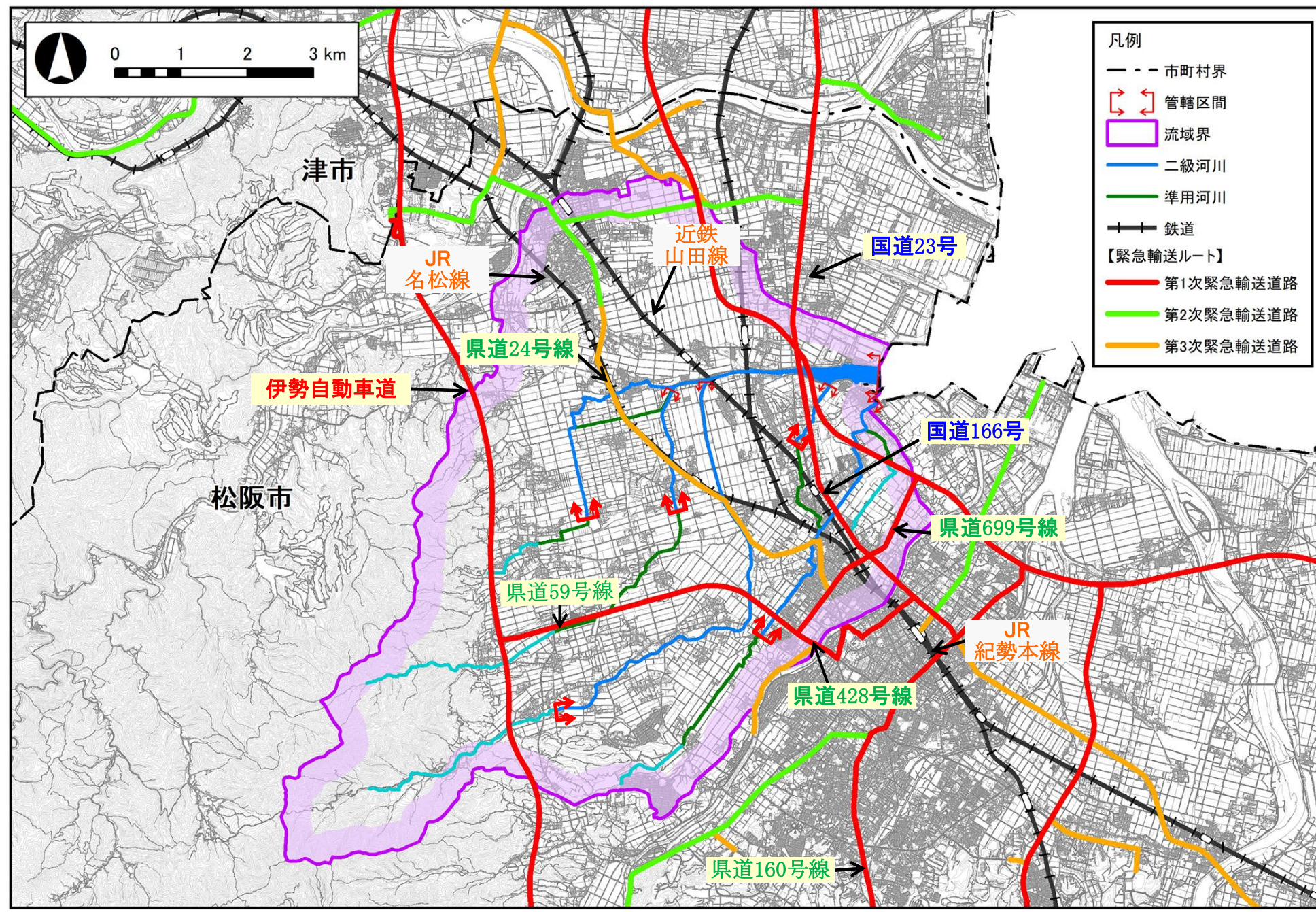
出典：三重県Webサイト 市町(村)累年統計表

産業別従事者数の推移（S35～R2）

# 流域及び河川の概要（交通）



流域における主要な交通施設として、伊勢自動車道、国道23号、国道166号等の幹線道路、JR紀勢本線、JR名松線、近鉄山田線などの鉄道が位置しており、多くの橋梁が河川を横過している。



※この地図は、「電子地形図25000（国土地理院）」を加工して作成している。

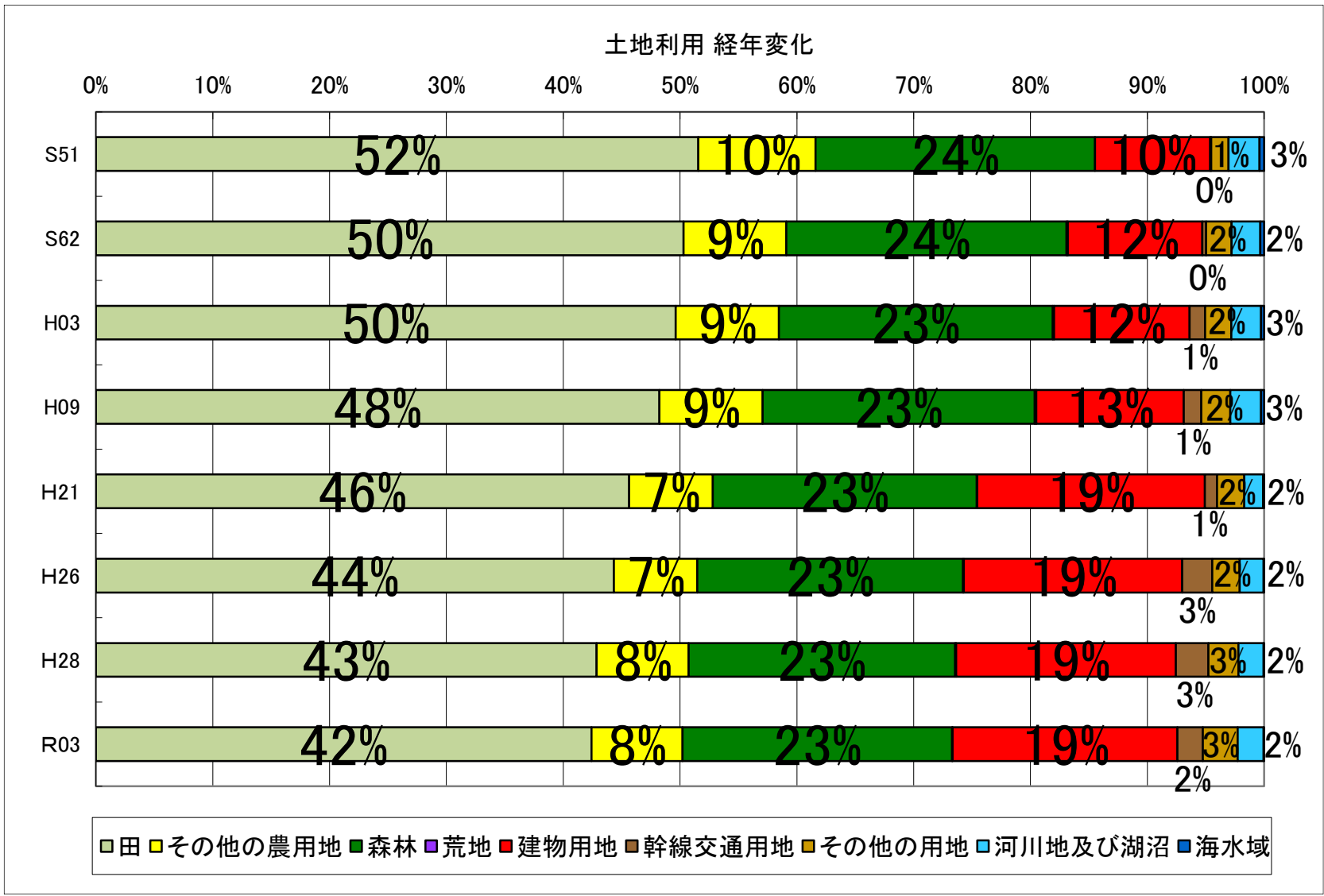
交通網図

出典：国土数値情報 R2 緊急輸送道路、R4 鉄道

# 流域及び河川の概要（土地利用の変遷）

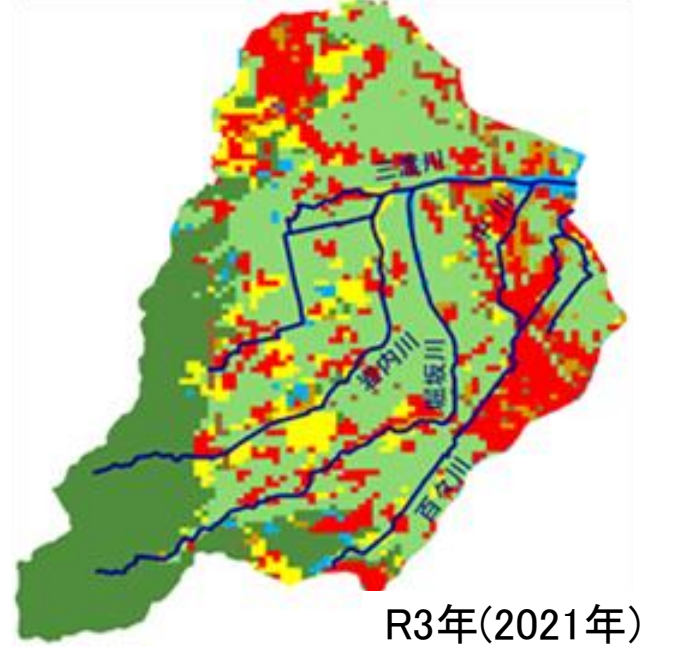
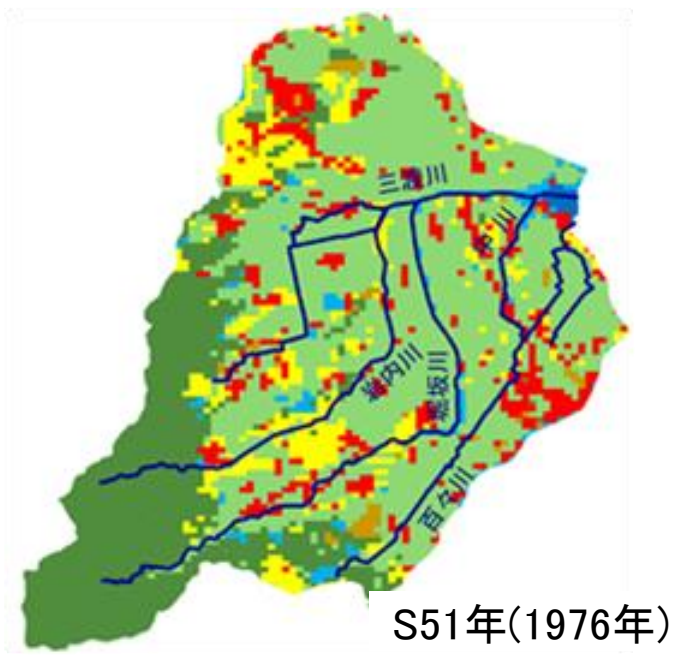


- 流域内の土地利用は、昭和62年以降、「田」、「その他の農用地」、「森林」が減少している一方で、「建物用地」は平成21年時点まで増加傾向が続いているがその後横ばいである。
- 分布域で見ると、百々川流域で市街地の拡大が顕著である。



流域内における土地利用別の面積割合の変化

※その他の用地：運動競技場、空港、競馬場・野球場・学校港湾地区・人工造成地の空地等



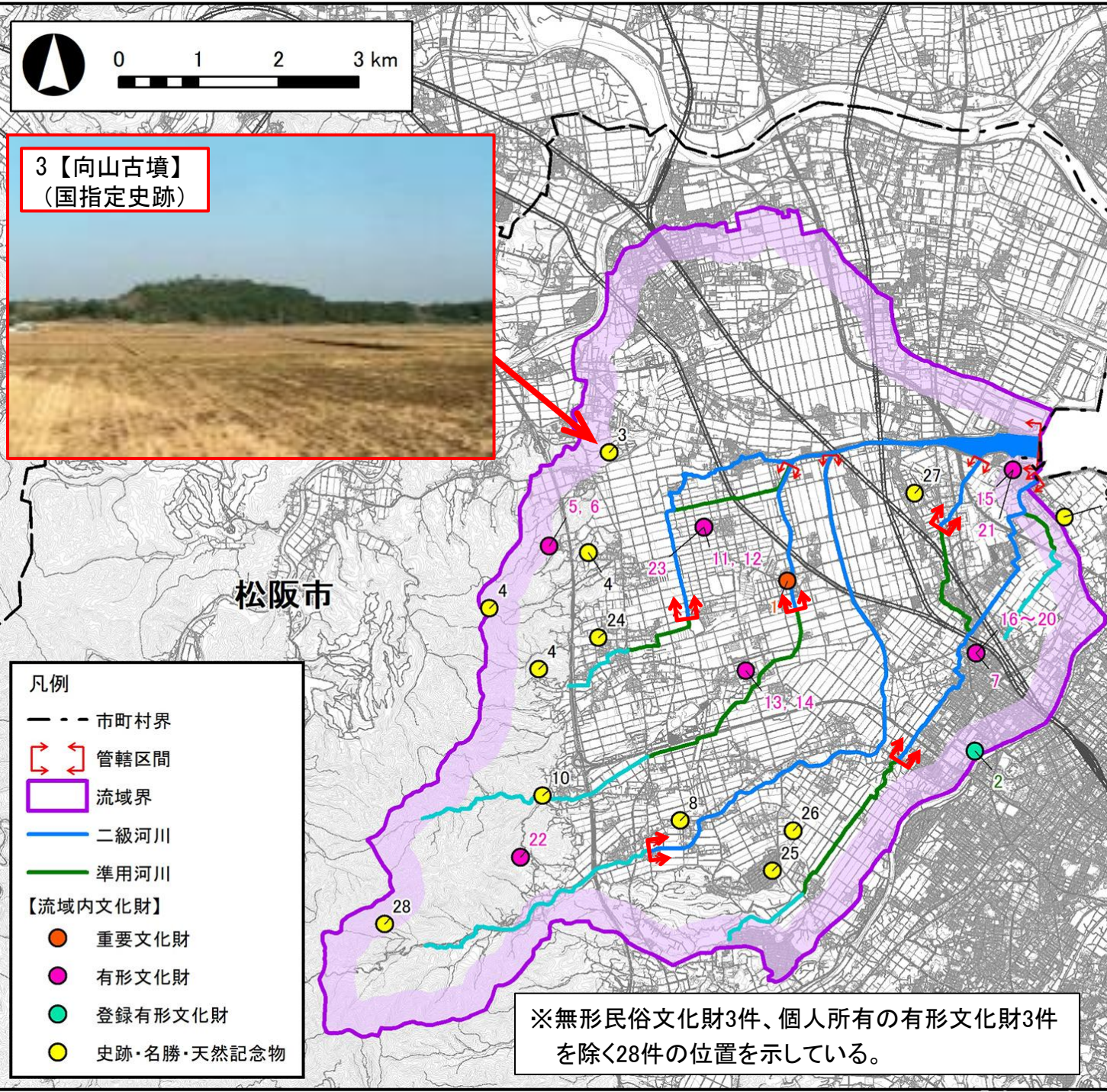
土地利用図

出典：国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ

# 流域及び河川の概要（歴史・文化財）



- 流域内における文化財等(国、県、松阪市)として、計34件が挙げられる。
- 向山古墳(むかいやまこふん)は、三渡川上流域の標高50mの丘陵端部頂に位置する前方後方墳で、1975年に国の指定・登録を受けた史跡である。



図面No.	文化財等名称	指定区分	カテゴリー	備考
1	木造阿弥陀如来坐像	国	重要文化財	永善寺
2	松阪市文化財センター (旧カネボウ綿糸松阪工場綿糸倉庫)	国	登録有形文化財	
3	向山古墳	国	史跡	
4	阿坂城跡 附 高城跡 枳城跡	国	史跡	
5	浄眼寺文書 附 村上源氏北畠系図、神明三物記各1巻	県	有形文化財	浄眼寺
6	無外逸方(北畠政勝)寿像	県	有形文化財	浄眼寺
7	木造薬師如来坐像	県	有形文化財	薬師寺
-	短刀 無銘 伝保昌貞宗	県	有形文化財	個人
-	鐺	県	有形文化財	個人
8	伊勢寺跡	県	史跡	
9	松ヶ島城跡	県	史跡	
10	瑞巖寺庭園	県	名勝	瑞巖寺
-	かんこ踊	県	無形民俗文化財	小阿坂町、松崎浦町、松ヶ島町
11	木造毘沙門天立像	市	有形文化財	最勝寺
12	木造薬師如来立像	市	有形文化財	最勝寺
13	銅造阿弥陀如来坐像	市	有形文化財	真楽寺
14	木造阿弥陀如来坐像	市	有形文化財	真楽寺
15	古田大膳書状	市	有形文化財	松ヶ崎神社
16	銅造阿弥陀如来坐像	市	有形文化財	薬師寺
17	薬師寺本堂並びに仁王門	市	有形文化財	薬師寺
18	木造持国天立像	市	有形文化財	薬師寺
19	銅造釈迦如来坐像	市	有形文化財	薬師寺
20	木造地藏菩薩立像	市	有形文化財	薬師寺
21	馬場勝兵衛書状	市	有形文化財	松ヶ崎神社
22	銅鐘 天命圖書安次作	市	有形文化財	横瀧寺
-	制札	市	有形文化財	個人
23	木造聖観音菩薩立像	市	有形文化財	最勝寺
24	阿射加神社社叢	市	有形文化財	阿射加神社
25	八重田11号墳	市	史跡	
26	八重田10号墳(大塚古墳)	市	史跡	
27	忘井	市	史跡	
28	阪内不動堂境内	市	名勝	華厳寺
-	黒野獅子舞	市	無形民俗文化財	嬉野黒野町
-	津屋城でござん	市	無形民俗文化財	嬉野津屋城町

流域関連市町の文化財位置図

# 流域及び河川の概要（土地利用規制等）

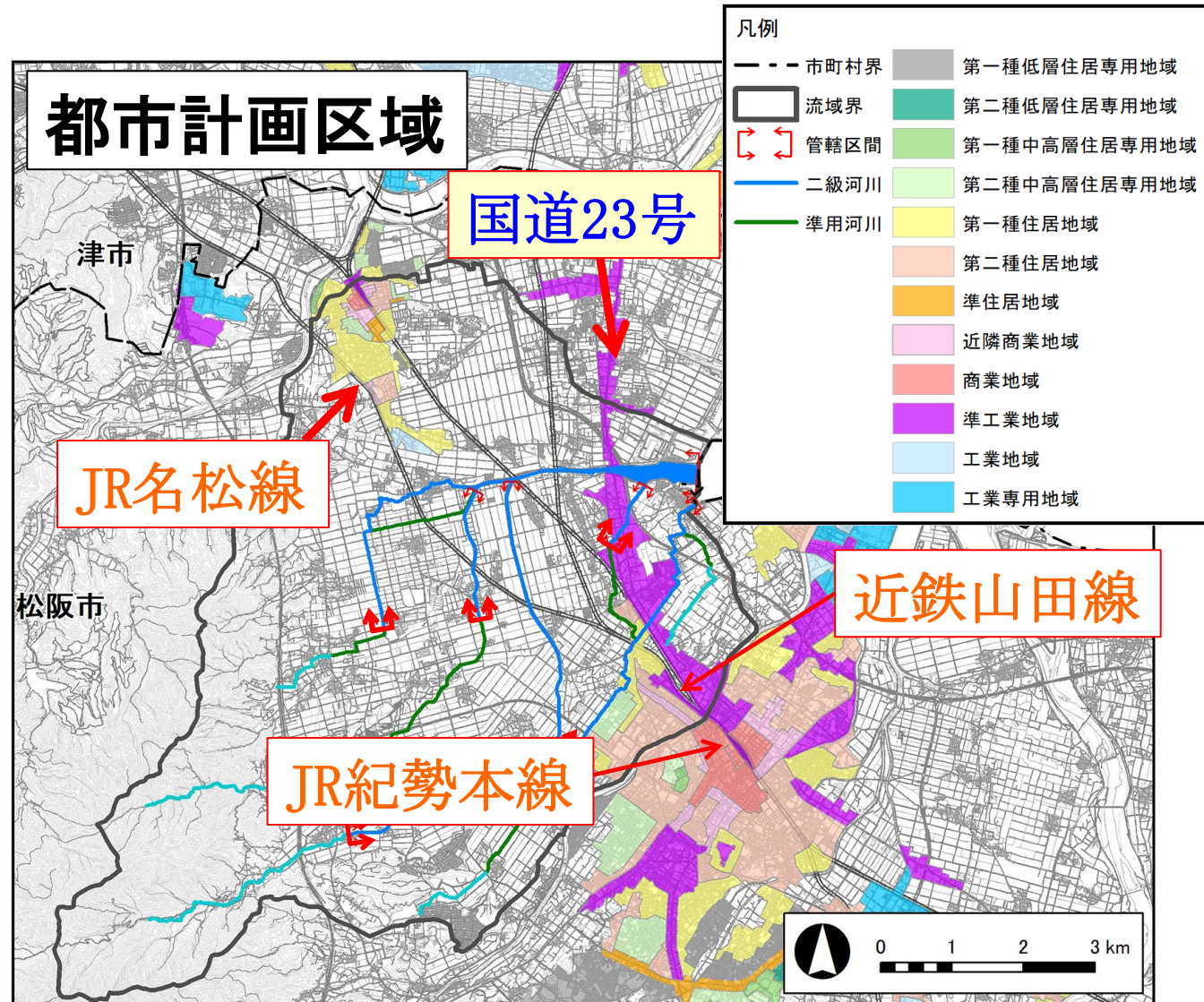


## ■都市計画区域

- 流域内では、用途地域の設定はわずかであり、**下流域の国道23号**沿線に**準工業地域**が南北に広がるように設定されている。
- JR・近鉄沿線**には、**第一種住宅地域**、**第二種住居地域**、**第一種中高層住居専用地域**、**第二種中高層住居専用地域**、**準住居地域**が密接するように設定されている。

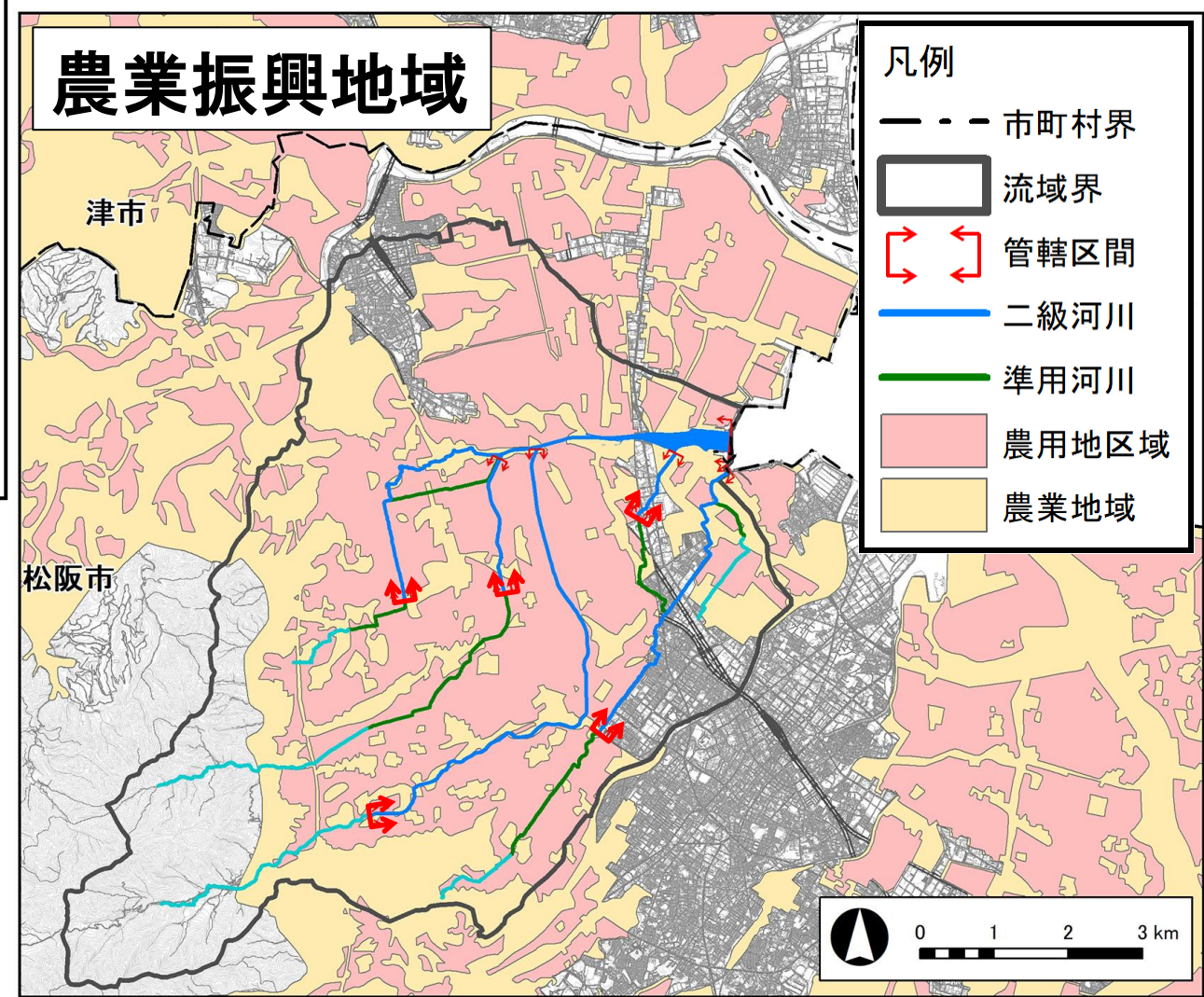
## ■農業振興地域

- 流域内では、**河口部**、**丘陵部**を除く**ほぼ全域**が**農業振興地域**として指定されている。



都市計画区域内の用途地域の指定状況

資料：国土数値情報 用途地域データ(R1)



農業振興地域の指定状況

資料：国土数値情報 農業地域データ(R1)

# 流域及び河川の概要（土地利用規制等）



## ■自然公園

- 流域西部の山地部の一部は、「自然公園地域(赤目一志峡県立自然公園)」に指定されている。

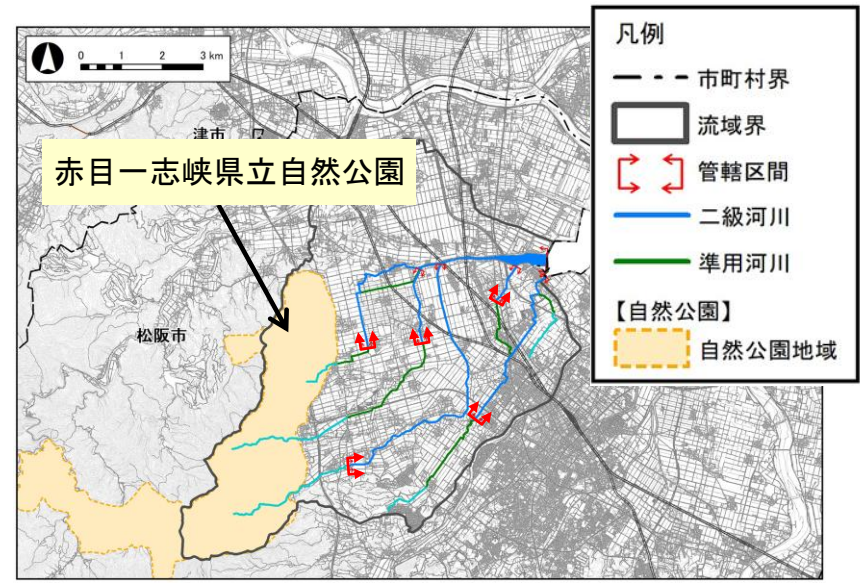
## ■鳥獣保護区・保安林

- 中流域の低地の一部は「鳥獣保護区」、流域西部の山地部の一部は、「鳥獣保護区」、「保安林」に指定されている。

## ■土砂災害警戒区域等

- 流域西部の丘陵地において、土砂災害警戒区域が存在しており、山地部においては、土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域に指定されている。

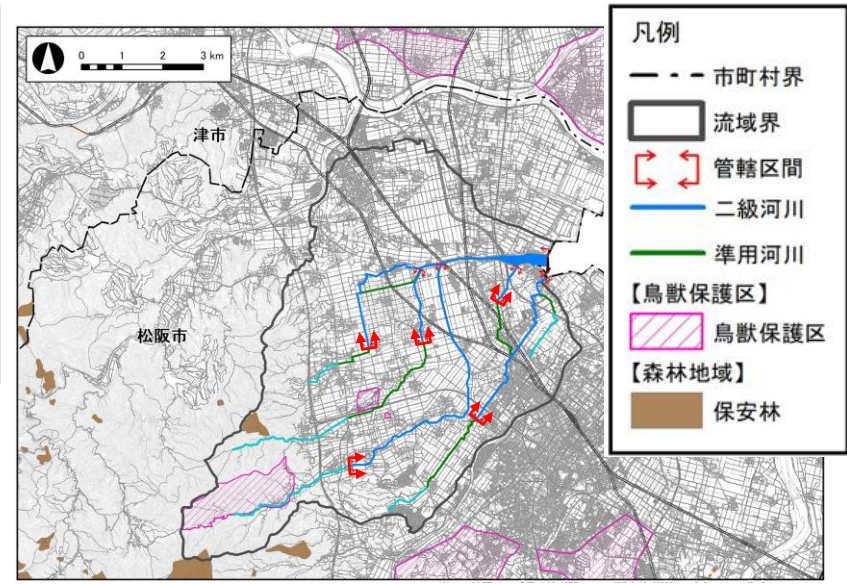
### 自然公園(自然公園法)



自然公園(自然公園法)の指定状況

出典:国土数値情報  
自然公園地域データ、自然保全地域データ(H27)

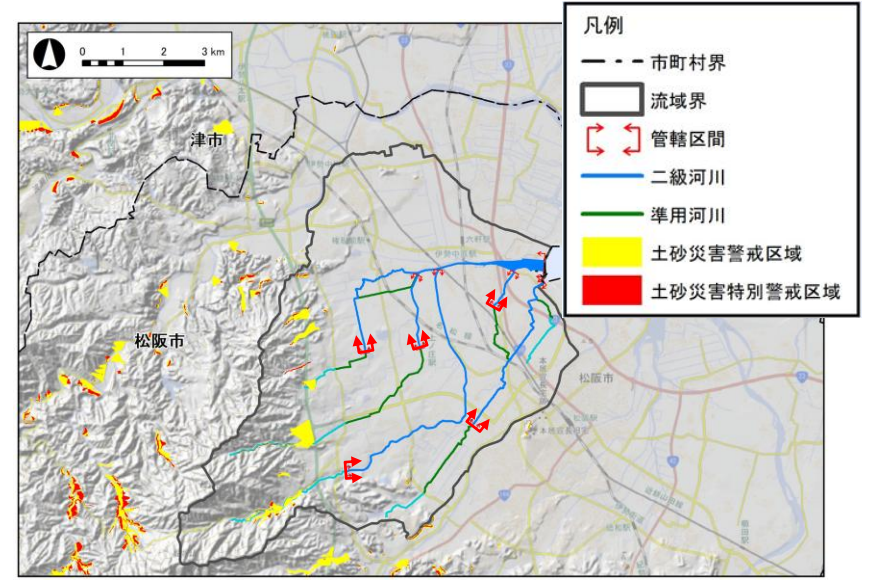
### 鳥獣保護区、保安林



環境関連法指定状況

出典:国土数値情報 鳥獣保護区データ(H27)

### 土砂災害警戒区域等



環境関連法指定状況

出典:国土数値情報 土砂災害警戒区域(R5)

# 目次

1. これまでの経緯 [一部更新]
2. 前回流域委員会での意見・回答 [新規]
3. 第2回住民アンケート調査結果 [新規]
- 4. 河川整備計画(原案)の概要 [新規]**
  - 4.1 流域及び河川の概要 [変更なし]
  - 4.2 現状と課題(治水・利水・環境) [変更なし]**
  - 4.3 河川整備計画の目標に関する事項 [新規]
  - 4.4 河川整備計画の実施に関する事項 [新規]
5. 今後の進め方 [一部更新]



# ■治水の現状と課題（既往洪水の被害状況）



- 近年の洪水被害としては、平成16年9月台風21号の襲来により、百々川の越水による道路の冠水や、内水氾濫による集落の孤立化などが生じている。
- その後も平成26年8月、平成29年10月にも内水氾濫による床上浸水が生じている。
- 令和に入って以降では、令和6年8月台風10号で、冠水被害が発生している。

## 流域における洪水被害等

発生年月	原因	被害場所	被害状況
明治3年9月	大雨暴風雨 大津波	鶴村（現三雲地区笠松付近）	・全破堤、全村壊滅
昭和27年	台風13号	三渡川河口部（松ヶ島地区）	・堤防決壊7ヶ所、床上浸水453戸、床下浸水107戸
昭和34年8月	台風7号	八重田地先	・堀坂川の右岸66m、左岸100mの破堤 ・堀坂川の右岸24mの半壊
昭和34年9月	台風15号 （伊勢湾台風）	松ヶ島地区（海岸部）	・堀坂川右岸など市内河川22ヶ所で被害
昭和51年9月	台風17号及び豪雨	三渡川ほか	・床下浸水433戸、床上浸水20戸
昭和57年7月～8月	豪雨、落雷、風浪 台風10号		・三渡川流域内での水害区域面積850ha ・床下浸水481戸、床上浸水142戸
平成5年11月	豪雨及び風浪	百々川	・床下浸水20戸
平成6年9月	台風26号	甚太川 内水	・道路冠水
平成7年5月	豪雨	百々川 内水	・床下浸水1戸
平成10年5月	その他の異常気象	百々川 内水	・床下浸水2戸
平成10年9月	豪雨及び台風5号	百々川 内水	・床下浸水7戸
平成11年4月	豪雨	百々川 内水	・床下浸水1戸
平成12年9月	豪雨及び台風14号	百々川ほか 内水	・床下浸水56戸、床上浸水5戸
平成13年8月	豪雨及び台風11号	三渡川ほか 内水	・道路冠水
平成13年9月	豪雨及び台風15号	岩内川 内水	・道路冠水
平成16年9月	豪雨	内水	・床下浸水4戸
平成16年9月	台風21号	松ヶ崎地区、津屋城地区、溢水・内水	・床下浸水136戸、床上浸水31戸
平成26年8月	台風10号、11号	三渡川 内水	・床上浸水25戸、床下浸水22戸
平成28年9月	台風18号	長泉寺地区、松ヶ島地区他 内水	・道路冠水
平成29年10月	台風21号	三渡川、百々川内水	・床上浸水36戸、床上浸水24戸
令和6年8月	台風10号	百々川 内水・外水	・道路冠水

【平成16年台風21号 内水被害】  
（三渡川：津屋城地内）



【令和6年台風10号 内水・外水被害】  
（百々川：松ヶ島町地内・市道長泉寺線）

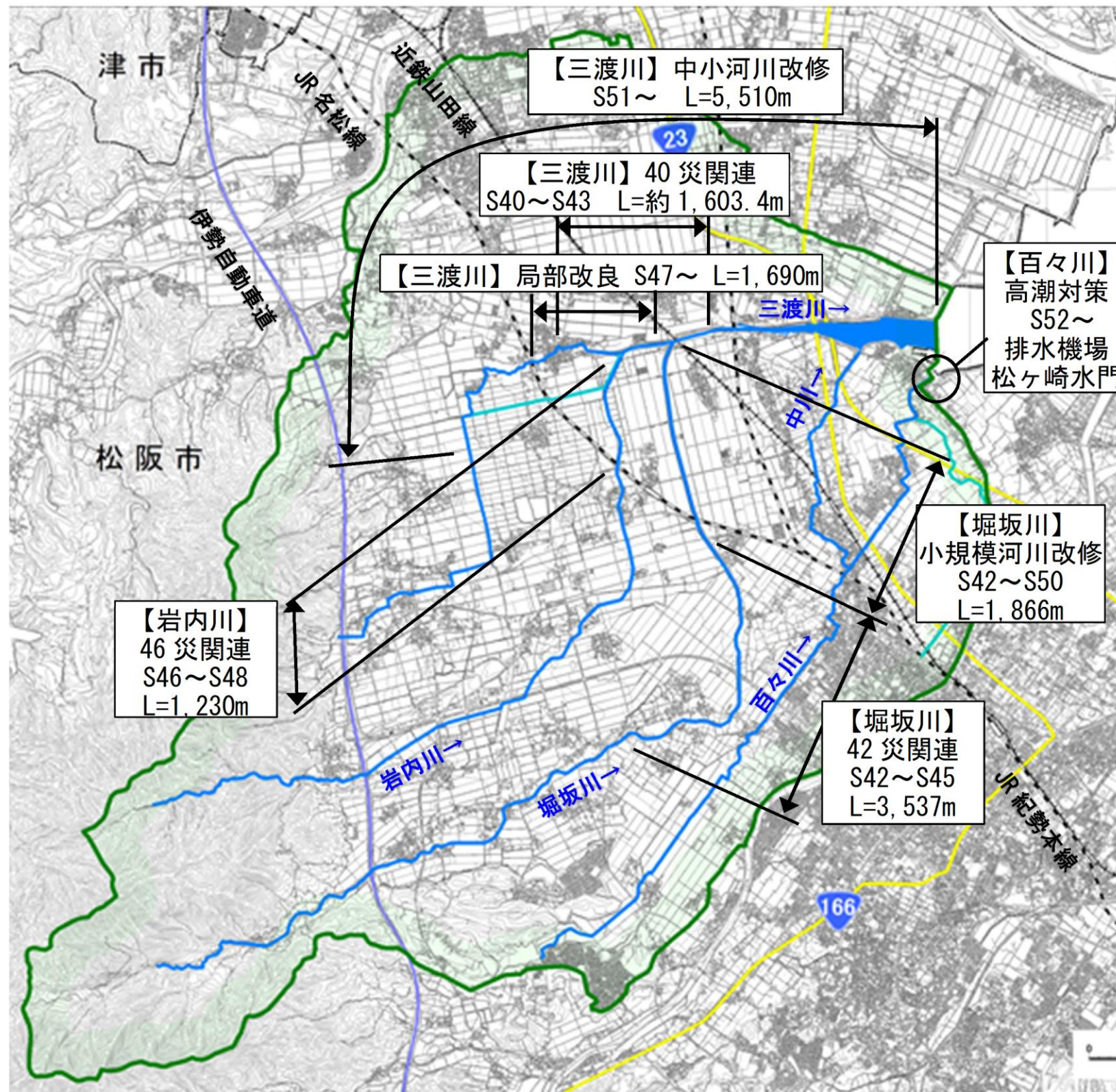


出典：「水害統計」他

# ■治水の現状と課題（河川改修の経緯）



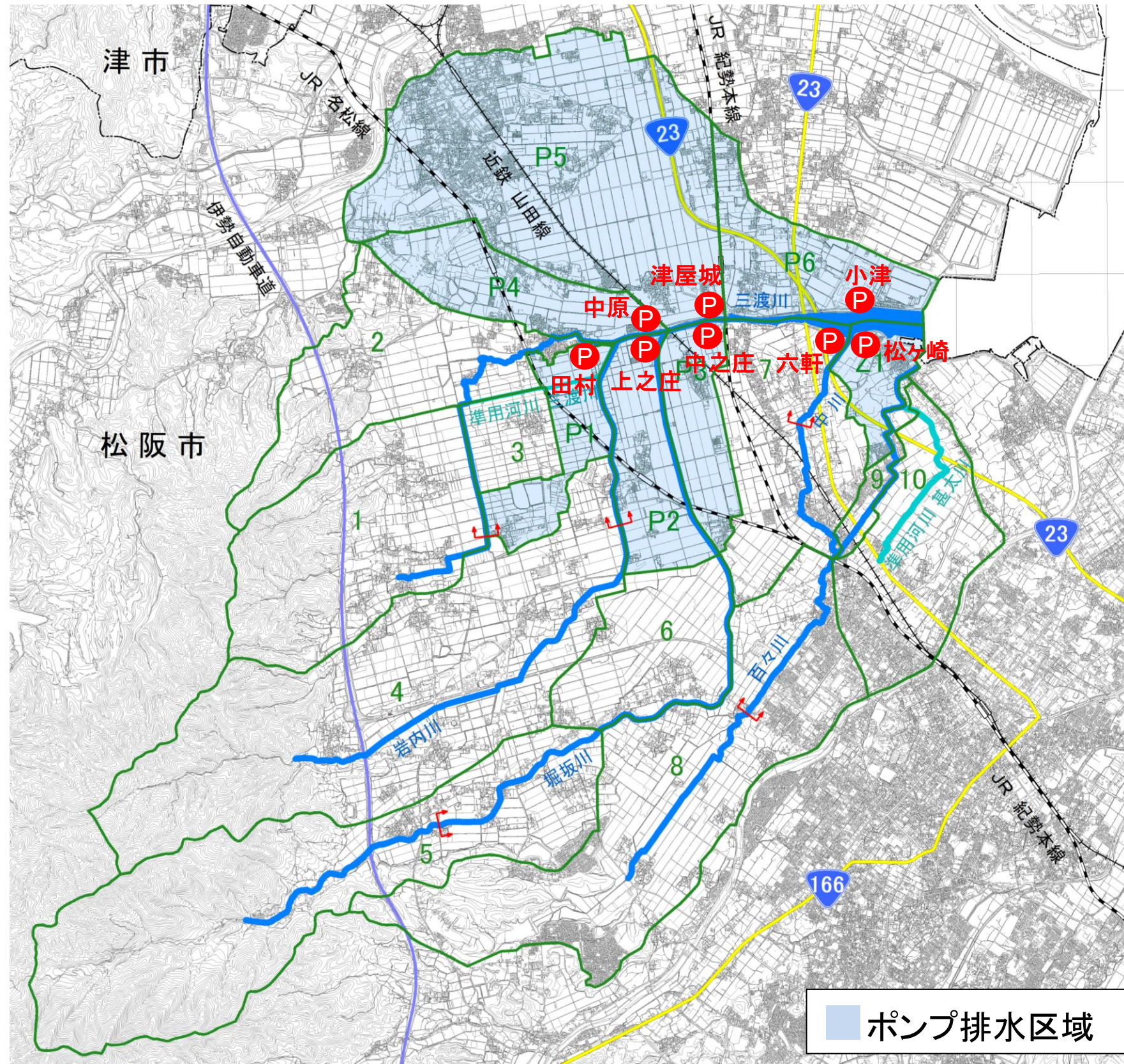
- **三渡川**は、昭和40年から災害関連事業、昭和47年・昭和51年よりそれぞれ改修事業として着手し、現在も継続中である。
- **百々川**は、昭和52年より高潮対策として排水機場及び松ヶ崎水門が整備された。昭和63年より河川改修として着手し、現在も継続中である。
- **堀坂川・岩内川・中川**では災害関連事業等により河川改修されている。
- 近年では、平成26年8月台風10号、11号による浸水被害を契機に「**松阪地区浸水対策検討会**」が発足。県・市の連携を強化。



# ■治水の現状と課題（内水処理事業の沿革）



- **三渡川**周辺は低平地のため内水区域となっており、排水機場が整備されている。
- 昭和40年代は、湛水防除事業として排水機場の整備がなされた（田村、上之庄、中之庄、中原、津屋城、小津、六軒、松ヶ崎）。
- その後昭和50年代より、さらにポンプ能力が増強されている（田村、上之庄、中之庄、津屋城）。



# 治水の現状と課題（ソフト対策の状況）



- 三渡川水系の洪水に対する避難については、三渡川嬉野田村観測所の水位により判断を行っている。
- 洪水時の河川状況を把握するため、三渡川田村橋上流や百々川長泉寺橋等に河川監視カメラを設置し、専用サイトで配信している。
- 松阪市では三渡川水系の洪水ハザードマップを発行し、浸水が予想される区域や避難場所、避難経路などの住民の避難に資する情報を提供している。

## カメラによる画像の配信

**観測所情報**

みわたりがわ(たむらばしじょうりゅう50m) みわたりがわすいけい  
 三渡川(田村橋上流50m) 三渡川水系  
 みわたりがわ  
 三渡川

**観測詳細**

現在 平常時



**観測所情報**

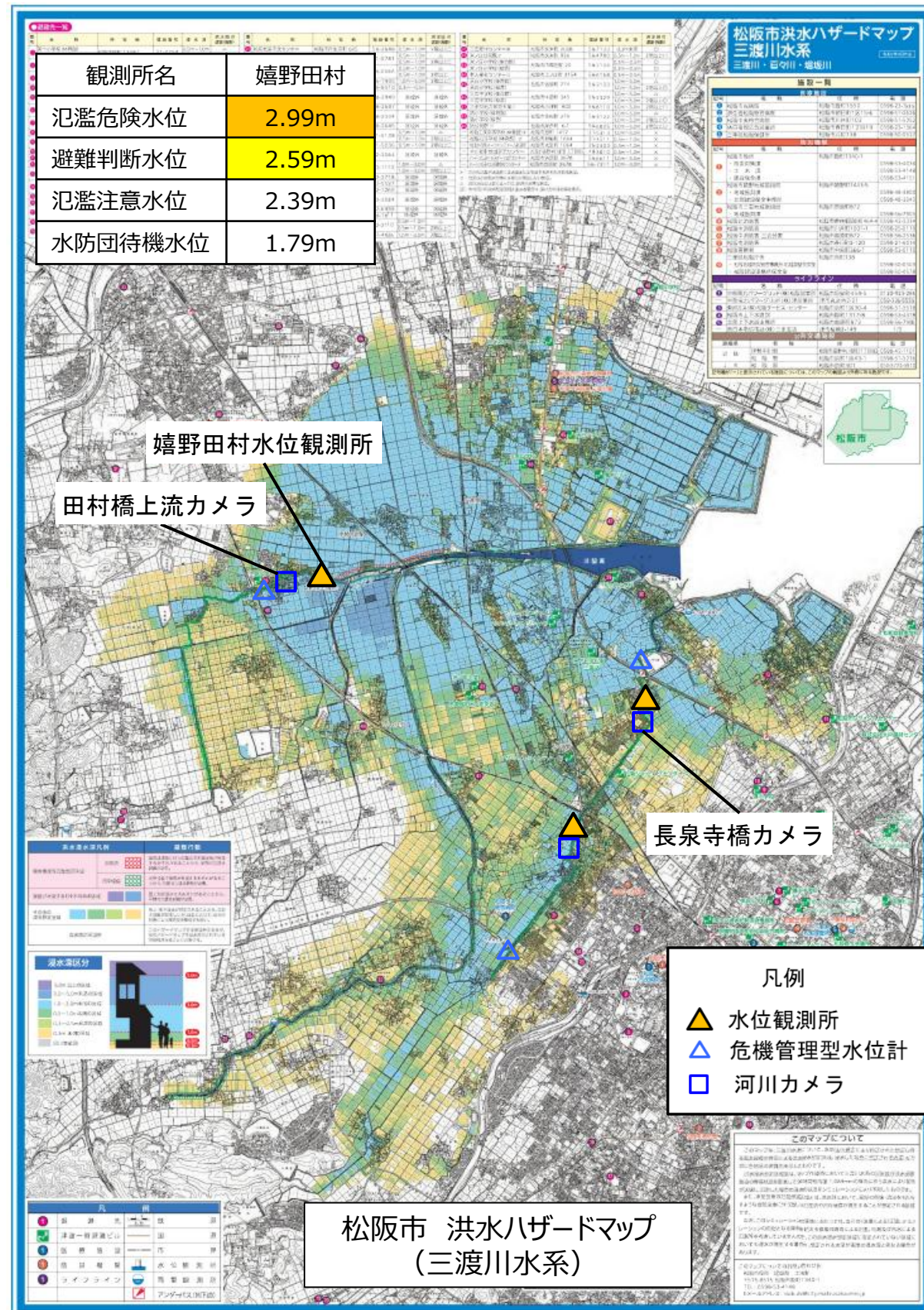
どどがわ(ちようせんじばしかりゅうがわ) みわたりがわすいけい どどがわ  
 百々川(長泉寺橋下流側) 三渡川水系 百々川

**観測詳細** 2025/05/08 15:10

現在 平常時



出典: 川の防災情報



出典: 松阪市洪水ハザードマップ(R2年発行)を加工

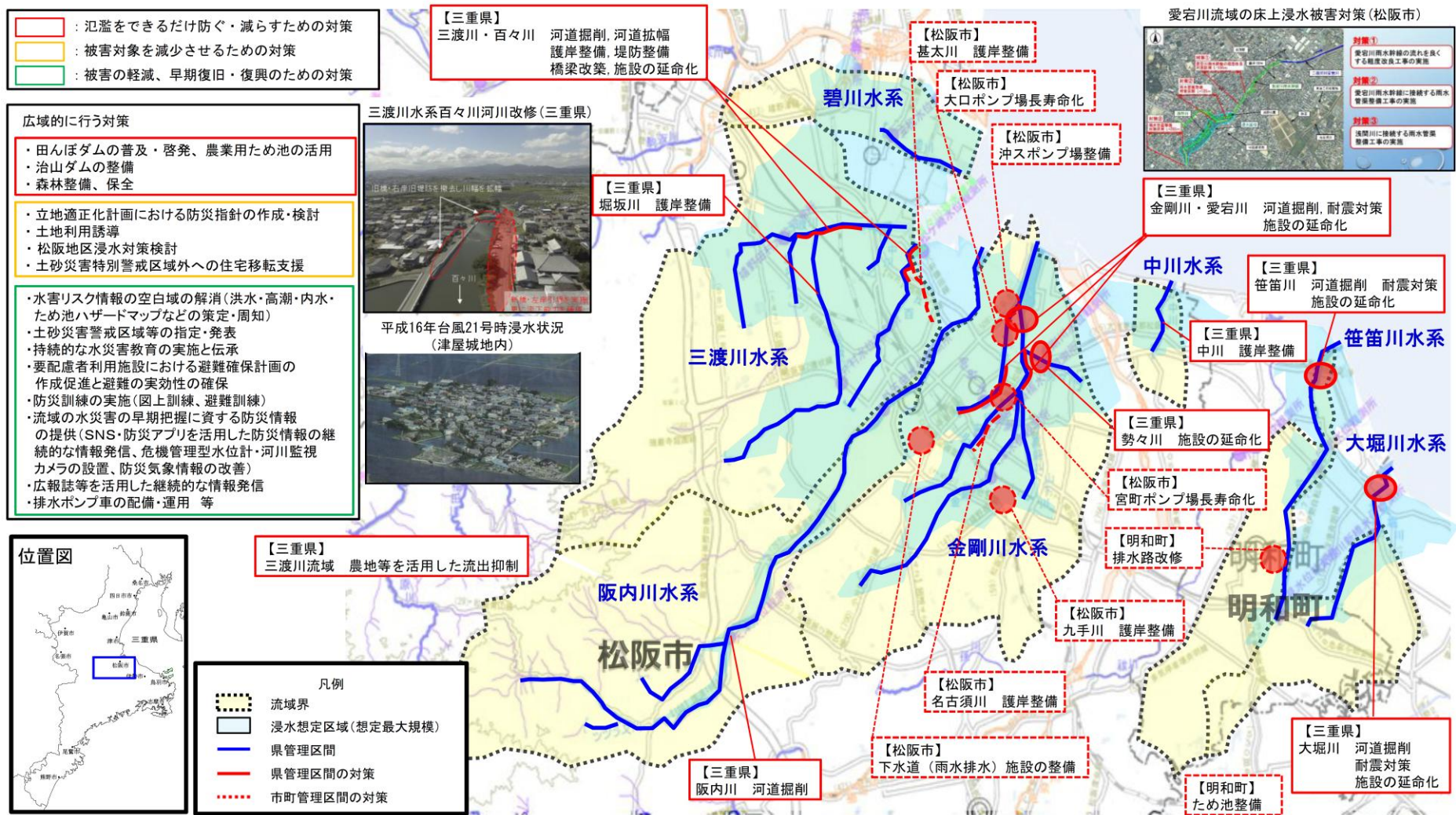
# 治水の現状と課題（流域治水）



□松阪圏域では、近年の全国的な激甚水害の頻発等を踏まえ、流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う流域治水を進めるため、**松阪圏域二級水系流域治水プロジェクト**を策定している。このプロジェクトに基づき、河川改修、田んぼダム、農業用ため池の活用等の氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策や、ハザードマップ作成や河川監視カメラの設置等の被害の軽減、早期復旧・復興のための対策等を進めている。

## 松阪圏域二級水系流域治水プロジェクト【位置図】 ～由緒ある歴史を持つ地域を守る外水・内水対策が一体となった流域治水の推進～

- 松阪圏域では、昭和34年の伊勢湾台風、平成12年の東海豪雨、平成16年の台風21号等において、外水氾濫および内水氾濫により、大きな被害が発生している。全国的に激甚な水害が近年頻発している状況や、今後見込まれる気候変動による降雨量の増大等を踏まえ、当圏域において事前防災対策を進める必要がある。
- 当圏域においては由緒ある名所旧跡が数多く見られ、土地利用としては、中流部から下流部にかけては市街地が広がり、上流部では農地が多く、山地の割合は少ない。
- 当圏域の地形として、扇状地性低地や三角州性低地といった低地が広く形成されていることから自然排水が困難となる区域が存在し、内水被害が過去に多く発生している。
- 当圏域における二級水系流域治水プロジェクトでは、河川改修による外水の氾濫対策と下水道整備による内水の氾濫対策が一体となったハード対策を中心に行うとともに、圏域全体において、ハザードマップの作成や防災訓練による被害軽減対策等を実施することで、浸水被害の低減を図る。



出典：松阪圏域  
二級水系流域治水プロジェクト  
令和7年6月 三重県（抜粋）37

# ■治水の現状と課題（高潮・津波対策の状況）



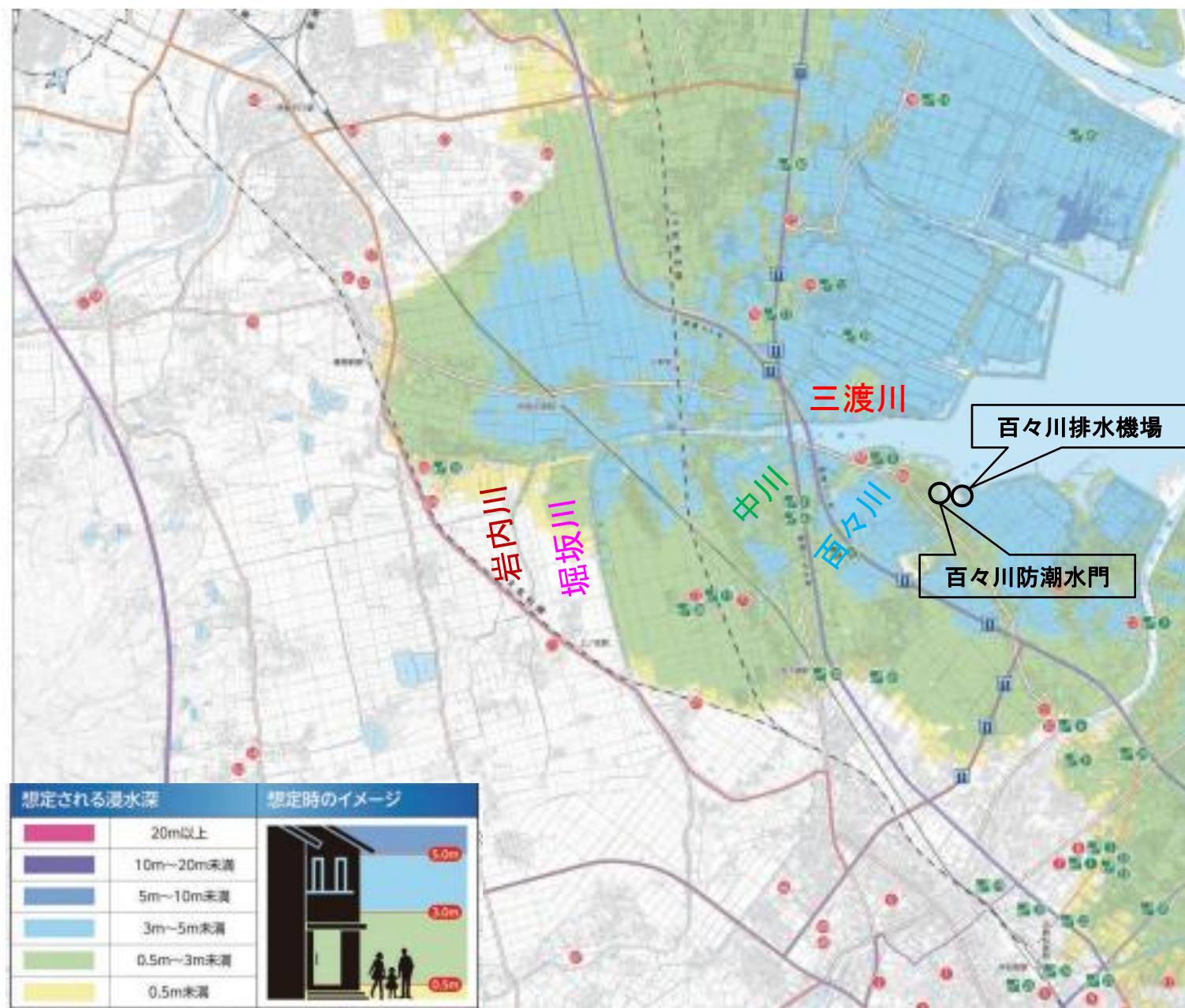
- 百々川排水機場昭和52年からの高潮対策で改修されたが耐震性能が不足している。
- 百々川防潮水門が平成25年に改築・耐震化された。
- 高潮・津波のソフト対策として、松阪市では高潮・津波ハザードマップを発行し、浸水が予想される区域や避難場所、避難経路等の住民避難に資する情報を提供している。



百々川 防潮水門



百々川 排水機場

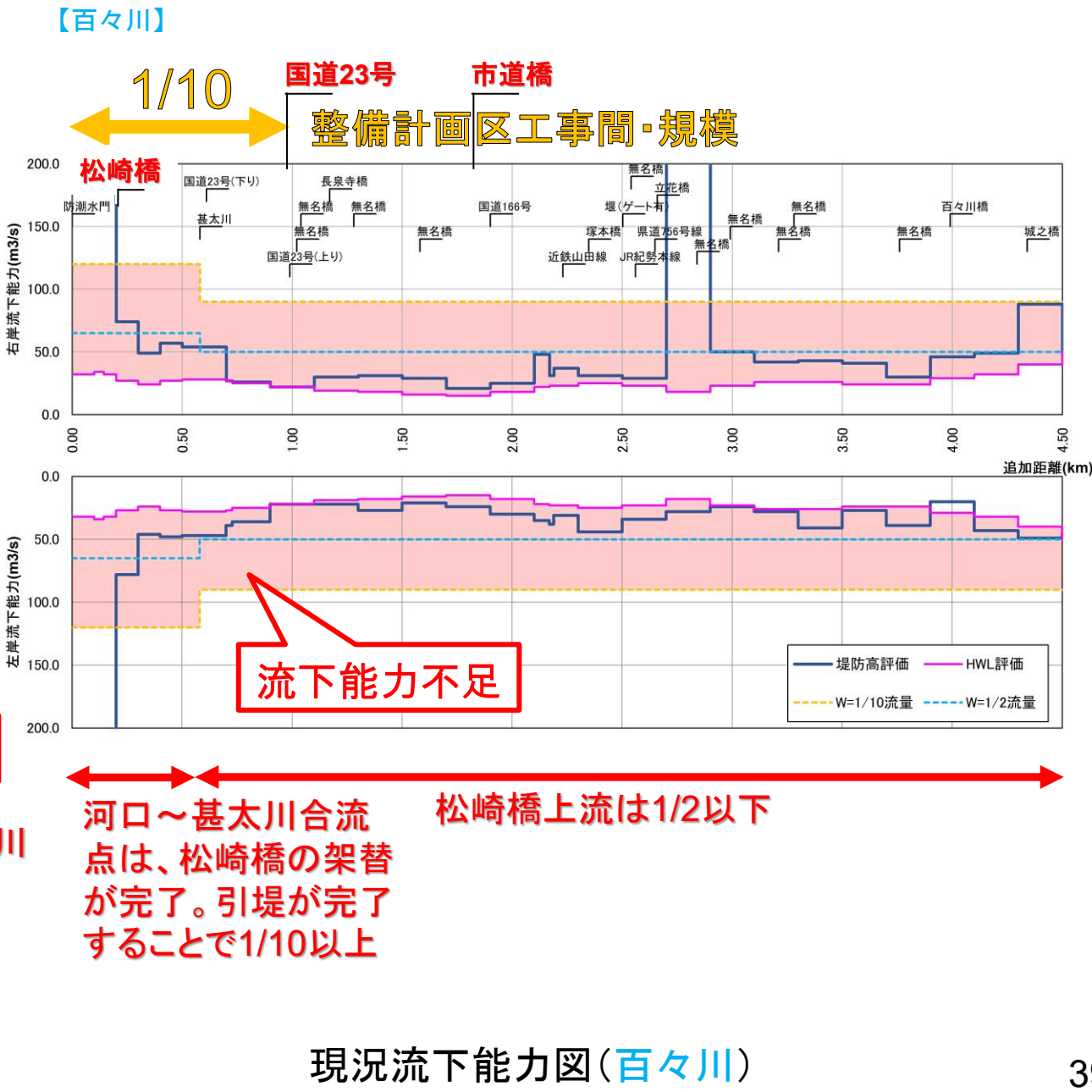
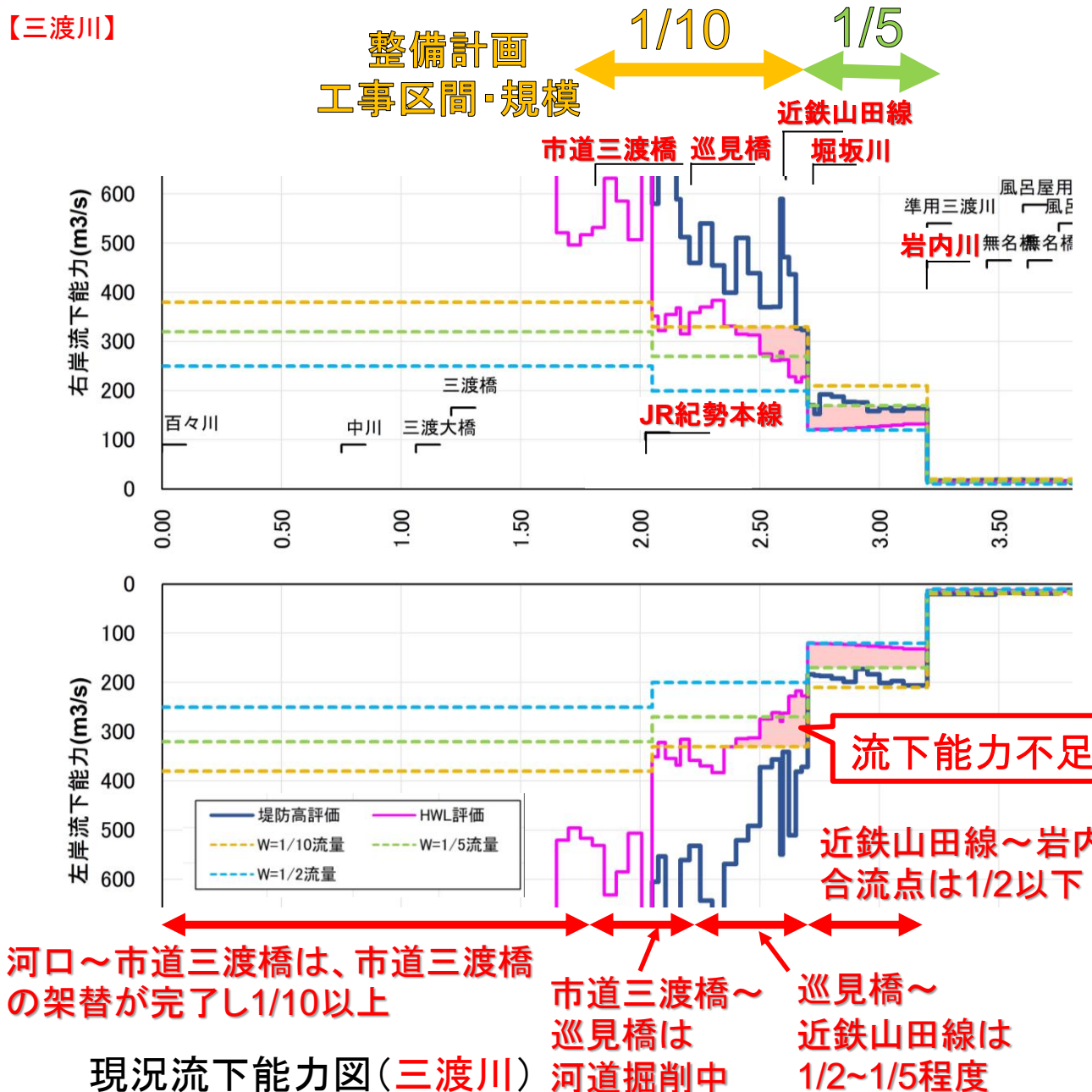


松阪市高潮ハザードマップ(2023.9版)

# 治水の現状と課題（現況流下能力（1/2））



- **三渡川**は、河口～市道三渡橋(1.8k)で市道三渡橋架替が完了、整備計画規模1/10以上を有する。巡見橋付近(2.2k)～近鉄山田線(2.6k)は未改修で、1/2～1/5程度。近鉄山田線(2.6k)より上流は未改修で、概ね1/2程度。
- **百々川**は、河口～甚太川合流点付近(0.6k)で河川改修を進めており、引堤完了後1/10以上を確保する。
- **松崎橋**(0.2k)より上流は未改修で、1/2以下と計画高水流量に対する流下能力が不足。

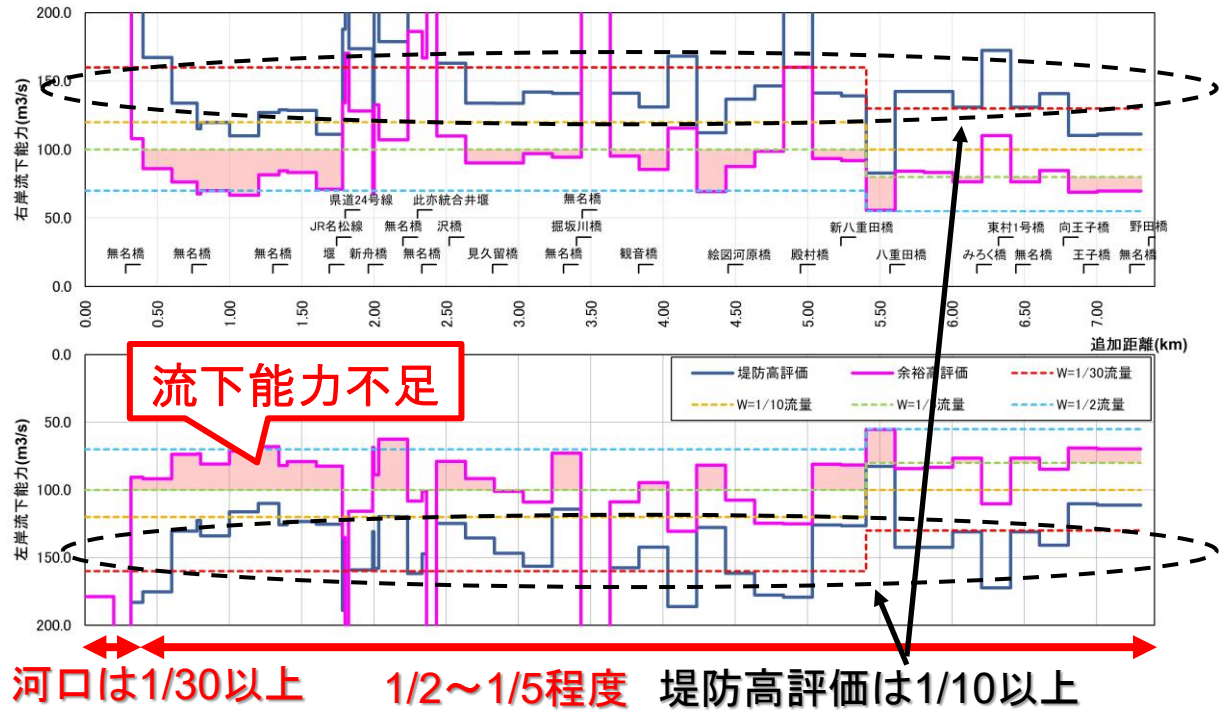


# 治水の現状と課題（現況流下能力（2/2））

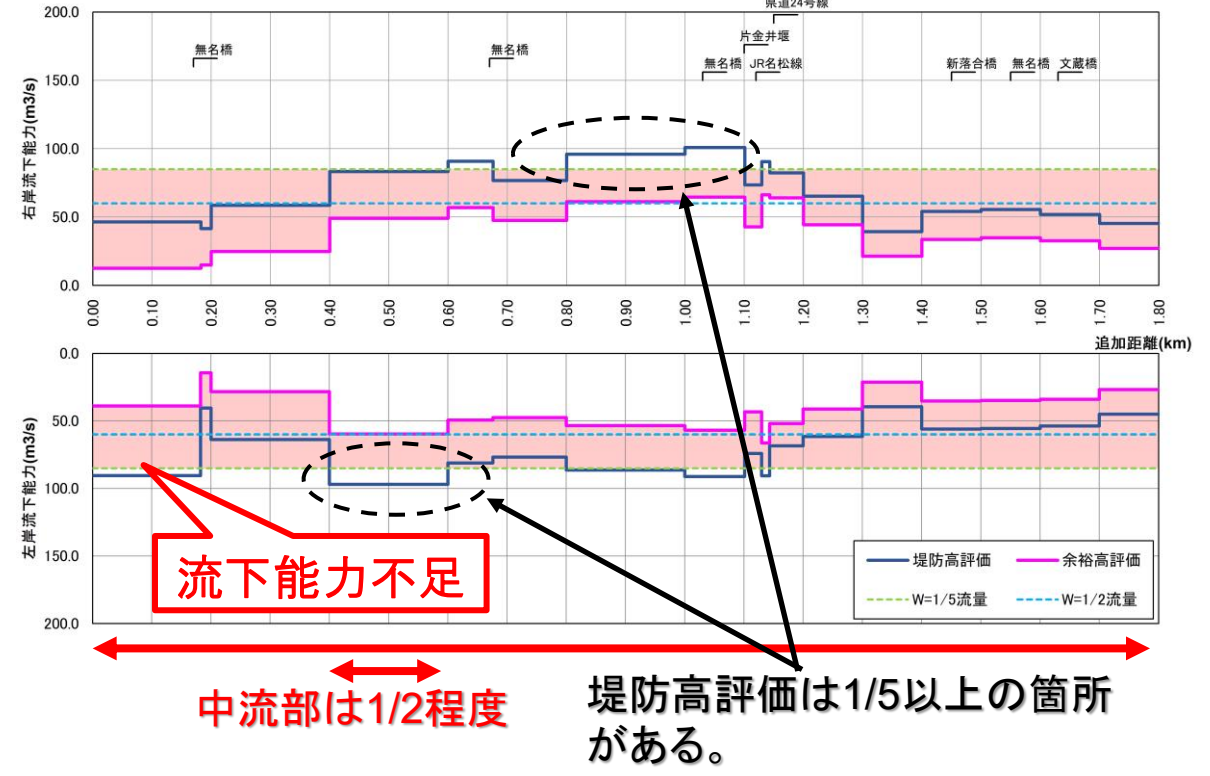


- 堀坂川は、河口は1/30であるが、それより上流は1/2～1/5程度（堤防高評価なら1/10以上）
- 岩内川は、中流部は1/2程度、堤防高評価は1/5以上の箇所がある。
- 中川は、河口～0.2kは1/30であるが、それより上流は1/2以下の流下能力である。

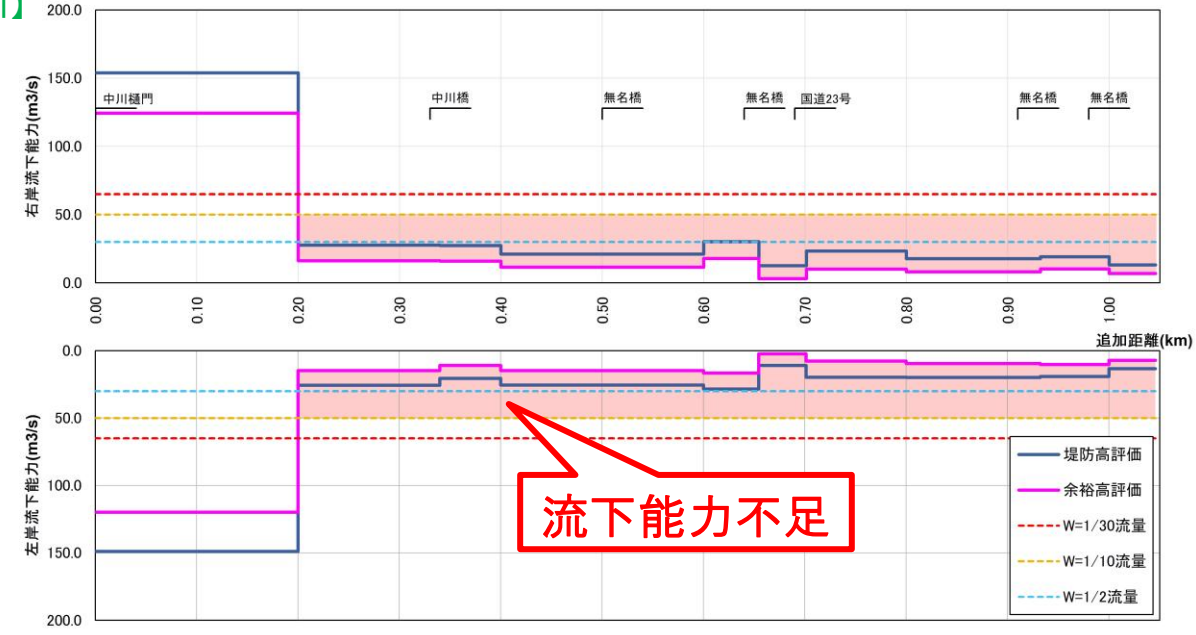
【堀坂川】



【岩内川】



【中川】



河口から0.2kmは1/30以上  
それより上流は1/2以下



## 【三渡川】

項目	内容
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 河口～市道三渡橋（0k～1.8k）において河川改修が完了しており、現行の河川整備計画の計画高水流量（1/10確率）以上の流下能力を有している。</li> <li>➤ <u>巡見橋付近より上流（2.6k～）は、計画高水流量に対する流下能力が不足している。</u></li> <li>➤ 近年、浸水被害が発生している。</li> <li>➤ アンケート結果では、回答者の約70%が洪水に対して不安を感じており、その理由として、「川幅が狭く堤防が低いこと」が約40%を占めていた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <u>流下能力不足区間の早期解消</u></li> <li>➤ 気候変動を踏まえた治水計画の見直し</li> </ul>

## 【百々川】

項目	内容
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 河口～松崎橋（-0.07k～0.2k）において松崎橋架替が完了し、引堤後、整備計画規模（1/10確率）以上の流下能力を有する見込み。<u>多くの区間は未改修の状況であり、計画高水流量に対する流下能力が不足している。</u></li> <li>➤ <u>近年、浸水被害が頻発している。</u></li> <li>➤ 流下能力向上と併せて高潮ポンプの増設の必要がある。</li> <li>➤ 百々川排水機場は耐震性能不足である。</li> <li>➤ アンケート結果では、回答者の約80%が洪水に対して不安を感じており、その理由として、「川幅が狭く堤防が低いこと」が約50%を占めていた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <u>流下能力不足区間の早期解消</u></li> <li>➤ <u>整備計画対象区間の見直し検討</u></li> <li>➤ 気候変動を踏まえた治水計画の見直し</li> <li>➤ 百々川排水機場の排水能力に関する検討</li> <li>➤ 百々川排水機場の耐震対策の推進</li> </ul>



## 【堀坂川・岩内川・中川】

項目	内容
現状	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 堀坂川及び中川は河口部（堀坂川0～0.3k、中川0～0.2k）において現行の河川整備計画の計画高水流量以上の流下能力を有している。その他の多くの区間は未改修の状況であり、計画高水流量に対する流下能力が連続して不足しているが、堀坂川における堤防高評価では（1/10）の流下能力を有している。</li><li>➤ 岩内川は全川において計画高水流量に対する流下能力が連続して不足しているが、堤防高評価では一定の流下能力（1/5）を有している。</li><li>➤ アンケート結果では、回答者の約80%が洪水に対して不安を感じており、その理由として、「川の中に堆積する土砂が多いこと」が約40%を占めていた。</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 一定の流下能力の維持</li><li>➤ 気候変動を踏まえた治水計画の見直し</li></ul>

# ■利水の現状と課題（水利権）



- **三渡川**水系では、許可水利権6件、慣行水利権13件あり、かんがい用水に利用されている。
- 昭和 47 年に完成した**一志南部用水土地改良事業**により、北側に位置する**雲出川水系中村川**に築造された**人造湖(なめり湖)**より**三渡川**流域に送水されており、農業用水の安定供給が図られている。

## 【三渡川水系の水利権状況】

### 許可水利権

No.	河川名	井堰名	使用目的	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	かんがい面積 (ha)
1	三渡川	3号頭首工	かんがい	0.127	56.3
2		2号頭首工	かんがい	0.061	21.8
3		1号頭首工	かんがい	0.157	45.3
4		大坪井用水	かんがい	不明	18.0
5	堀坂川	此亦 <small>しまた</small> 統合井堰	かんがい	0.114	53.5
6	岩内川	片金井堰	かんがい	0.082	30.0

### 慣行水利権

No.	河川名	井堰名	使用目的	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	かんがい面積 (ha)
1	三渡川	風呂屋用水	かんがい	不明	8.0
2		東井用水	かんがい	不明	8.0
3	堀坂川	角田取水口	かんがい	不明	4.0
4		笠屋田取水口	かんがい	不明	4.0
5		上部田取水口	かんがい	不明	10.0
6		砂川原取水口	かんがい	不明	3.0
7		堀の内取水口	かんがい	不明	2.0
8		三反田取水口	かんがい	不明	8.0
9		中ノ庄用水（上大作取水口）	かんがい	不明	5.0
10		中ノ庄用水（下大作取水口）	かんがい	不明	4.0
11		中ノ庄用水（荒田取水口）	かんがい	不明	8.0
12		中ノ庄用水（四ツ橋取水口）	かんがい	不明	3.0
13		中ノ庄用水（平川取水口）	かんがい	不明	8.0



大坪井用水（三渡川4.5k付近）

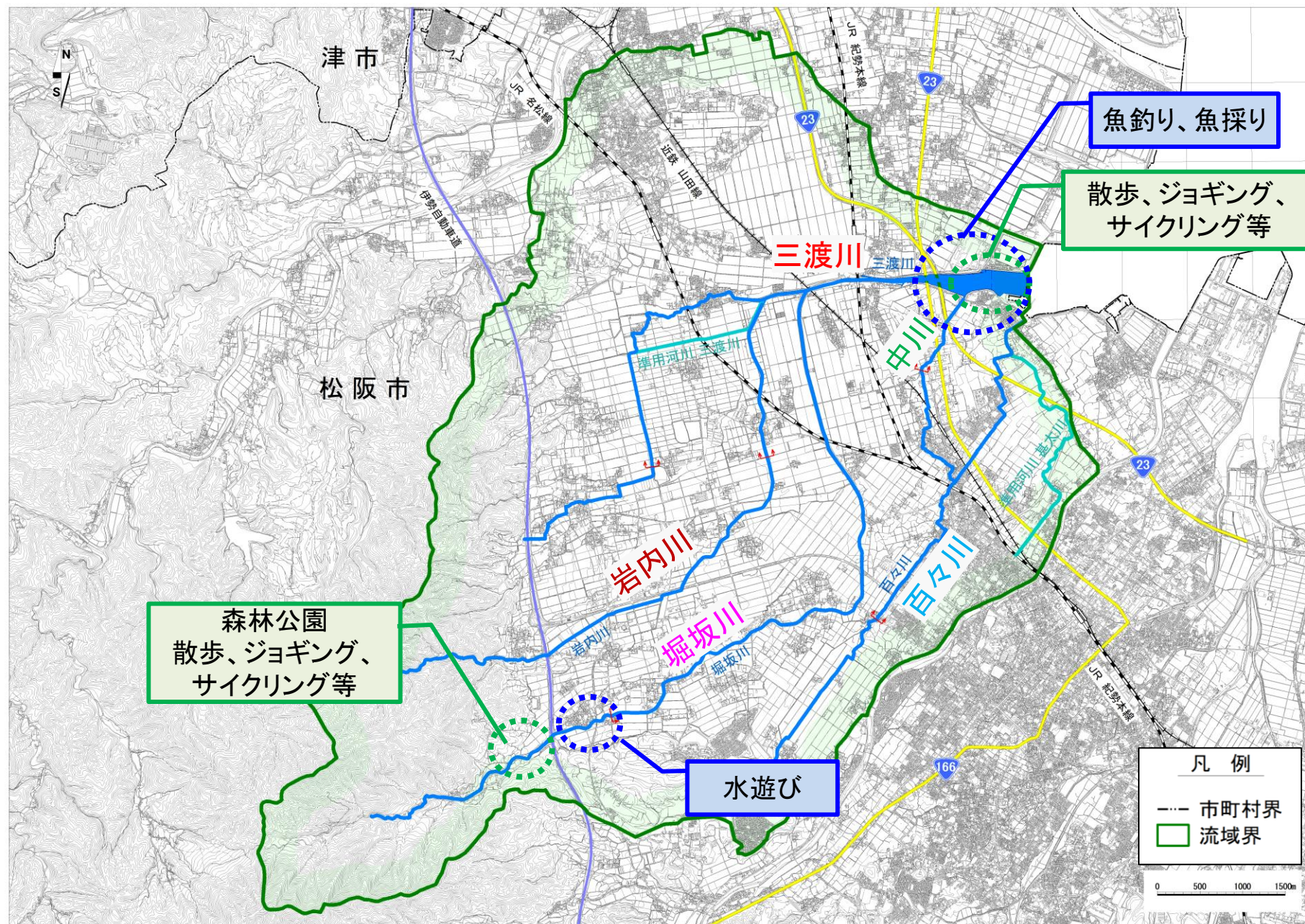


此亦（しまた）統合堰（堀坂川2.3k付近）

# ■利水の現状と課題（空間利用）



- **三渡川**の河口域及び**堀坂川**上流の森林公園付近は散歩、ジョギング、サイクリング等に利用されている。
- **三渡川**の河口域及び**三渡大橋**付近、**中川**の**国道23号**付近では魚釣り、魚採りに利用されているとともに、**堀坂川**の**伊勢自動車道**下流付近での「水遊び」などに河川が利用されている。



**三渡川下流部の様子**  
(市道三渡橋より下流写す)



**森林公園からの眺望**  
(松阪市森林公園HPより)



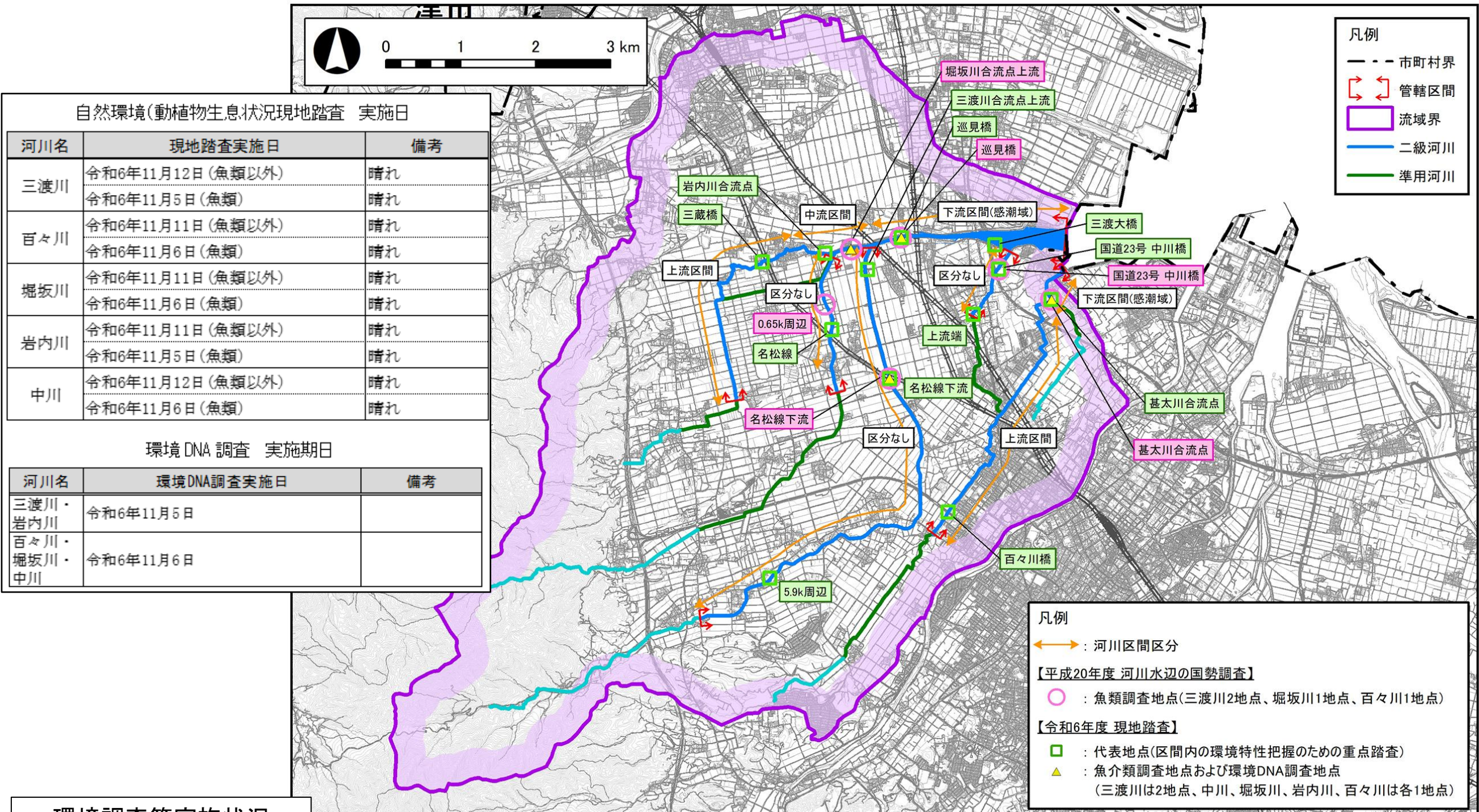
## 【利水】

項目	内容
現状	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ <b>三渡川</b>は、許可水利権4件、慣行水利権2件があり、約157haの耕地のかんがい用水として利用されている。</li><li>➤ <b>堀坂川</b>は許可水利権1件、慣行水利権11件があり、約113haの耕地のかんがい用水として利用されている。</li><li>➤ <b>岩内川</b>は許可水利権1件があり、約30haの耕地のかんがい用水として利用されている。</li><li>➤ アンケート結果では、回答者の約40%が散歩やジョギングの目的で河川空間を利用しており、約30%が通勤・通学のルートとして利用されていることが示された。</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 利水の効率化を促進し、既得水利の取水が安定的になされ、かつ良好な水環境の維持・改善</li></ul>

# ■環境の現状と課題（環境調査の概要）



- 平成20年の河川水辺の国勢調査(魚類)では、**三渡川**2地点、**百々川**および**堀坂川**各1地点で調査を実施。
- 令和6年11月5～6日に**魚類調査・環境DNA調査**、11月11～12日に**魚類以外の調査**を実施。



自然環境(動植物生息状況現地踏査 実施日)

河川名	現地踏査実施日	備考
三渡川	令和6年11月12日(魚類以外)	晴れ
	令和6年11月5日(魚類)	晴れ
百々川	令和6年11月11日(魚類以外)	晴れ
	令和6年11月6日(魚類)	晴れ
堀坂川	令和6年11月11日(魚類以外)	晴れ
	令和6年11月6日(魚類)	晴れ
岩内川	令和6年11月11日(魚類以外)	晴れ
	令和6年11月5日(魚類)	晴れ
中川	令和6年11月12日(魚類以外)	晴れ
	令和6年11月6日(魚類)	晴れ

環境DNA調査 実施期日

河川名	環境DNA調査実施日	備考
三渡川・岩内川	令和6年11月5日	
百々川・堀坂川・中川	令和6年11月6日	

環境調査等実施状況

※この地図は、「電子地形図25000(国土地理院)」を加工して作成している。



□下流区間(感潮域):流れは緩やかで河床材料は砂泥。干潮時に一部干潟あり



三渡大橋下流から上流方向

□中流区間:流れは緩やかで河床材料は砂泥。一部にオギ群落あり。



岩内川合流点から上流方向

□上流区間:滞筋の蛇行により流れは多様で河床材料は砂礫。ツルヨシ群落あり



三蔵橋から上流方向



巡見橋から下流方向



岩内川合流点から下流方向



三蔵橋から下流方向

下流区間(感潮域)の状況

中流区間の状況

上流区間の状況

- 現地踏査・環境DNA調査で、**33種**の魚類が確認され、このうち重要種は、**ニホンウナギ、ヤリタナゴ、ホトケドジョウ、ミナミメダカ、クロヨシノボリ**の**5種**、特定外来生物は、**カダヤシ、ブルーギル、オオクチバス**の**3種**であった。下流域は、マハゼ等汽水域の代表的な種、中流域は、チチブ等の回遊魚、タモロコ等の純淡水魚を確認。
- H20河川水辺の国勢調査で、**30種**の魚類が確認され、このうち重要種は、**ニホンウナギ、コウライモロコ、ミナミメダカ、クルマサヨリ、カマキリ**の**5種**、特定外来生物は、**カダヤシ、ブルーギル、オオクチバス**の**3種**であった。

## 主な**重要種**（魚類）

現地踏査・環境DNA・H20水国



**ニホンウナギ**(下流・中流)

現地踏査・環境DNA・H20水国



**ミナミメダカ**(下流・中流)

H20水国



**コウライモロコ**(中流)

H20水国



**カマキリ**(下流)

## 特定外来生物（魚類）

現地踏査・環境DNA・H20水国



**ブルーギル**(下流・中流)

現地踏査・H20水国



**カダヤシ**(下流・中流)

環境DNA・H20水国



**オオクチバス**(中流)



- 現地踏査で、108種の生物が確認された(魚類13種を除く)。
- 重要種は、**タケノコカワニナ、アリアケモドキ、アキアカネ、シロチドリ、ホウロクシギ、ハマシギ、ミサゴ、ハイタカ、ニホンイシガメ**の計9種を確認。
- 特定外来生物は、**ミシシippアカミミガメ、アライグマ**の2種を確認。
- ホオジロなどの草地性鳥類がみられるほか、クロベンケイガニなど汽水域の代表的な種もあり

## 主な重要種(魚類以外)



タケノコカワニナ(下流・中流)



アリアケモドキ(中流)



アキアカネ(全区間)



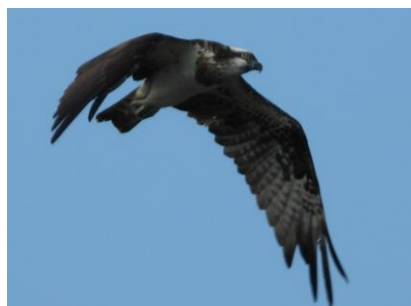
シロチドリ(下流)



ホウロクシギ(下流)



ハマシギ(下流)



ミサゴ(下流)



ハイタカ(中流)



ニホンイシガメ(上流)

## 特定外来生物(魚類以外)



ミシシippアカミミガメ(全区間)

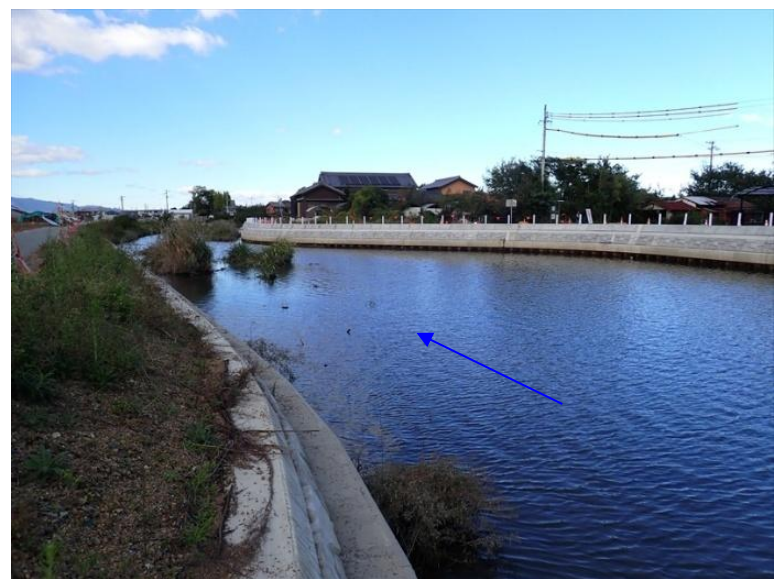


アライグマ(全区間) 画像出典: 環境省提供資料

□下流区間(感潮域):流れは緩やかで河床材料は砂泥。ヨシ群落あり。



下流端の水門



甚太川合流点から下流方向

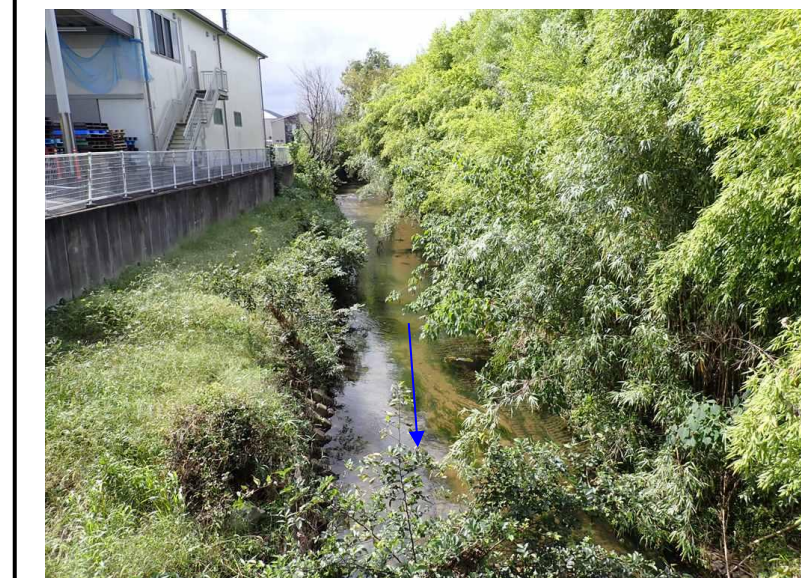
□上流区間:1.8kから上流端の区間。水深が浅く流れは緩やかで河床材料は砂礫。横断構造物が点在する。一部に沈水植物のオオカナダモ群落が見られる。



塚本橋から下流方向



百々川橋から下流方向



百々川橋から上流方向



上流端から下流方向

下流区間(感潮域)の状況

上流区間の状況



- 現地踏査・環境DNA調査で、**26種**の魚類が確認され、このうち重要種は、**ニホンウナギ、ヤリタナゴ、ドジョウ、ギギ、ミナミメダカ**の**5種**、特定外来生物は、**カダヤシ、ブルーギル**の**2種**であった。
- H20河川水辺の国勢調査で、**26種**の魚類が確認され、このうち重要種は、**ニホンウナギ、アシシロハゼ**の**2種**、特定外来生物は、**カダヤシ、ブルーギル、オオクチバス**の**3種**であった。

## 主な**重要種**（魚類）

環境DNA・H20水国



ニホンウナギ

現地踏査



ミナミメダカ

H20水国



アシシロハゼ

## 特定外来生物（魚類）

現地踏査・環境DNA・H20水国



カダヤシ

環境DNA・H20水国



ブルーギル

H20水国



オオクチバス



- 現地踏査で54種の生物が確認された(魚類3種を除く)。
- 重要種は、**マツカサガイ**東海固有種、**オオタカ**の2種を確認。
- 特定外来生物は、**ミシシippia**カミミガメ、**ヌートリア**の2種を確認。
- 水深が深く緩やかな流れでカモ類などの鳥類がみられる。



マツカサガイ東海固有種



オオタカ

## 特定外来生物(魚類以外)



ミシシippiaカミミガメ



ヌートリア 画像出典:環境省提供資料



□**全区間**：流れは多様で河床材料は砂礫。護岸はコンクリート、ブロック積、ブロック張。中洲や寄り洲は、ツルヨシ等が分布する。全区間で農地に囲まれ、農業用堰や床固等の構造物が多数存在する。



三渡川合流点上流から上流方向



JR名松線から上流方向



5.9kから上流方向



三渡川合流点上流から下流方向



JR名松線から下流方向



上流端から下流方向

## 堀坂川の状況



- **魚類調査・環境DNA調査**で、**22種**の魚類が確認され、このうち重要種は、**ニホンウナギ、ヤリタナゴ、ドジョウ、ホトケドジョウ、ギギ、カワアナゴ、クロヨシノボリ**の**7種**、特定外来生物は、**カダヤシ**の**1種**であった。**ギンブナ、カマツカ**等の淡水魚が確認された。
- **H20河川水辺の国勢調査**で、**22種**の魚類が確認され、このうち重要種は、**ニホンウナギ、カワヒガイ、ミナミメダカ**の**3種**、特定外来生物は、**ブルーギル、オオクチバス**の**2種**であった。

## 主な重要種（魚類）

現地踏査・環境DNA・H20水国



ニホンウナギ

現地踏査・環境DNA



ヤリタナゴ

H20水国



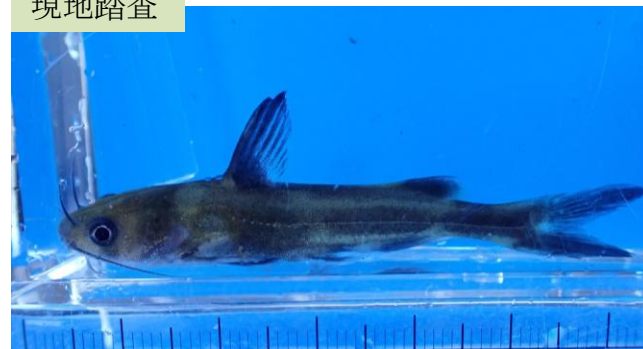
カワヒガイ

H20水国



ミナミメダカ(下流・中流)

現地踏査



ギギ

## 特定外来生物（魚類）

現地踏査・環境DNA



カダヤシ

H20水国



ブルーギル

H20水国



オオクチバス

- 現地踏査で、85種の生物が確認された(魚類10種を除く)。
- 重要種は、アキアカネ、ヤマトアシナガバチ、ハイタカ、ニホンスッポンの計4種を確認。
- 特定外来生物は、ミシシippアカミミガメ、ヌートリア、アライグマの3種を確認。

## 主な重要種(魚類以外)



アキアカネ



ヤマトアシナガバチ



ハイタカ

## 特定外来生物(魚類以外)



ミシシippアカミミガメ(全区間)



ヌートリア



アライグマ

画像出典:環境省提供資料

画像出典:環境省提供資料

# ■環境（岩内川：河川環境）



□全区間：水深は浅く流れは緩やかで河床材料は砂礫。護岸はコンクリート、ブロック積。中洲や寄り洲は、ツルヨシ群落が分布する。横断構造物は上流端に1箇所のみ位置する。



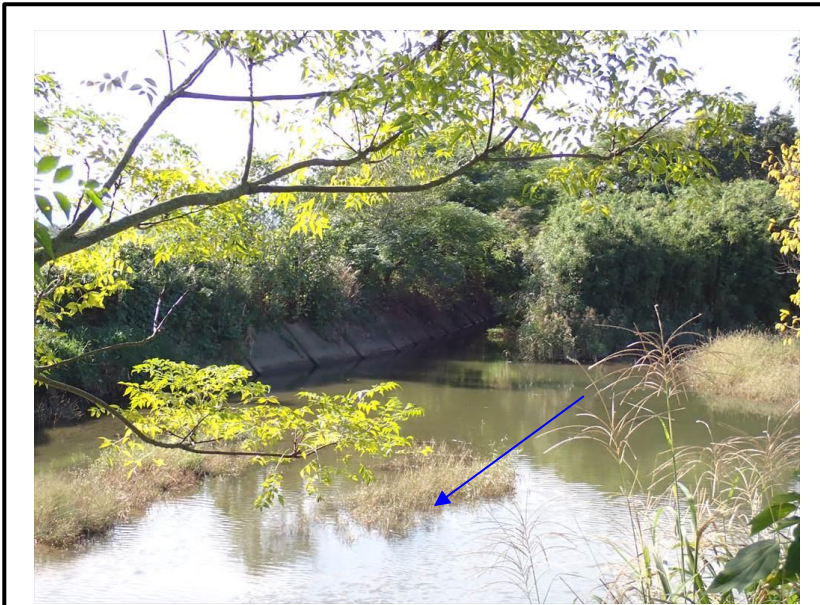
三渡川合流点



0.65kから上流方向



JR名松線から上流方向



下流端から上流方向



0.65kから下流方向



JR名松線から下流方向

## 岩内川の状況



- 魚類調査・環境DNA調査で、**21種**の魚類が確認された。
- 重要種は、**ニホンウナギ、ホトケドジョウ、クロヨシノボリ**の**3種**、特定外来生物は、**カダヤシ、ブルーギル**の**2種**を確認。ただし、重要種も特定外来生物も環境DNA調査でのみの確認。その他、カワムツ等の淡水魚、ゴクラクハゼ等の汽水魚が確認された。
- 魚類以外の生物では、現地踏査で**58種**の生物が確認された。重要種は、**アキアカネ**の**1種**、特定外来生物は、**アライグマ**の**1種**を確認。

## 主な**重要種**（魚類以外）



**アキアカネ**

## 特定外来生物（魚類以外）



**アライグマ**

画像出典：環境省提供資料



□全区間：水深は多様で流れは緩やかで、河床材料は砂泥。護岸はブロック積、ブロック張。中洲や寄り洲には、ミゾソバ群落等が分布する。横断構造物はみられない。



下流端の水門



中川橋から上流方向



県管理区間上流端から上流方向



下流端から上流方向



中川橋から下流方向



県管理区間上流端から下流方向

## 中川の状況



- 魚類調査・環境DNA調査で、**14種**の魚類が確認された。
- 重要種は、**ニホンウナギ**、**ヤリタナゴ**、**ミナミメダカ**の**3種**を確認。
- 特定外来生物は、**カダヤシ**、**ブルーギル**の**2種**を確認。ただし、**ニホンウナギ**、**ヤリタナゴ**、**カダヤシ**、**ブルーギル**は環境DNA調査でのみの確認。
- 魚類以外の生物では、現地踏査で**53種**の生物が確認された。重要種は、**フサモ**、**アキアカネ**の**2種**、特定外来生物は、**ミシシippアカミミガメ**、**ヌートリア**の**2種**を確認。

## 主な**重要種**（魚類）



**ミナミメダカ**

## 主な**重要種**（魚類以外）



**フサモ**



**アキアカネ**

## 特定外来生物（魚類以外）



**ミシシippアカミミガメ**



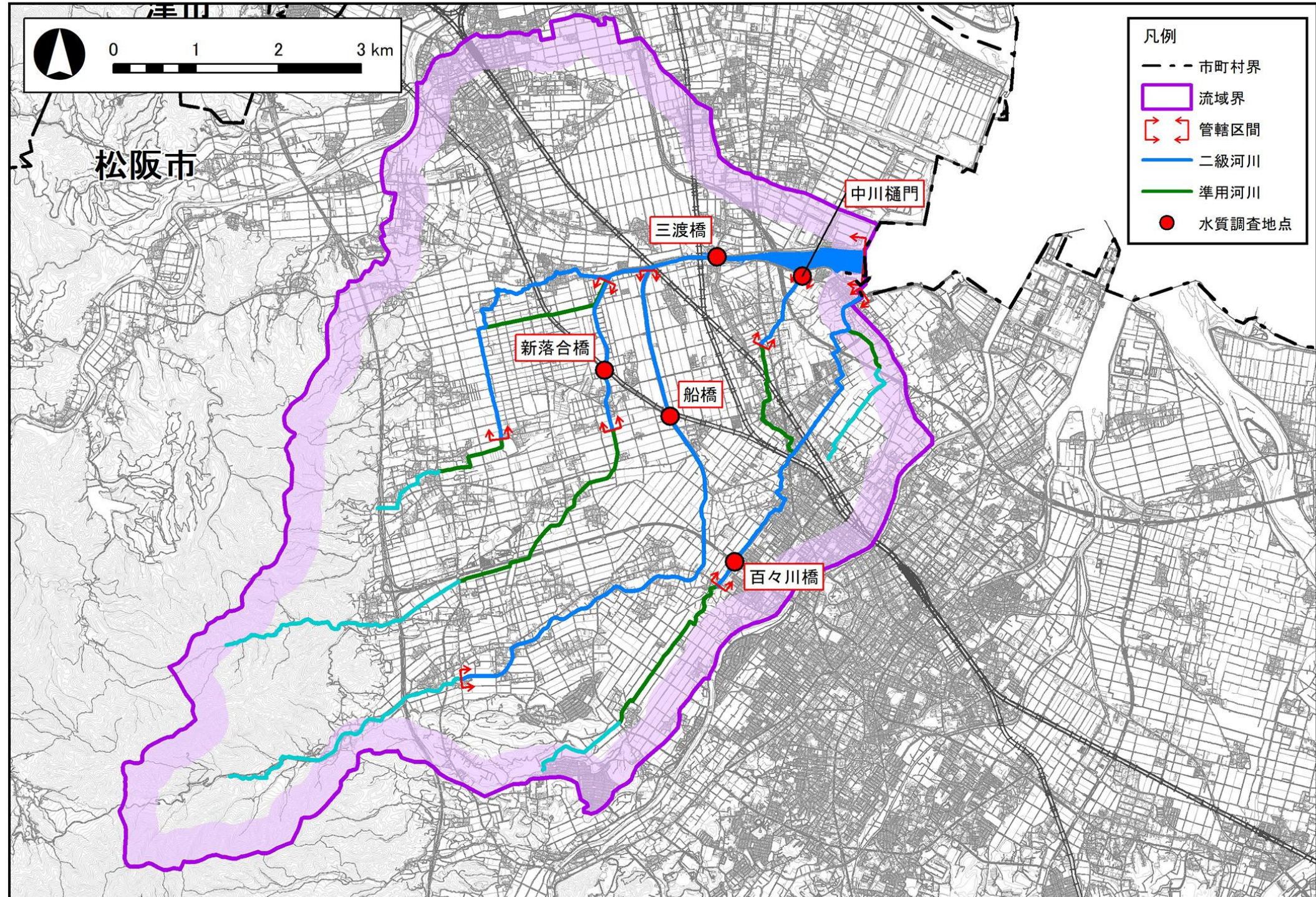
**ヌートリア**

画像出典：環境省提供資料

# 河川水質の推移（水質調査）



- 三渡川、百々川、堀坂川、岩内川、中川に係る環境基準は類型指定が行われていないが、各河川に1箇所の水質基準点を設置して、松阪市により水質の監視が行われている。



※この地図は、「電子地形図25000（国土地理院）」を加工して作成している。

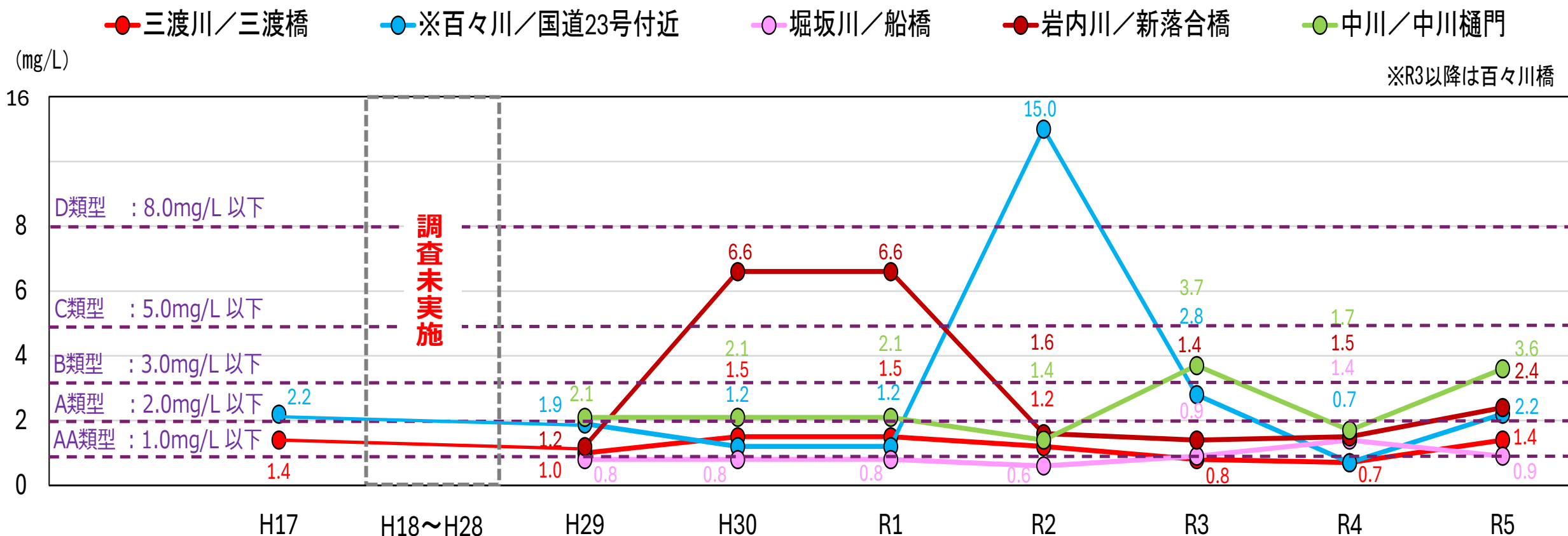
三渡川水系の水質調査地点位置図

# 環境の現状と課題（河川水質）



- BODにおいて、**三渡川**、**堀坂川**は経年的に安定しており、いずれの値も環境基準A類型相当を満足する値となっている。
- 一方、**百々川**、**岩内川**、**中川**は経年的に不安定である。  
**百々川**は、令和2年に大幅な増加がみられるがそれ以外はB類型相当である。  
**岩内川**は、平成30年・令和元年に大幅な増加がみられるがそれ以外は概ねA類型相当。  
**中川**は、直近の3年程度はC類型相当である。
- **三渡川**、**百々川**における平成17年(現行整備計画策定時)と近年を比較すると、大きな変化はみられない。

BOD経年変化



三渡川水系のBODの経年変化



## 【三渡川】

項目	内容
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>下流域</b>は感潮区間であり、小規模な干潟がみられ、<u>マハゼ</u>や<u>クロベ</u><u>ンケイガニ</u>など汽水域の代表的な種がみられる。</li> <li>➤ <b>中流域</b>は<u>オギ群落</u>や<u>チガヤ群落</u>がみられ、<u>ホオジロ</u>などの草地性鳥類がみられるほか、水域では、<u>チチブ</u>等の回遊魚、<u>タモロコ</u>、<u>ヤリタナゴ</u>等の純淡水魚と、多様な魚類相を呈する。</li> <li>➤ <b>上流域</b>は水際や中州で<u>ツルヨシ群落</u>がみられるほか、滞筋の蛇行により瀬淵が創出され水深や流れが多様となっている。</li> <li>➤ 良好な水質（A類型相当）が維持されている。</li> <li>➤ アンケート調査では、アンケート調査では、回答者の約70%が河川環境や景色に対し、「ふつう」と感じていることが示された。</li> </ul>

## 【百々川】

項目	内容
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>下流域</b>は河口域で<u>ヨシ群落</u>などの水際植生があり、水深が深く緩やかな流れで<u>カモ類</u>などの鳥類のほか、水域では<u>ミナミメダカ</u>、<u>ヤリタナゴ</u>など緩やかな流れを好む魚種がみられる。また、<u>タナゴ類の産卵母貝</u>となる<u>マツカサガイ東海固有種</u>等の二枚貝類もみられる。</li> <li>➤ <b>上流域</b>は、水深が浅く緩やかながれとなっており、一部に沈水植物の<u>オオカナダモ群落</u>がみられる。</li> <li>➤ 直近の3年程度はB類型相当の水質となっている。</li> <li>➤ アンケート調査では、アンケート調査では、回答者の約70%が河川環境や景色に対し、「ふつう」と感じていることが示された。</li> </ul>



## 【堀坂川】

項目	内容
現状	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 全区間で農地に囲まれ、農業用堰や床固等の構造物が多数存在し、水域ではニホンウナギ等の回遊魚、ギンブナ、カマツカ等の淡水魚がみられる。</li><li>➤ 良好な水質（A類型相当）が維持されている。</li><li>➤ アンケート調査では、回答者の約70%が河川環境や景色に対し、「ふつう」と感じていることが示された。</li></ul>

## 【岩内川】

項目	内容
現状	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 全区間で水深は浅く流れは緩やかで、水際にはツルヨシ群落がみられるほか、水域ではカワムツ等の淡水魚、ゴクラクハゼ等の汽水魚がみられる。</li><li>➤ 直近の3年程度はB類型相当の水質となっている。</li><li>➤ アンケート調査では、回答者の約70%が河川環境や景色に対し、「ふつう」と感じていることが示された。</li></ul>



## 【中川】

項目	内容
現状	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 全区間で水深は多様で流れは緩やか、水際にはミゾソバ群落がみられるほか、水域ではミナミメダカ等緩やかな流れを好む魚種がみられる。</li><li>➤ 直近の3年程度はC類型相当の水質となっている。</li><li>➤ アンケート調査では、アンケート調査では、回答者の約70%が河川環境や景色に対し、「ふつう」と感じていることが示された。</li></ul>

## 共通課題

項目	内容
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 自然環境・利水面との調和を図りつつ、維持管理に努める。</li><li>➤ 水質の維持</li></ul>

# 目次

1. これまでの経緯 [一部更新]
2. 前回流域委員会での意見・回答 [新規]
3. 第2回住民アンケート調査結果 [新規]
- 4. 河川整備計画(原案)の概要 [新規]**
  - 4.1 流域及び河川の概要 [変更なし]
  - 4.2 現状と課題(治水・利水・環境) [変更なし]
  - 4.3 河川整備計画の目標に関する事項 [新規]**
  - 4.4 河川整備計画の実施に関する事項 [新規]
5. 今後の進め方 [一部更新]



## 河川整備計画の対象区間

河川整備計画の計画対象区間は、下記に示す三渡川水系の県管理区間とする。

水系名	河川名	起点		終点	延長m
三渡川	幹川 三渡川	松阪市小阿坂町字ふけ2487番地先の市道向川線無名橋		海に至る	6,809
	三渡川支川 百々川	左岸	松阪市井村町字西里中3番地先	三渡川への合流点	4,400
		右岸	同市同町同字255番地先		
	百々川派川 中川		松阪市市場庄町字桑原1086番の2地先の農道橋	三渡川への合流点	1,070
	三渡川支川 堀坂川		松阪市伊勢寺町字墓垣内1869番の2地先の野田橋	三渡川への合流点	6,500
	三渡川支川 岩内川		松阪市上ノ庄町字西大川235番地先の小金橋 *旧小金橋	三渡川への合流点	1,500

## 河川整備計画の対象期間

- 本整備計画は、三渡川水系河川整備基本方針に基づいた河川整備の当面の目標であり、その計画対象期間は概ね30年間とする。
- 本整備計画は、現時点における流域及び河川の状況に基づき策定されたものであり、今後河川および流域を取り巻く社会状況の変化などに合わせて、必要に応じて適宜見直しを行っていくものである。



## 洪水・津波・高潮等による災害の発生の防止または軽減に関する目標

- 本整備計画では、過去の流域内の浸水被害や県内他河川の治水安全度のバランス等を踏まえ、三渡川下流の市街地区間である市道三渡橋上流付近～近鉄山田線付近（1.8km付近～2.5km付近）は、気候変動による影響を考慮した年超過確率1/10の規模の降雨による洪水に対して被害を防ぐことを目標とする。
- 三渡川中上流の農地区間である近鉄山田線付近～岩内川合流点（2.5km付近～3.2km付近）は、気候変動による影響を考慮した年超過確率1/4の規模の降雨による洪水に対して被害を防ぐことを目標とする。
- これにより、基準地点の津屋城において170m<sup>3</sup>/sを安全に流下させる河道を整備する。
- 百々川下流の市街地区間である河口～国道166号下流市道橋付近（0.0km付近～1.7km付近）は、気候変動による影響を考慮した年超過確率1/10の規模の降雨による洪水に対して被害を防ぐことを目標とする。



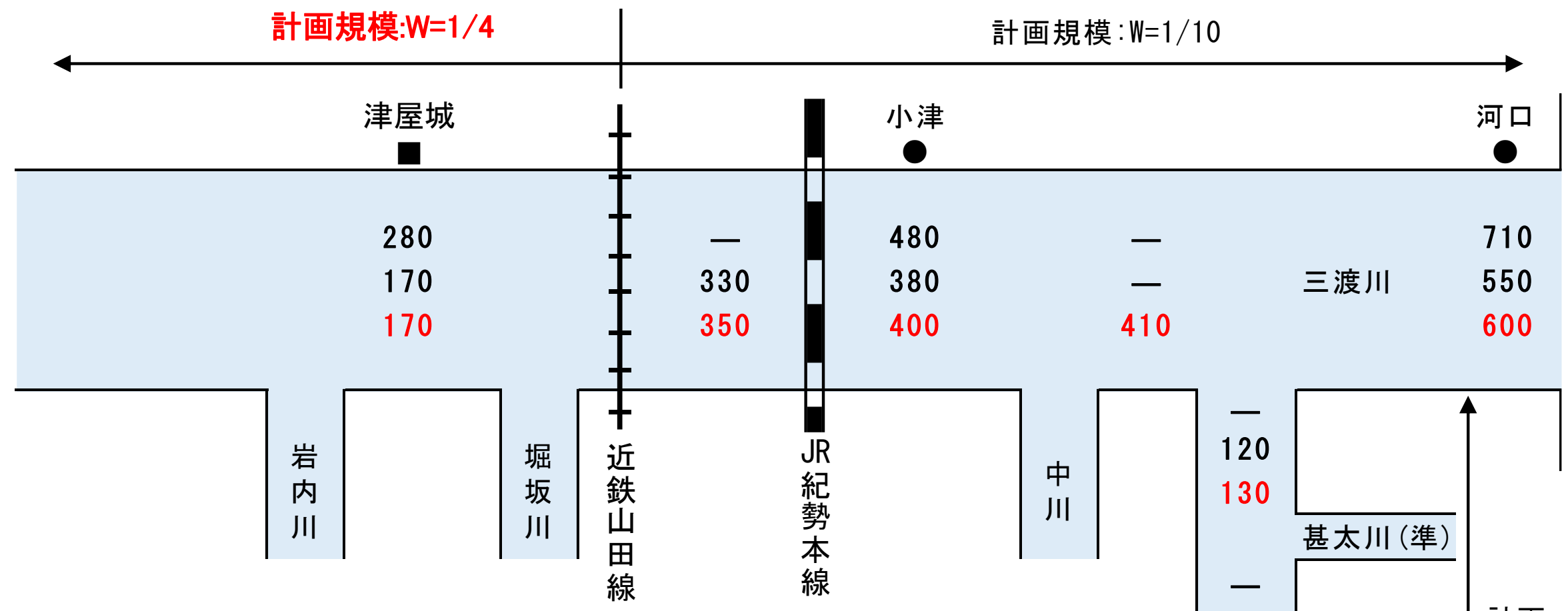
## 洪水・津波・高潮等による災害の発生防止または軽減に関する目標

- 百々川における高潮対策は、伊勢湾台風で発生した高潮相当に対して概ね家屋無湛水となることを目標とし、百々川排水機場にポンプを増設することで排水能力の向上を図る。
- 今後発生することが予想される南海トラフを震源域とする地震に対しては、地震後の洪水・高潮による被害を軽減するため、百々川排水機場の耐震性能を確保するとともに、その他管理施設に対しても必要な耐震対策を実施する。
- 洪水、津波、高潮などに対応するため、地域住民が浸水の恐れを自分事化し、警戒時や災害時に円滑かつ迅速な避難が行えるよう、防災意識を高める取り組みを推進する。さらに、関係機関や地域住民と連携して情報伝達および警戒避難体制の整備を行う。

# 河川整備計画の目標に関する事項（計画高水流量）



- 河川整備計画における計画高水流量は、下図のとおりとする。
- 三渡川**の工事区間は変更なし。近鉄上流の計画規模は年超過確率1/4規模とする。
- 百々川**の工事区間は、国道23号から1.7k 市道橋付近区間を延伸する。



凡例

1段目 基本方針:1/30

2段目 整備計画(H21):1/10 河口～近鉄山田線  
 整備計画(H21):1/5 近鉄山田線～

3段目 整備計画(今回):1/10 気候変動考慮 河口～近鉄山田線  
 整備計画(今回):1/4 気候変動考慮 近鉄山田線～

■:基準地点  
 ●:主要地点

計画規模 W=1/10



## □ 現計画と整備計画の変更点

	河川整備計画 (平成21年策定)	河川整備計画 (気候変動考慮)	変更理由
計画規模	近鉄下流: 1/10確率 近鉄上流: 1/5確率	近鉄下流: 1/10確率 近鉄上流: 概ね1/4確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現計画の170m<sup>3</sup>/sが近鉄橋を改修せずに流下できる最大流量</li> <li>・気候変動を考慮すると170m<sup>3</sup>/sは概ね1/4確率</li> </ul>
基準地点	津屋城	津屋城	
流域面積	18.28km <sup>2</sup> (内水域を含む)	18.28km <sup>2</sup> (内水域を含む)	
洪水到達時間	69分	69分	
流出係数	0.71	0.72	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来市街化想定の見直し</li> </ul>
降雨強度 (津屋城地点)	46.8mm/hr	43.7mm/hr: 現在気候 48.1mm/hr: 気候変動考慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在気候は、現計画以降の降雨を2010年まで追加して更新</li> <li>・気候変動考慮(現在気候 × 1.1)</li> </ul>
流出計算手法	合理式	合理式	
計画高水流量	170m <sup>3</sup> /s	170m <sup>3</sup> /s	



## 標準断面箇所の変更点

		三渡川	百々川	
地点		2.45k	0.342k	1.04k
計画規模		1/10確率	1/10確率	1/10確率
流域面積		31.43km <sup>2</sup> (内水域を含む)	9.78km <sup>2</sup>	6.68km <sup>2</sup>
洪水到達時間		83分	75分	58分
流出係数		0.71⇒0.71	0.73⇒0.74	0.72⇒0.73
降雨強度	現在気候	56.0⇒54.8mm/hr	57.2⇒57.4mm/hr	64.0⇒64.5mm/hr
	気候変動考慮	60.3mm/hr	63.2mm/hr	71.0mm/hr
流出計算手法		合理式	合理式	合理式
計画高水流量		330⇒350m <sup>3</sup> /s	120⇒130m <sup>3</sup> /s	90⇒100m <sup>3</sup> /s

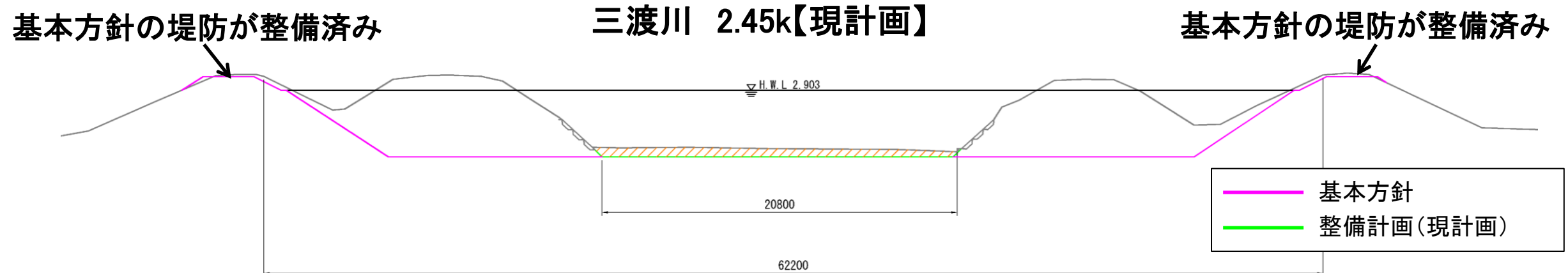
※流出係数、降雨強度(現在気候)、計画高水流量の左の値は、現行河川整備計画での検討値

# 河道計画（標準断面の設定方針）（三渡川）



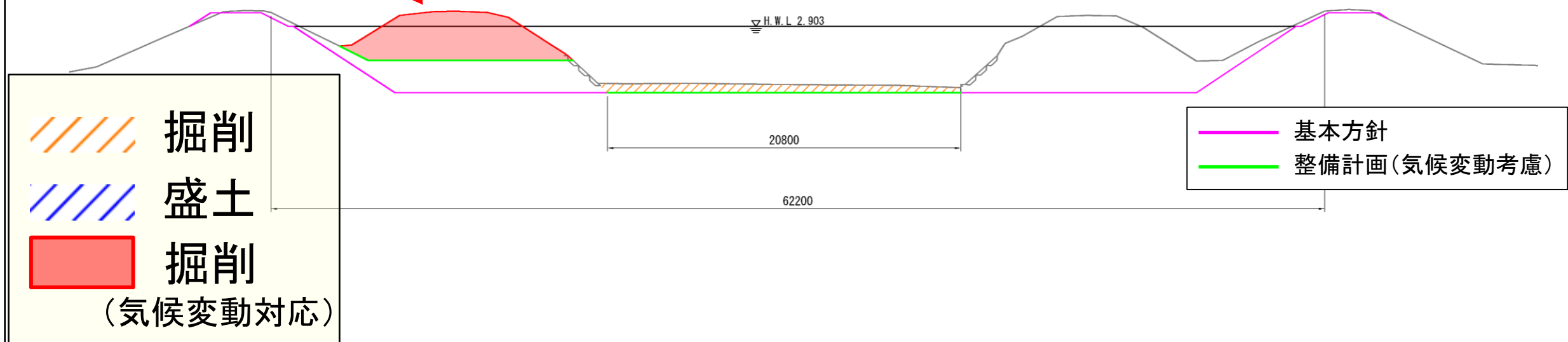
- 2.4k(巡見橋上流)～ 2.6k(近鉄橋梁)は、現在、現況堤防の外側に基本方針の堤防が整備されている。
- 現計画で設定された河床掘削に加え、河道拡幅(片岸の堤防を掘削)することで、気候変動による流量増加に必要な河積を確保する。

現  
計  
画  
区  
間



河道拡幅により、河積を確保する。

三渡川 2.45k【気候変動考慮】



# 河道計画（標準断面の設定方針）（百々川）



- 現整備計画区間は、現計画で設定された河床高から、河床を切り下げることにより気候変動による流量増加に必要な河積を確保する。
- 新規工事区間は、計画高水流量を計画高水位以下で安全に流下させる断面を設定する。

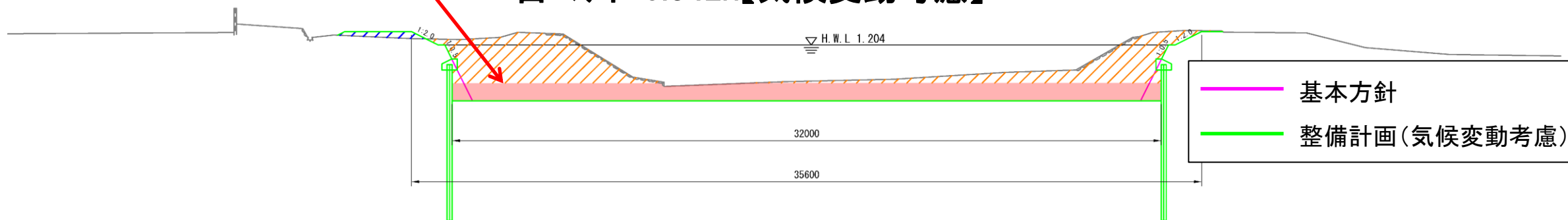
現  
計  
画  
区  
間

百々川 0.342k【現計画】



河床掘削により、河積を確保する。

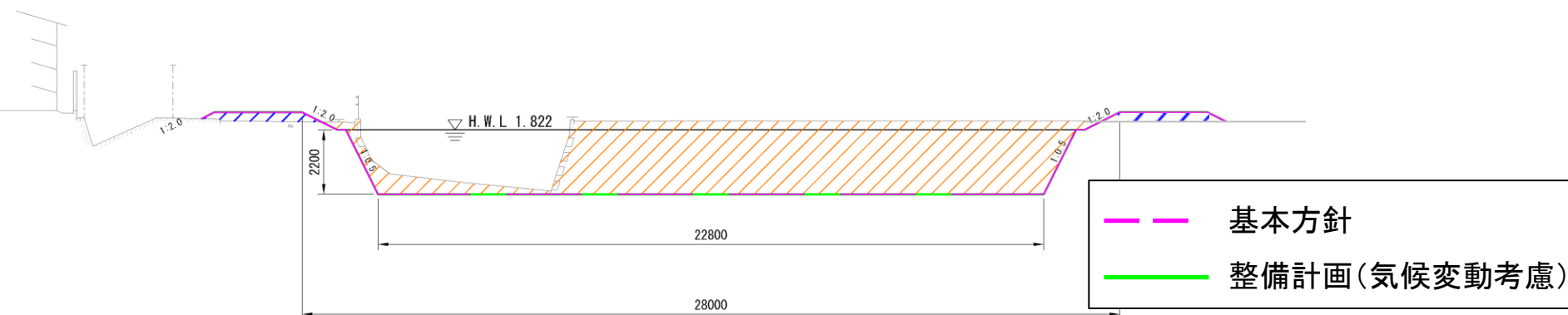
百々川 0.342k【気候変動考慮】



新  
規  
工  
事  
区  
間

百々川 1.04k【新規計画】

	掘削
	盛土
	掘削 (気候変動対応)





## 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

- 今後とも関係機関との連携のもと、適切な水利用が図られるよう努めるとともに、綿密な情報提供等、水利用の効率化を促進し、さらに既得水利の取水が安定的になされ、かつ良好な水環境が維持・改善されることを目標とする。
- 流水の正常な機能を維持するための必要な流量については、今後流況の把握を行うとともに取水実態や動植物の生息・生育環境等の調査を行った上で設定に努める。



## 河川環境の整備と保全に関する目標

- 河川環境の整備と保全に関しては、流域内河川の自然環境及び利水の実態把握に努め、治水・利水面との調和を図りつつ、自然環境の整備と保全に努める。
- 山地部においては、優れた景観や多様な生物に対して良好な環境を提供している樹林等の保全を図る。
- 水田地帯を流下する中上流域においては、マガモ、キジバト、ヒヨドリ等の鳥類の生息場・避難場となっているヨシ原、マダケ林やメダケ群落等の河畔林や、ミナミメダカ、等の重要種を含む多様な生物の良好な生息環境となっている瀬・淵、水際植生について、治水対策との調和をはかりつつ保全・創出を図る。
- 下流域および感潮・汽水域においては、ヒドリガモ、キンクロハジロ等のカモ類やシロチドリ、イソシギ等のシギ・チドリ類等の水鳥、アリアケモドキやマハゼ等の水生生物、アキアカネ等のトンボ類などの良好な生息場である、ヨシ原等の保全・創出を図る。
- 河川内の堆積土砂撤去の際には、現在の水際環境を維持するよう配慮するなど、魚類や底生生物等の生息環境の保全・創出に努める。



# 目次

1. これまでの経緯 [一部更新]
2. 前回流域委員会での意見・回答 [新規]
3. 第2回住民アンケート調査結果 [新規]
- 4. 河川整備計画(原案)の概要 [新規]**
  - 4.1 流域及び河川の概要 [変更なし]
  - 4.2 現状と課題(治水・利水・環境) [変更なし]
  - 4.3 河川整備計画の目標に関する事項 [新規]
  - 4.4 河川整備計画の実施に関する事項 [新規]**
5. 今後の進め方 [一部更新]



## 河川整備の実施に関する事項

### 河川工事の目的

洪水時の河川水位を低下させ整備目標流量を安全に流下させることを目的として、河床掘削、引堤、**護岸整備**により河積を増大し、**堤防高が不足する区間については、築堤を行うことにより、洪水被害の防止を図る。**

- 引堤、築堤及び掘削に伴い**改築・補強**が必要な橋梁については、施設管理者等と協議の上、**改築・補強**又は撤去する。
- 高潮対策として、**百々川排水機場のポンプを増設する。また、今後発生することが予想される南海トラフを震源域とする地震に対して、地震後の洪水・高潮による被害を軽減するため百々川排水機場の耐震性能を確保する。**
- 工事に際しては、**動植物の生息・生育環境や歴史・文化、埋蔵文化財**などに配慮するとともに、**良好な水辺空間の保全・創出**を図る。

### 河川改修の施行場所と主な整備内容

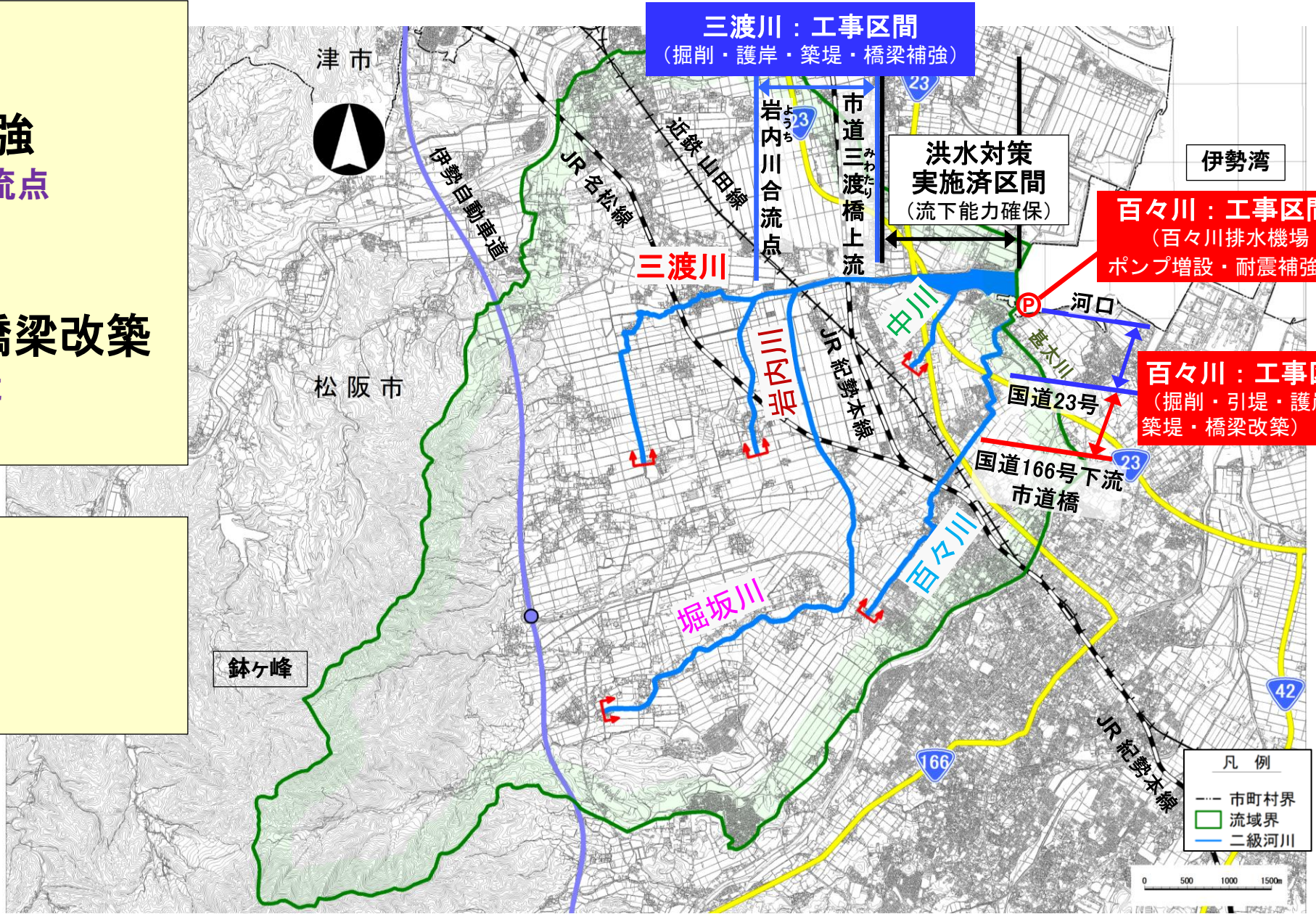
河川名	区間	主な整備内容
三渡川	<b>市道三渡橋上流付近～岩内川合流点</b> ( <b>1.8km付近～3.2km付近</b> )	・掘削、護岸、築堤、 <b>橋梁補強</b>
百々川	河口～ <b>国道166号下流市道橋付近</b> ( <b>0.0km付近～1.7km付近</b> )	・掘削、引堤、護岸、 <b>築堤</b> ・橋梁改築 ・ <b>百々川排水機場のポンプ増設、耐震補強</b>

# 河川整備の実施に関する事項（計画平面図・横断図）



- 洪水対策**  
**三渡川：工事区間**  
 掘削・護岸・築堤・橋梁補強  
 市道三渡橋上流付近～岩内川合流点  
 (1.8km付近～3.2km付近)
- 百々川：工事区間**  
 掘削・引堤・護岸・築堤・橋梁改築  
 河口～国道166号下流市道橋付近  
 (0.0km付近～1.7km付近)

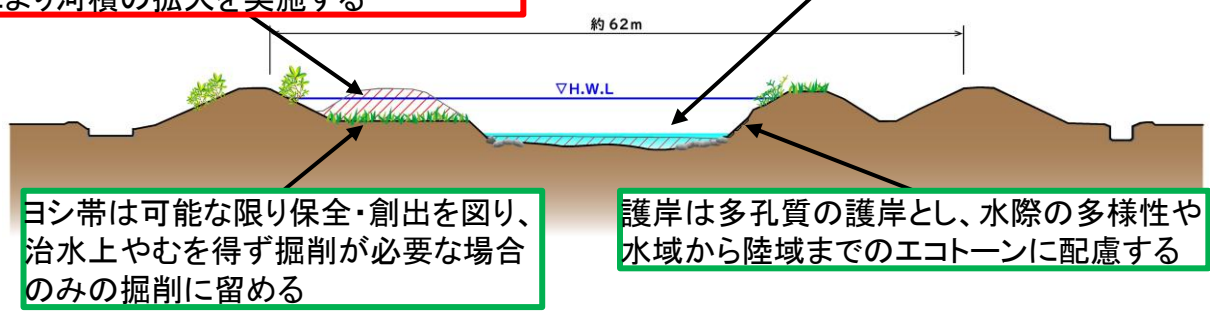
- 高潮・耐震対策**  
**百々川：工事区間**  
 ポンプ増設・耐震補強  
 百々川排水機場



三渡川 2.5km付近の計画横断イメージ図

河床掘削、築堤、護岸整備、橋梁補強等により河積の拡大を実施する

低水路は局所的な深掘りや掘り残しにより、微地形を確保する

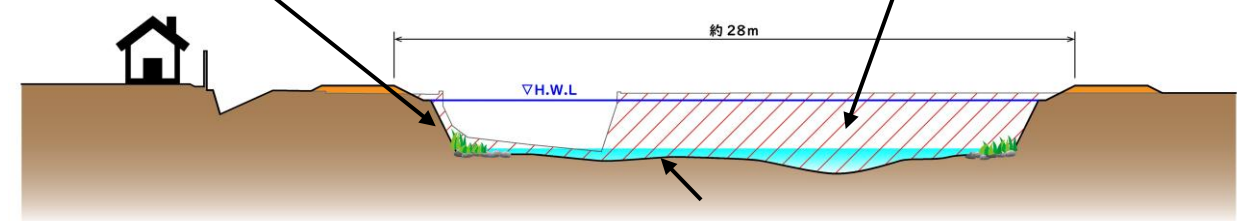


横断イメージ図(三渡川)

百々川 1.0km付近の計画横断イメージ図

護岸は多孔質の護岸とし、水際の多様性や水域から陸域までのエコトーンに配慮する

河道拡幅、河床掘削、築堤、護岸整備、橋梁改築等により河積の拡大を実施する

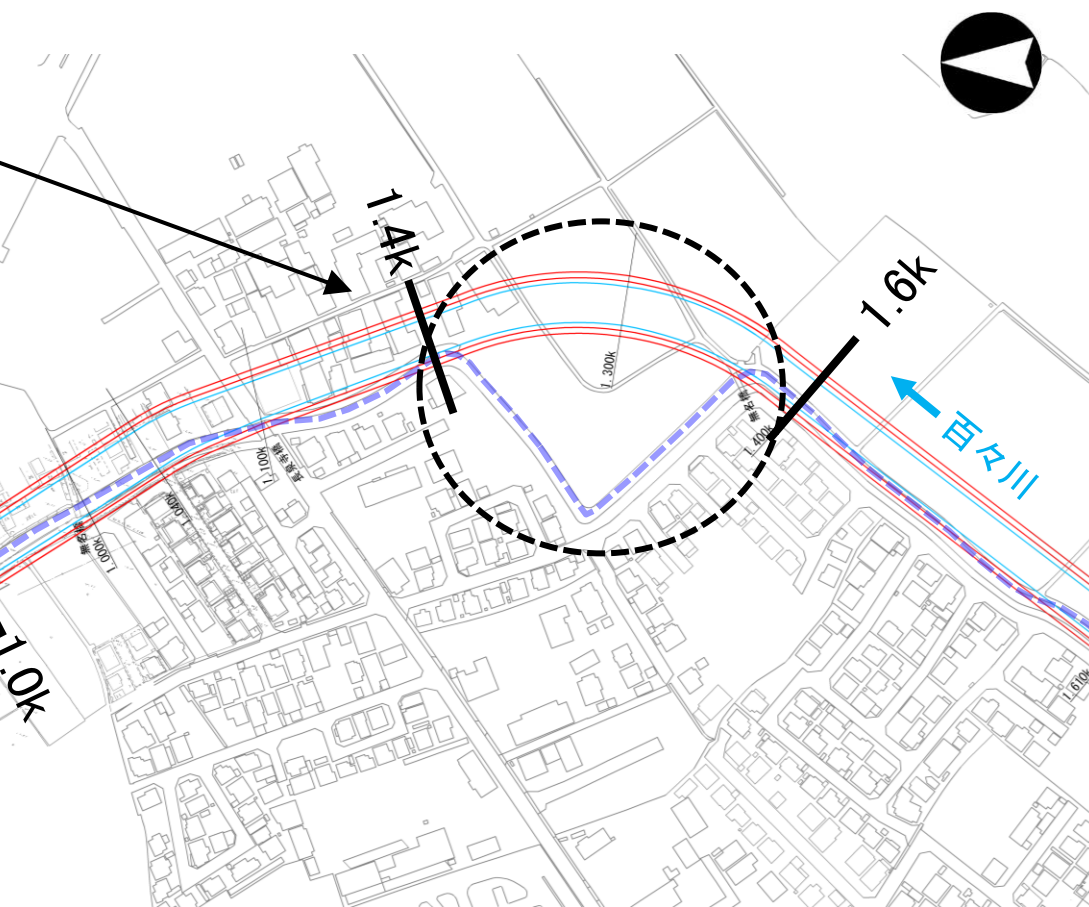
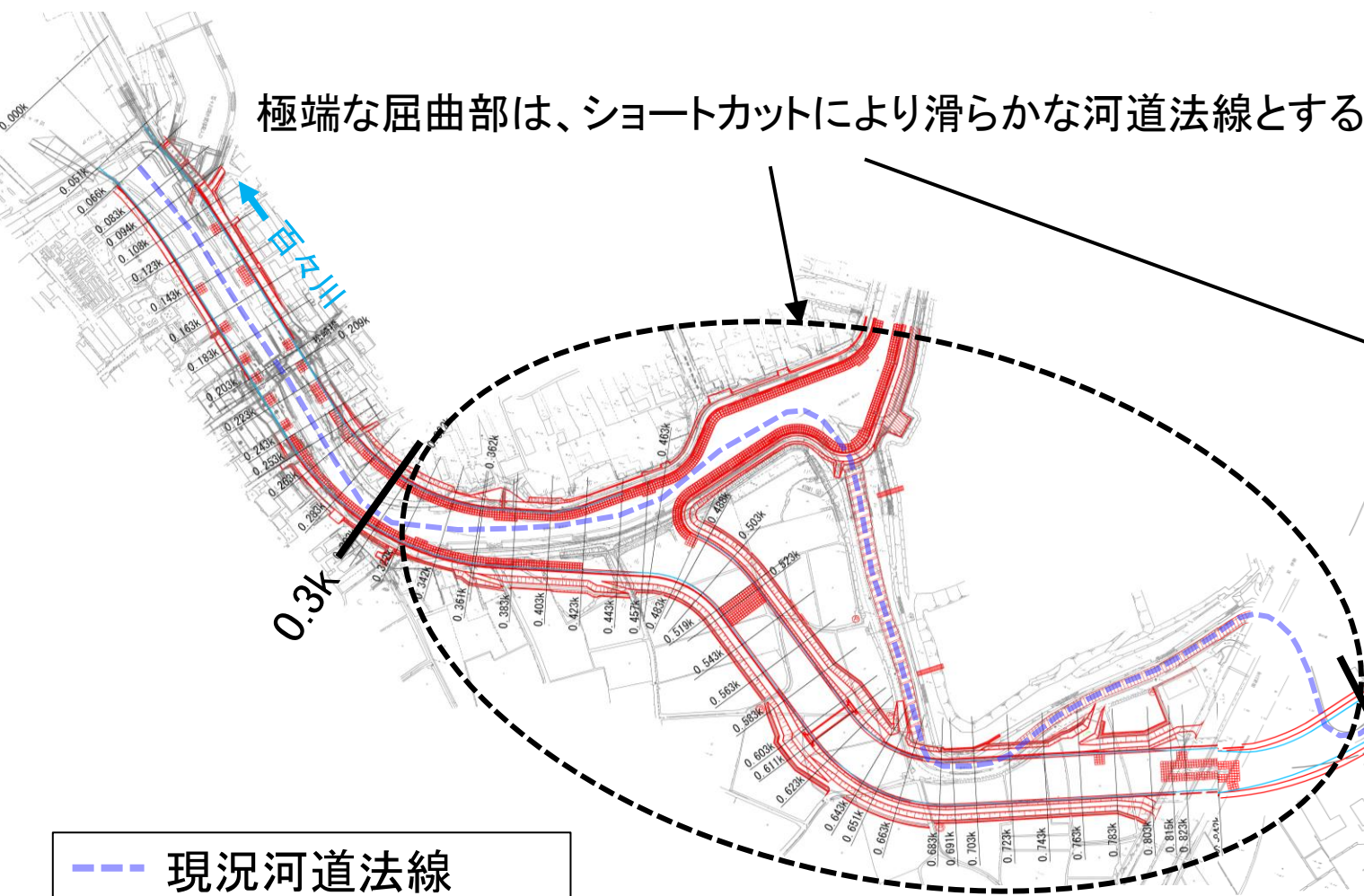
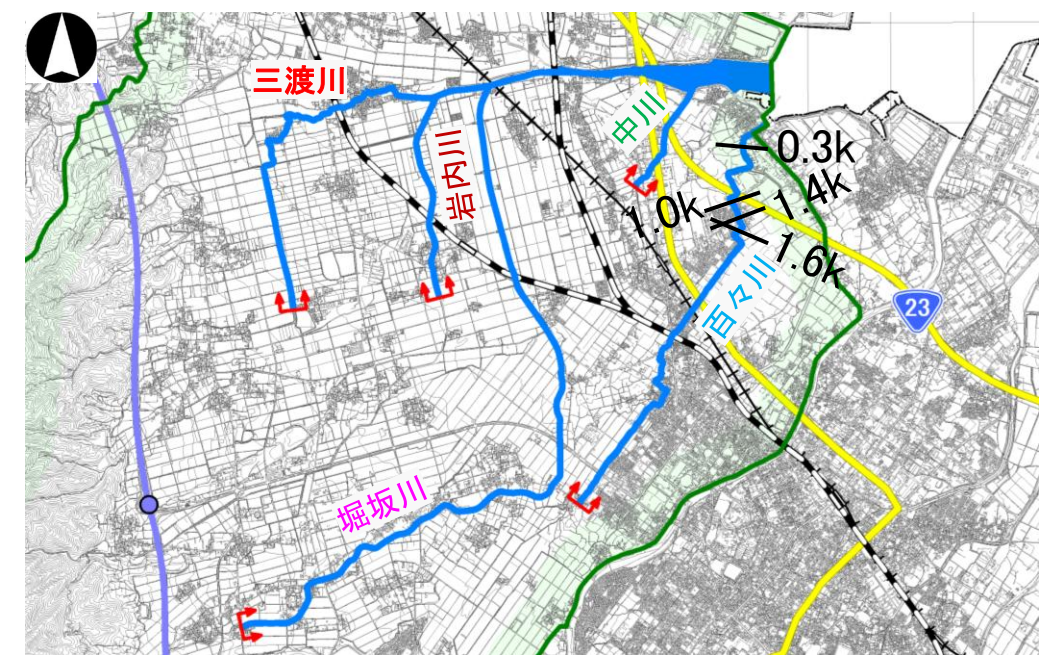


横断イメージ図(百々川)

# ■河川整備の実施に関する事項（計画平面図・横断図）



- 百々川の河道拡幅を行う場合は、現況河道の法線形状を尊重するが、0.3k～1.0k、1.4k～1.6k区間はほぼ直角に屈曲していることから本区間についてはショートカットを実施する。



- 現況河道法線
- 整備計画堤防法線
- 計画河床法線

百々川 計画平面図



## 河川の維持の目的、種類及び施行場所

### ①河道の維持および河川管理施設の維持

- 洪水の流下を阻害する堆積土砂については掘削を行い、河積を確保するものとする。特に出水後は河川巡視を実施し、主として土砂堆積の状況等を確認する。
- 土砂の撤去の際には、平坦な河床としないなど極力現況の自然環境への配慮を行う。
- 河道内の樹木については環境面を配慮し極力保全していく方針とするが、流水の阻害や河川構造物に悪影響を与える樹木等については、必要に応じて適宜その伐採を実施する。
- 河川管理施設の維持については、洪水、高潮等の際、必要な機能が発揮されるよう、適切に点検、巡視等を行い、必要に応じて補修・更新を行う。
- 堤防及び護岸の維持については、定期点検により法崩れ、ひび割れ、漏水、沈下等の異常がないかを確認する。異常が確認された場合には、必要な対策を実施し堤体の機能維持に努める。



## 河川の維持の目的、種類および施工の場所

### ②水量の監視等

- 動植物の生息・生育・繁殖環境の保全及び利水の安定的な取水に必要な流量の確保を目指し、水量の監視を行う。
- 関係機関との連携・協力のもと、適正な水利用の促進を図るとともに渇水時の情報伝達体制の整備、綿密な情報提供等水利用の効率化に努める。

### ③水質の保全

- 松阪市等関係機関との連絡・調整や流域住民との連携・協働を図りながら現在の良好な水質の保全に努める。

### ④河川環境の適正な利用と管理

- 魚類等の移動が困難な堰等の横断工作物については、関係機関との連携のもと、河川・水域の連続性の確保に努める。



## その他河川の整備を総合的に行うために必要な事項

### ①整備途上段階および超過洪水への対策

- 気候変動の影響による計画規模を上回る洪水や整備途上段階における洪水による被害の軽減を図るため、流域のあらゆる関係者の協働による総合的かつ多層的な治水対策（流域治水）について、関係機関と連携して推進する。
- 三渡川流域全体の貯留機能の向上を図るため、田んぼダムの普及やため池の低水位管理等を推進し、その実現に向けて関係機関と連携を図る。
- ソフト対策としては、「川の防災情報」、「防災みえ.jp」等による水位・雨量情報や、簡易型河川監視カメラの画像等の情報提供、市町が取り組む洪水ハザードマップ作成の支援など、総合的な被害軽減対策を流域の市町等関係機関や地域住民と連携して推進する。

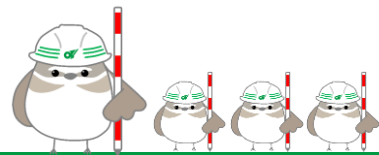
### ②河川情報の提供、流域における取組への支援等に関する事項

- 地域住民と常に意思疎通を図り、住民の意向を反映した住民との「協働」による河川整備を目指すものとする。
- 河川整備にあたっては、流域住民との情報の共有化等により、住民の積極的な参加を促進し、協働による川づくりに努めるものとする。

# 目次

1. これまでの経緯 [一部更新]
2. 前回流域委員会での意見・回答 [新規]
3. 第2回住民アンケート調査結果 [新規]
4. 河川整備計画（原案）の概要 [新規]
  - 4.1 流域及び河川の概要 [変更なし]
  - 4.2 現状と課題（治水・利水・環境） [変更なし]
  - 4.3 河川整備計画の目標に関する事項 [新規]
  - 4.4 河川整備計画の実施に関する事項 [新規]
5. 今後の進め方 [一部更新]





## 第1回 流域委員会（令和7年2月7日）

- ✓流域の概要、現地視察
- ✓治水、利水、環境の現状と課題

## 第1回アンケート （令和7年4月1日～30日）

- ✓関係住民の意見聴取  
（流域の概要、治水、利水、環境の現状と課題）

## 第2回 流域委員会（令和7年6月6日）

- ✓気候変動を踏まえた高水計画の検討と課題
- ✓治水計画における見直しの方向性(案)

## 第3回 流域委員会（令和7年12月25日）

- ✓河川整備計画(原案)(案)

## 第2回アンケート （令和8年1月20日～2月6日）

- ✓関係住民の意見聴取  
（河川整備計画(原案)(案)）

## 第4回 流域委員会（令和8年3月17日）

- ✓河川整備計画(原案)

今回



関係機関協議・パブコメ・関係市町長意見聴取

河川整備計画策定(令和8年度中)